

平成 27 年度

# 新居浜市の教育

平成 27 年度の計 画

平成 26 年度のあゆみ

新居浜市教育委員会

## 望ましき市民像

- 文化を尊重し、そのために貢献する創造的で教養ある市民
- すべての人々を敬愛するとともに、真理と正義にたって行動する市民
- 科学精神を身につけ、生活の合理化を図り、勤労にいそしむ市民
- 健康明朗で強い精神力を持ち、情操豊かな市民
- 社会の改良、公共の福祉に参加して、郷土の発展に努める市民

(市の教育方針として昭和29年4月教育委員会が策定)

## めざす都市像

第五次新居浜市長期総合計画では、将来都市像を「— あかがねのまち、笑顔輝く — 産業・環境共生都市」と定め、次の4つの理念を基本にまちづくりを推進しています。

- 1 市民が安全・安心を実感できるまちづくり
- 2 市民、団体、事業者と行政が一体となったまちづくり
- 3 市民が郷土に誇りと愛着を持てるまちづくり
- 4 子どもたちの未来に責任が持てるまちづくり

# 目 次

平成27年度の計画	1
平成27年度教育基本方針	3
教育委員会の沿革	4
教育委員、歴代教育委員	8
教育委員会事務局組織図、職員数	10
事務局事務分掌	11
教育費歳出予算（目別、平成26・27年度当初予算）	12
年度別教育費歳出決算（目別、平成21～26年度）	13
社会教育課	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	14
2 社会教育委員名簿、放課後児童クラブ一覧表	16
3 公民館等一覧表	17
4 公民館事業計画	18
青少年センター	
1 重点目標、課題	36
2 施設状況、地区別少年補導委員の状況	37
生涯学習センター	
1 重点目標、重点事項、施設状況	38
高齢者生きがい創造学園	
1 重点目標、事業、施設状況	39
学校教育課	
1 重点目標、めざす子ども像、スローガン、最重要課題、重点事項	40
2 新居浜市教育研究所の概要	42
3 学校教育計画資料	44
4 平成27年度児童・生徒・園児・教職員数	46
5 学校等一覧	50
6 通学区域	54
7 園児・児童・生徒数の推移（平成22～31年度）	56
8 中学校卒業者の進路状況	57
発達支援課	
1 重点目標、最重要課題、重点事項	58
2 発達支援システムイメージ図	60
学校給食課	
1 重点目標、重点事項、施設状況	61
2 学校給食運営組織図	62
3 新居浜市学校給食の推移	63

スポーツ文化課	
1 重点目標、主要事業、課題	64
2 体育施設一覧表	65
3 教育施設一覧表	65
4 文化施設一覧表	66
5 国指定文化財	67
6 県指定文化財	67
7 市指定文化財	68
8 登録有形文化財	69
郷土美術館	
1 重点目標、主要事業、施設状況、資料の収集状況	70
2 平成27年度事業計画	71
広瀬歴史記念館	
1 重点目標、課題、施設状況	72
2 平成27年度事業計画	73
図書館	
1 基本方針、重点目標、重点事項、施設状況	74
2 蔵書冊数	75
総合文化施設（あかがねミュージアム）	
1 重点目標、重点事業、施設の概要、美術館資料	76
2 平成27年度事業計画	77
平成26年度のあゆみ	79
教育委員会の主な施策と実績	81
1 平成26年度決算額	81
2 主な施設の建設及び環境整備事業	84
社会教育課の主な施策と実績	85
1 青少年を対象とした事業	85
2 家庭を対象とした事業	85
3 女性を対象とした事業	85
4 高齢者を対象とした事業	85
5 成人を対象とした事業	86
6 強化事業	86
7 別子ハイツ自然学習館の利用状況	86
8 学校体育施設開放の利用状況	87
9 公民館事業報告	88
新居浜公民館	88
口屋跡記念公民館	90
地域交流センター	92
金栄公民館	94
高津公民館	96
浮島公民館	98
惣開公民館	100
若宮公民館	102

垣生公民館	104
神郷公民館	106
多喜浜公民館	108
大島公民館	110
泉川公民館	112
中萩公民館	114
船木公民館	116
大生院公民館	118
角野公民館	120
別子山公民館	122
<b>青少年センターの主な施策と実績</b>	<b>124</b>
1 運営協議会	124
2 街頭補導	124
3 相談活動	124
4 関係機関・団体との連絡連携	125
5 青少年善行表彰	125
6 青少年健全育成の活動状況	125
<b>生涯学習センターの主な施策と実績</b>	<b>126</b>
1 生涯学習センター事業報告	126
2 生涯学習大学の開設	126
<b>高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績</b>	<b>127</b>
1 高齢者生きがい創造学園事業報告	127
<b>学校教育課の主な施策と実績</b>	<b>128</b>
1 教職員研修の推進	130
2 教育研究所の歩み	131
3 適応指導教室(あすなろ教室)の歩み	131
4 教育における国際化への対応	132
5 中学生による国際交流事業	133
6 奨学金等	134
7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金	137
8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金	137
9 就学援助制度	138
10 幼稚園就園奨励事業	138
11 私学助成	140
12 学校保健	140
13 学校体育活動の推進	141
14 人権・同和教育実践の状況	142
<b>発達支援課の主な施策と実績</b>	<b>143</b>
1 学校特別支援教育支援員の配置	143
2 教育支援委員会の開催状況	144
3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助	144
4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況	144
5 総合相談の実施状況	144
6 巡回相談の実施状況	145

7	発達検査の実施状況	145
8	早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況	145
9	ペアレントトレーニングの実施状況	146
10	講演会等の開催状況	146
11	発達障がい支援者のための実践セミナー	148
12	ソーシャルスキル支援事業	148
13	聴覚障がい児相談事業	148
14	特別支援教育就学奨励費	148
学校給食課の主な施策と実績		150
1	学校給食の意義	150
2	学校給食の運営等	150
3	学校給食の充実等	150
4	主な主催行事	150
5	給食の状況	150
スポーツ文化課の主な施策と実績		151
1	市民体育・スポーツの振興	151
2	市民体育振興事業	151
3	競技力向上事業	151
4	講習会・研修会事業	151
5	野外活動施設整備と運営	151
6	芸術文化活動	152
7	文化財の保存活用	152
8	体育文化施設の充実	152
9	総合文化施設建設計画	152
10	総合体育施設建設計画	152
11	総合型地域スポーツクラブ設立	152
12	(公財)新居浜市文化体育振興事業団	152
13	銅山の里自然の家利用状況	153
14	体育施設・文化施設年度別利用状況	153
15	平成26年度体育施設等月別利用状況	154
16	平成26年度月別利用状況(市民文化センター)	156
郷土美術館の主な施策と実績		158
1	展示内容	158
2	年度別・月別入館者数	159
3	教育普及活動	159
広瀬歴史記念館の主な施策と実績		160
1	展示内容等	160
2	資料の収集状況	160
3	平成26年度事業実績	160
4	平成26年度月別観覧者内訳	160
図書館の主な施策と実績		161
1	図書館の利用状況	161
2	主な事業	162

# 平成 27 年度の計画

# 平成27年度 教育基本方針

すべての市民が、健康で心豊かな人間性を自ら  
養い、個性を発揮できる教育の充実に努める。

- 1 誰もが学べる環境を整備し、生涯にわたる学習機会を提供する。
- 2 学びの成果を活かし、よりよい地域づくりを推進する。
- 3 家庭・学校・地域の連携の下、子どもたちの健全な育成を支える。
- 4 基本的な生活習慣や社会規範を身につける温かい家庭教育を進める。
- 5 開かれた特色ある学校づくりを推進し、「生きる力」・「確かな学力」を育む。
- 6 国際化、情報化、環境、防災、食育等現代的課題に対応する教育を進める。
- 7 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。
- 8 お互いを尊重し認め合う人権・同和教育を推進する。
- 9 自然を守り育て、郷土を学び愛する教育を進める。
- 10 伝統文化を保存・継承するとともに、芸術文化の香るまちづくりを推進する。
- 11 スポーツの振興を図り、市民の健康増進、体力・競技力の向上に努める。



# 教育委員会の沿革

- 27年 4月 市庁舎落成  
8月 「義務教育費国庫負担法」公布  
11月 新居浜市教育委員会設置 新居浜市教育委員会事務局設置
- 28年 5月 神郷村・垣生村・多喜浜村・大島村合併  
7月 「青少年問題協議会設置法」公布  
12月 市営野球場設置
- 29年 6月 「へき地教育振興法」「学校給食法」公布
- 30年 3月 泉川町・中萩町・船木村・大生院村合併  
泉川公民館・船木公民館設置  
4月 社会教育委員会設置  
6月 青年学級開校
- 31年 2月 大島公民館・惣開公民館設置  
3月 「就学奨励援助法」公布  
6月 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」公布  
7月 「文化財保護条例」制定  
12月 「幼稚園設置基準」告示 多喜浜公民館設置
- 32年 6月 川東支所開所
- 33年 4月 神郷公民館・高津公民館設置 教育研究所設置  
「義務教育学校施設費国庫負担法」「学校保健法」公布  
5月 「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」公布
- 34年 4月 郷土館設置 角野町合併 王子幼稚園・神郷幼稚園設置  
12月 「日本学校安全会法」公布
- 35年 4月 市立商業高等学校設置  
10月 上部支所開所
- 36年 6月 「スポーツ振興法」公布  
9月 大島地域・離島振興法適用  
10月 中学校全国一斉学力テスト実施
- 37年 3月 「教科書無償法」公布  
11月 市民文化センター設置 中央公民館設置
- 39年 1月 東予新産業都市指定  
4月 記念会館設置 重量挙練習場設置 弓道場設置 武徳殿設置  
奨学資金貸付基金条例制定  
7月 青少年問題協議会設置 少年補導センター設置
- 40年 5月 勤労青少年ホーム設置
- 42年 3月 市樹“クスノキ” 市花“ツツジ”制定
- 44年 7月 「同和対策事業特別措置法」公布
- 45年 4月 入学準備金貸付基金条例制定  
10月 第1回市民体育祭開催（以後毎年開催） 口屋跡記念公民館設置  
12月 山根市民グラウンド設置
- 46年 5月 「義務教育教員給与特別措置法」公布  
7月 第1回憲法を暮らしに生かす市民の集い開催  
10月 テニスコート設置  
12月 特別奨学基金条例制定 スポーツ振興審議会設置
- 47年 4月 川東中学校開校（神郷中・垣生中・多喜浜中・大島中統合）  
市民プール開設 体育施設建設基金設置 第一次長期総合計画策定  
6月 社会教育指導員設置  
11月 市民憲章制定

48年 4月 桃山学院短期大学開校 別子銅山休山  
 49年 2月 「教員人材確保法」公布  
 5月 市立学校体育施設開放  
 8月 市民福社会館設置  
 50年 4月 金子公民館設置 心身障害児就学指導委員会設置  
 7月 「私立学校振興助成法」公布  
 50年 8月 市立商業高校夏の高校野球で準優勝  
 51年 3月 泉川公民館新築  
 9月 身体障害者福祉センター設置 台風17号  
 12月 青野記念奨学基金条例制定  
 52年 7月 市民体育館設置  
 54年 2月 中央児童センター設置  
 6月 滝の宮トリム公園設置 角野公民館新築  
 55年 3月 新庁舎落成 惣開公民館新築 船木公民館新築  
 4月 第二次長期総合計画策定 生徒指導推進事務局設置 新設校推進臨時事務局設置  
 10月 郷土美術館設置  
 56年 3月 大島公民館新築  
 4月 金栄公民館設置  
 57年 4月 豊かな心を育てる施策推進モデル指定 若宮公民館・浮島公民館設置  
 58年 4月 新居浜公民館設置  
 59年 4月 青少年健全育成推進事務局設置  
 12月 美術館建設推進臨時事務局設置  
 60年 3月 新居浜市文化振興基金条例制定  
 東中・中萩小・船木小校舎増改築  
 中萩中プール増改築  
 6月 市営野球場改築  
 61年 2月 重量拳練習場改築 中萩小プール増改築  
 3月 神郷公民館新築 生徒指導推進事務局廃止  
 8月 財団法人新居浜市文化体育振興事業団設立  
 62年 1月 中学校柔剣道場新築（～元年度）  
 2月 新居浜小学校改築 東中体育館増改築  
 3月 山根総合体育館設置 多喜浜公民館増改築  
 63年 3月 船木中・泉川中・北中校舎改築 宮西小プール増改築  
 10月 山根屋内プール完成  
 11月 銅山の里自然の家新築  
 元年 1月 角野中校舎増築  
 3月 若宮小校舎改築 南中体育館増改築  
 10月 寺尾音楽教育振興基金条例制定  
 2年 2月 部室整備（中萩中・大生院中） 大生院中体育館増改築  
 3月 プール増改築（新居浜小・惣開小） 垣生公民館新築  
 桃山学院短期大学閉校 市立商業高校県立移管  
 2年 4月 第三次長期総合計画策定  
 3年 3月 船木中体育館増改築 泉川中体育館、屋上プール増新築  
 部室整備（船木中・泉川中） 中萩公民館増改築 大島教育集会所新築  
 4月 生涯学習センター設置  
 12月 パソコン教室設置（西・南・北中）  
 4年 2月 川東中部室整備  
 3月 金栄小体育館増改築 金子小プール増改築 口屋跡記念公民館改修  
 銅山の里自然の家集会所棟新築 別子銅山記念図書館住友より寄贈

- 4月 広瀬記念邸設置
- 5年 3月 大生院公民館増改築 文化振興会館改築  
北中プール増改築 北中部室整備  
パソコン教室設置（川東・東・船木・泉川・角野・中萩・大生院中）
- 4月 高齢者生きがい創造学園設置
- 6年 3月 部室整備（東中・西中・南中・角野中）  
高津小プール増改築
- 7年 3月 高津公民館増改築  
多喜浜小屋内運動場改築  
泉川小プール増改築  
船木小運動場造成
- 9月 小学校パソコン教室設置
- 8年 3月 若宮小プール改築  
川東中屋内運動場大規模改造
- 9年 3月 広瀬歴史記念館完成  
神郷小屋内運動場大規模改造  
大島小プール新築
- 9月 生涯学習都市宣言制定
- 10年 2月 高津小北校舎大規模改造
- 10月 東中完全給食開始
- 11年 1月 心の教室整備（東中）  
7月 市営サッカー場（グリーンフィールド新居浜）完成  
8月 心の教室整備（中萩中、川東中）  
10月 泉幸吉文庫開設（別子銅山記念図書館）
- 12年 3月 西中北校舎棟改築  
男女共同参画都市宣言制定
- 4月 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律（地方分権一括法）施行
- 9月 心の教室整備（北中、泉川中）
- 13年 3月 学校給食センター完成
- 4月 西・南・北・船木・泉川・角野・中萩・川東中学校完全給食実施  
船木小学校わかば分教室開設  
船木中学校ひびき分校開校
- 6月 第四次長期総合計画策定
- 10月 心の教室整備（南中・角野中）
- 11月 西中南校舎棟外改築
- 14年 4月 学校週5日制の完全実施
- 15年 1月 心の教室整備（船木中・大生院中）
- 15年 3月 垣生小学校プール改築
- 4月 別子山村との合併により別子小学校、別子中学校、教職員住宅、別子山公民館、別子山ふるさと館、別子山市民プール、別子山市民グラウンドが加わる  
総務課を廃止、同課の業務を社会教育課と学校教育課に移管  
同和教育課を廃止、同課の業務と大島教育集会所を人権擁護課に移管  
生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園を市民活動推進課に移管  
多喜浜体育館（旧勤労者体育センター）を商工観光課から体育文化課に移管  
新設校推進臨時事務局廃止  
視聴覚ライブラリー廃止  
教職員住宅保土野寮B棟焼失
- 6月 旧広瀬家住宅が国の重要文化財に指定
- 7月 泉川公民館新築

- 16年 3月 武徳殿 国の登録有形文化財登録
- 16年 台風の被害、避難所の設置
- 17年 1月～ 子ども見守り隊結成
- 3月 角野小学校プール改築
- 18年 3月 新居浜市伝える力を育てる教育特区(英語で話そう科・表現科)認定
- 9月 新居浜市こども夢未来基金創設
- 18年 耐震補強工事の実施  
(角野小・宮西小・高津小・若宮小・泉川小・惣開小・中萩小・浮島小) 体育館
- 19年 耐震補強工事の実施(金子小・大生院小・西中・川東中) 体育館  
(船木小・金子小・泉川小・中萩中) 校舎
- 20年 4月 発達支援準備室設置  
新居浜・西条地区広域市町村圏事務組合の解散により、同組合の施設「別子ハイツ自然学習館」が新居浜市に帰属  
地域主導型公民館へ移行(金子公・惣開公・若宮公・泉川公)
- 20年 耐震補強工事の実施(金栄小・中萩小・高津小・垣生小・東中) 校舎
- 21年 4月 発達支援課設置  
地域主導型公民館へ移行(新居浜公・金栄公)
- 21年 耐震補強工事の実施(角野小・神郷小・大生院小・惣開小・角野中・船木中・泉川中) 校舎
- 22年 4月 新居浜市地域交流センター設置(金子公民館廃止)  
地域主導型公民館へ移行(口屋跡記念公・高津公・浮島公・垣生公・神郷公・多喜浜公・船木公・大生院公)
- 10月 こども発達支援センター開所
- 22年 大規模改造工事の実施(神郷小・中萩小・角野小・別子小中・川東中) 校舎  
太陽光発電設備設置工事(新居浜小外26校)
- 23年 3月 北中学校体育館改築
- 4月 生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園が市民活動推進課から移管  
放課後児童健全育成事業の移管  
地域主導型公民館へ移行(中萩公民館・角野公民館)  
第五次長期総合計画策定  
体育文化課を廃止、スポーツ文化課設置  
耐震補強工事の実施(多喜浜小・北中・角野中) 校舎
- 24年 3月 新居浜市神郷学習館及び垣生学習館を廃止  
大規模改造工事の実施(角野小) 校舎  
耐震補強工事の実施(宮西小・浮島小・南中) 校舎
- 25年 3月 神郷公民館駐車場を拡張
- 25年 アセットマネジメントにより、公民館施設環境整備事業で、公民館の外壁塗装(惣開公民館・若宮公民館・大生院公民館)、公民館の屋上防水(神郷公民館・大生院公民館体育館)等を実施  
金栄小学校プール建設  
多喜浜体育館防水外壁改修を実施
- 26年 大島小学校(廃校)を利用して大島交流センターを新設(大島公民館は廃止)

# 教 育 委 員

職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
教 育 委 員 長	長 野 美 和 子	平 成 23 年 12 月 24 日	
教 育 委 員	三 木 由 紀 子	平 成 21 年 6 月 27 日	
教 育 委 員	伊 藤 嘉 秀	平 成 22 年 12 月 24 日	
教 育 委 員	宮 内 文 久	平 成 23 年 12 月 24 日	
教 育 長	阿 部 義 澄	平 成 14 年 4 月 1 日	

# 歴 代 教 育 委 員

## 公選された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
小 野 基 道	昭 和 27 年 11 月 1 日	昭 和 31 年 9 月 30 日	初代教育委員長
大 場 英 雄	" 27 年 11 月 1 日	" 31 年 9 月 30 日	二、三代教育委員長
村 上 精 逸	" 27 年 11 月 1 日	" 31 年 9 月 30 日	四代教育委員長
加 藤 長 次	" 27 年 11 月 1 日	" 30 年 4 月 22 日	
青 野 重 馬	" 27 年 11 月 1 日	" 30 年 4 月 22 日	議会選出
黒 川 晋	" 30 年 5 月 2 日	" 31 年 9 月 30 日	
高 須 賀 佐 太 郎	" 30 年 5 月 2 日	" 31 年 9 月 30 日	議会選出

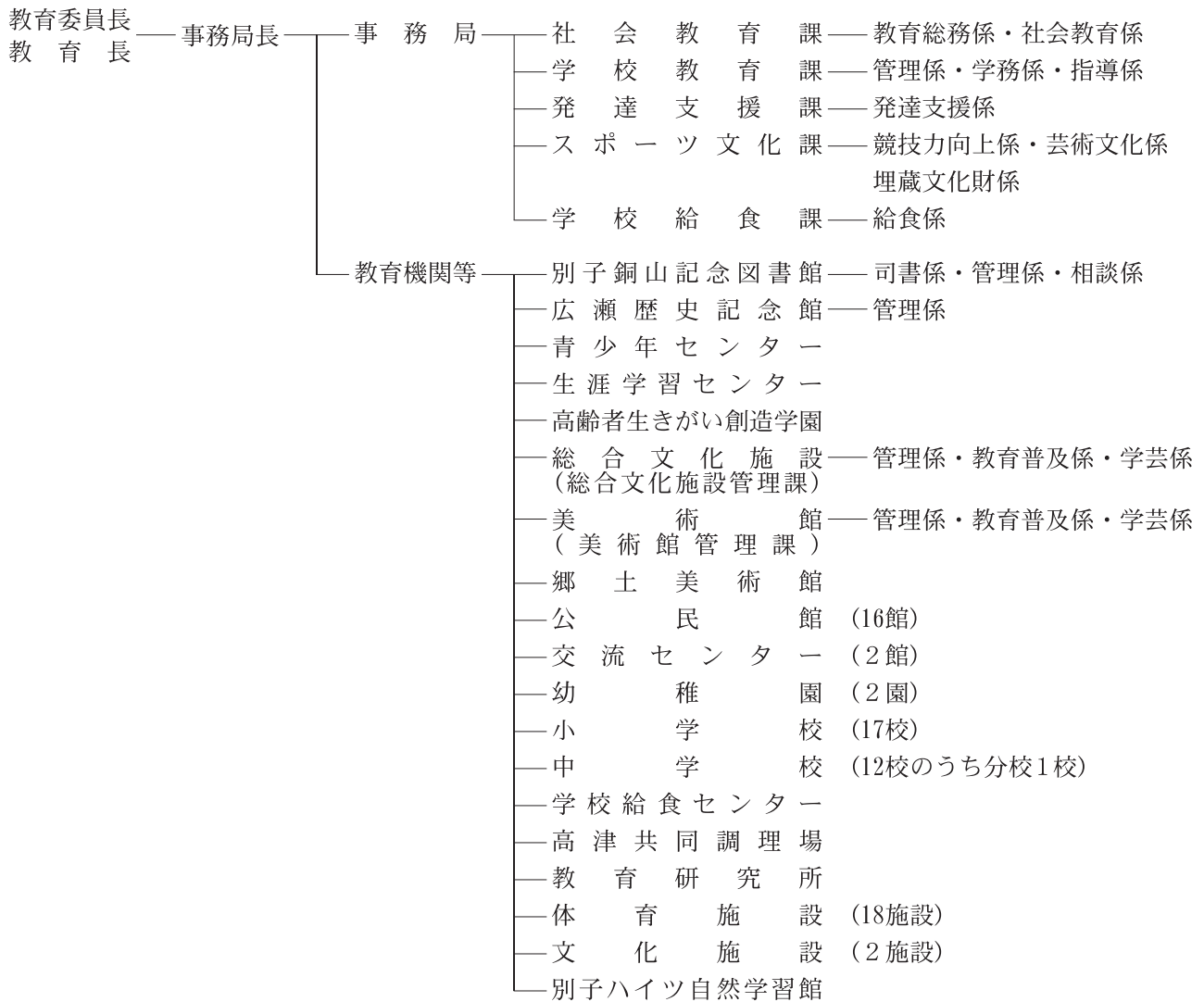
## 任命された教育委員

氏 名	就 任 年 月 日	離 任 年 月 日	備 考
大 場 英 雄	昭 和 31 年 10 月 1 日	昭 和 33 年 9 月 30 日	五代教育委員長
久 門 英 雄	" 31 年 10 月 1 日	" 33 年 9 月 30 日	六代 "
黒 川 晋	" 31 年 10 月 1 日	" 33 年 9 月 30 日	七代 "
三 浦 義 一	" 31 年 10 月 1 日	" 35 年 9 月 30 日	八代 "
加 藤 実	" 31 年 10 月 1 日	" 39 年 7 月 10 日	教育長を兼ねる
三 野 担	" 32 年 10 月 1 日	" 34 年 4 月 3 日	
高 橋 玉 置	" 33 年 10 月 1 日	" 37 年 9 月 30 日	九代教育委員長
永 井 伊 三 郎	" 34 年 10 月 20 日	" 36 年 9 月 30 日	
山 下 桂 太 郎	" 34 年 10 月 8 日	" 38 年 10 月 7 日	十代教育委員長
久 米 申	" 35 年 10 月 1 日	" 39 年 9 月 30 日	十一代教育委員長
亀 井 清 太 郎	" 36 年 11 月 1 日	" 40 年 10 月 30 日	十二代 "
神 野 一 郎	" 37 年 10 月 11 日	" 41 年 10 月 10 日	十三代 "
山 下 桂 一 郎	" 38 年 10 月 8 日	" 42 年 10 月 7 日	十四代 "
岡 本 悦 良	" 39 年 10 月 1 日	" 43 年 9 月 30 日	十五代 "
岡 虎 義	" 40 年 12 月 3 日	" 44 年 12 月 2 日	十六代 "
神 野 一 郎	" 41 年 10 月 11 日	" 45 年 6 月 30 日	十七代 "
栗 原 利 得 喜	" 41 年 10 月 11 日	" 45 年 10 月 10 日	教育長を兼ねる
藤 田 秀 朋	" 42 年 12 月 21 日	" 46 年 12 月 20 日	十八代教育委員長
近 藤 続 行	" 43 年 12 月 21 日	" 47 年 2 月 21 日	十九代 "
斉 藤 一	" 45 年 7 月 4 日	" 49 年 7 月 3 日	二十代 "
岡 虎 義	" 45 年 12 月 21 日	" 49 年 12 月 20 日	二十一代 "
藤 田 秀 朋	" 46 年 12 月 24 日	" 50 年 12 月 23 日	二十二代 "
村 上 哲 亮	" 46 年 8 月 1 日	" 50 年 7 月 31 日	教育長を兼ねる
神 野 忠 利	" 48 年 4 月 2 日	" 52 年 4 月 1 日	二十三代教育委員長
藤 田 凶 南 夫	" 49 年 12 月 24 日	" 53 年 12 月 23 日	二十四代 "

氏名	就任年月日	離任年月日	備考
藤田秀朋	昭和50年12月24日	昭和54年12月23日	二十五代教育委員長
坂口勲	" 50年12月14日	" 54年12月23日	二十六代 "
村上哲亮	" 51年3月18日	" 55年3月17日	教育長を兼ねる
神野忠利	" 52年4月2日	" 56年4月1日	二十七代教育委員長
堀越和衛	" 53年12月24日	" 57年12月23日	二十八代 "
印南忠一	" 54年12月24日	" 58年12月23日	二十九代 "
坂口勲	" 54年12月24日	" 58年12月23日	三十代 "
伊達孝	" 55年3月26日	" 59年3月25日	教育長を兼ねる
大西博臣	" 56年6月6日	" 60年6月5日	三十一代教育委員長
堀越和衛	" 57年12月24日	" 61年12月23日	三十二代 "
印南忠一	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十三代 "
坂口勲	" 58年12月24日	" 62年12月23日	三十四代 "
伊達孝	" 59年3月26日	" 63年3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	" 60年6月6日	平成元年6月5日	三十五代教育委員長
守谷照男	" 61年12月24日	" 2年12月23日	三十六代 "
千葉文政	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十七代 "
田坂富美子	" 62年12月24日	" 3年12月23日	三十八代 "
伊達孝	" 63年3月26日	" 4年3月25日	教育長を兼ねる
篠原利光	平成元年6月27日	" 5年6月26日	三十九代教育委員長
真鍋栄	" 2年12月24日	" 6年12月23日	四十代 "
天野征郎	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十一代 "
田坂富美子	" 3年12月24日	" 7年12月23日	四十二代 "
渡邊健	" 4年4月1日	" 8年3月31日	教育長を兼ねる
近藤求	" 5年6月27日	" 9年6月26日	四十三代教育委員長
千葉昭夫	" 6年12月24日	" 10年12月23日	四十四代 "
千葉陽三	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十五代 "
小野トヨミ	" 7年12月24日	" 11年12月23日	四十六代 "
西原洋昂	" 8年4月1日	" 12年3月31日	教育長を兼ねる
一色康範	" 9年6月27日	" 13年6月26日	四十七代教育委員長
加藤信一	" 10年12月24日	" 14年12月23日	四十八代 "
千葉陽三	" 11年12月24日	" 15年12月23日	四十九代 "
小野トヨミ	" 11年12月24日	" 15年12月23日	五十代 "
西原洋昂	" 12年4月1日	" 14年3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	" 13年6月27日	" 17年6月26日	五十一代教育委員長
阿部義澄	" 14年4月1日	" 16年3月31日	教育長を兼ねる
小野正師	" 14年12月24日	" 18年12月23日	五十二代教育委員長
宇野征一	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十三代 "
太田恵理子	" 15年12月24日	" 19年12月23日	五十四代 "
阿部義澄	" 16年4月1日	" 20年3月31日	教育長を兼ねる
栗田敬子	" 17年6月27日	" 21年6月26日	五十五代教育委員長
小野正師	" 18年12月24日	" 22年12月23日	五十六代 "
宇野征一	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十七代 "
太田恵理子	" 19年12月24日	" 23年12月23日	五十八代 "
阿部義澄	" 20年4月1日	" 24年3月31日	教育長を兼ねる
三木由紀子	" 21年6月27日	" 25年6月26日	五十九代教育委員長
伊藤嘉秀	" 22年12月24日	" 26年12月23日	六十代 "
宮内文久	" 23年12月24日		六十一代 "
長野美和子	" 23年12月24日		六十二代 "
阿部義澄	" 24年4月1日		教育長を兼ねる
三木由紀子	" 25年6月27日		
伊藤嘉秀	" 26年12月24日		

# 組 織 図

(平成27年5月1日現在)



# 職 員 数

(平成27年5月1日現在)

	定 数	現 員
事 務 局	45	42
教 育 機 関	64	51

(事務局現員においては、新居浜市職員定数条例第4条第3号の規定による定数外の職員1名を含む。)

	課 所 別	職員	臨時職員	非常勤職員	委託職員	短時間再任用職員	計
事務局	社 会 教 育 課	11	1	64	2		78
	学 校 教 育 課	14		17		1	32
	発 達 支 援 課	7		20			27
	ス ポ ー ツ 文 化 課	7	2				9
	学 校 給 食 課	3	1				4
教育機関	別 子 銅 山 記 念 図 書 館	8	9	3			20
	広 瀬 歴 史 記 念 館	2		4			6
	青 少 年 セ ン タ ー		2				2
	生 涯 学 習 セ ン タ ー ・ 高 齢 者 生 き が い 創 造 学 園		2	10			12
	総 合 文 化 施 設 管 理 課 (美 術 館 管 理 課)	6	1	2			9
	郷 土 美 術 館		2	2			4
	公 民 館	1		70			71
	幼 稚 園	7	3	6			16
	小 学 校 (県 費 教 職 員 を 除 く。)	23	4	169	7		203
	中 学 校 (県 費 教 職 員 を 除 く。)			63			63
	学 校 給 食 セ ン タ ー		21	17			38
	高 津 共 同 調 理 場	4		11			15
	教 育 研 究 所			1			1
計	93	48	459	9	1	610	

# 事務局事務分掌

課	事 務
社会教育課	<p>教育委員会の会議及び庶務に関すること。            教育長及び教育委員会委員の報酬、費用弁償、請求、支払、儀式及び交際に関すること。            職員(県費負担教職員を除く。)の任免、給与、分限、褒賞、懲戒、服務、福利及び厚生並びに定数配置に関すること。            公印の管守に関すること。            教育委員会の規則及び規程の制定及び改廃並びに規則の公布に関すること。            情報公開の調整に関すること。            個人情報保護の調整に関すること。            事務局の庶務に関すること。            予算経理の指導助言に関すること。            社会教育施設の設置及び廃止に関すること。            社会教育施設の管理、営繕及び保全に関すること。            社会教育委員会の庶務に関すること。            成人教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。            社会教育指導者の育成及び社会教育関係団体の育成指導に関すること。            公民館、交流センター、生涯学習センター、高齢者生きがい創造学園、図書館、別子ハイツ自然学習館及び青少年センターに関すること。            青少年健全育成の推進に関すること。            青少年団体指導者の育成に関すること。            放課後児童健全育成事業の実施に関すること。            家庭教育の学級、教室、講座等の開設事務、運営指導及び調整に関すること。            関係機関及び団体との連絡調整に関すること。            学校体育施設開放の事務及び運営指導に関すること。            学校体育施設開放に伴う使用許可及び使用料収納に関すること。</p>
学校教育課	<p>学校及び幼稚園の設置及び廃止に関すること。            学校敷地及び建物の設置及び変更に関すること。            学校施設及び幼稚園施設の管理、営繕及び保安に関すること。            学校及び幼稚園の管理運営の指導に関すること。            学校休業日の決定に関すること。            学校行事等の調整、指導及び承認に関すること。            教育団体関係事務に関すること。            児童・生徒の就学事務に関すること。            通学区域の設定変更事務に関すること。            学級編制関係事務に関すること。            教科書関係事務に関すること。            県費負担教職員の人事、給与、福利及び厚生事務に関すること。            就学援助事務に関すること。            奨学資金事務に関すること。            教育課程及び教育内容の編成に関すること。            教科用図書の採択に関すること。            学校及び幼稚園の教育指導に関すること。            教員の現職教育研修に関すること。            児童・生徒活動の指導に関すること。            教育研究所事務に関すること。            就園奨励関係事務に関すること。            中学生等の国際交流に関すること。            児童・生徒の生活指導に関すること。            学校体育に関すること。            就学時の健康診断事務に関すること。            児童・生徒及び学校職員の健康診断事務に関すること。            学校保健に関すること。            学校安全に関すること。</p>
スポーツ文化課	<p>体育文化施設の設置及び廃止に関すること。            体育文化施設の管理、営繕及び保安に関すること。            市民体育の振興に関すること。            スポーツ推進審議会の庶務に関すること。            スポーツ推進委員に関すること。            スポーツの指導者等の養成及び資質の向上並びにその活用に関すること。            体育及びスポーツの行事の企画、運営及び指導に関すること。            市民体育関係団体の育成に関すること。            文化財保護委員会の庶務に関すること。            芸術文化の振興に関すること。            文化財の保存活用に関すること。            総合文化施設、郷土美術館及び広瀬歴史記念館に関すること。            体育文化施設の使用許可及び使用料収納に関すること。            関係機関及び団体との連絡調整に関すること。            公益財団法人新居浜市文化体育振興事業団に関すること。</p>
学校給食課	<p>学校給食に関すること。            共同調理場に関すること。</p>
発達支援課	<p>特別支援教育に関すること。            発達支援に関すること。</p>



# 教育費歳出予算（目別、平成26・27年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	平成26年度		平成27年度		前年度比較
	当 初 予 算		当 初 予 算		
費 目	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
教育総務費	990,860	23.2 %	814,781	16.2 %	82.2 %
教育委員会費	6,719	0.2 %	6,732	0.1 %	100.2 %
事務局費	401,223	9.4 %	414,649	8.3 %	103.3 %
諸費	582,918	13.6 %	393,400	7.8 %	67.5 %
小学校費	632,691	14.8 %	1,638,128	32.5 %	258.9 %
学校管理費	413,431	9.7 %	459,114	9.1 %	111.0 %
教育振興費	184,766	4.3 %	239,273	4.7 %	129.5 %
学校建設費	34,494	0.8 %	939,741	18.7 %	2,724.4 %
中学校費	505,474	11.8 %	409,108	8.1 %	80.9 %
学校管理費	234,725	5.5 %	239,280	4.8 %	101.9 %
教育振興費	94,499	2.2 %	111,982	2.2 %	118.5 %
学校建設費	176,250	4.1 %	57,846	1.1 %	32.8 %
幼稚園費	116,704	2.8 %	175,181	3.5 %	150.1 %
幼稚園費	116,704	2.8 %	175,181	3.5 %	150.1 %
社会教育費	988,521	23.0 %	747,994	14.9 %	75.7 %
社会教育総務費	163,142	3.8 %	162,197	3.2 %	99.4 %
公民館費	432,547	10.1 %	197,040	3.9 %	45.6 %
図書館費	99,424	2.3 %	95,918	1.9 %	96.5 %
郷土美術館費	13,981	0.3 %	11,693	0.3 %	83.6 %
青少年教育費	364	0.0 %	364	0.0 %	100.0 %
青少年センター費	3,849	0.1 %	3,865	0.1 %	100.4 %
広瀬歴史館費	56,208	1.3 %	40,025	0.8 %	71.2 %
総合文化施設費	119,006	2.8 %	236,892	4.7 %	199.1 %
美術品購入基金費	100,000 (企画部)	2.3 %	—	—	—
保健体育費	1,041,747	24.4 %	1,249,901	24.8 %	120.0 %
保健体育総務費	44,965 (うち5,899は企画部)	1.1 %	73,338 (うち32,349は企画部)	1.5 %	163.1 %
保健体育施設管理費	119,609	2.8 %	105,140	2.1 %	87.9 %
体育施設費	338,485 (うち40,813は企画部)	7.9 %	525,342 (うち68,688は企画部)	10.4 %	155.2 %
学校給食費	538,688	12.6 %	546,081	10.8 %	101.4 %
合 計	4,275,997	100.0 %	5,035,093	100.0 %	117.8 %
一般会計総額	46,816,278		48,654,782		103.9 %
教育費の割合	9.1 %		10.3 %		1.2p 増

放課後児童クラブ運営費 …… 放課後児童対策費（民生費 児童福祉費 児童福祉総務費） 99,054千円

高齢者生きがい創造学園講座事業費 …… 介護保険事業特別会計（地域支援事業費 選択型地域支援事業費） 8,401千円

# 年度別教育費歳出決算（目別、平成21～26年度）

（単位：千円）

年度 費目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
教育総務費	567,506	693,796	721,288	637,705	727,921	925,950
教育委員会費	6,640	6,622	6,655	6,551	6,535	6,355
事務局費	340,669	422,127	407,280	372,420	373,111	401,945
諸費	220,197	265,047	307,353	258,734	348,275	517,650
小学校費	894,607	2,167,815	645,316	1,042,661	797,032	641,832
学校管理費	383,784	572,912	409,111	388,962	442,470	406,769
教育振興費	144,504	405,448	136,467	136,421	155,305	173,584
学校建設費	366,319	1,189,455	99,738	517,278	199,257	61,479
中学校費	701,878	1,776,537	492,875	410,134	348,481	349,654
学校管理費	212,637	340,423	214,519	253,306	266,679	217,698
教育振興費	97,450	300,704	73,892	90,640	81,802	81,800
学校建設費	391,791	1,135,410	204,464	66,188	0	50,156
幼稚園費	97,742	104,980	92,760	106,067	105,056	109,034
幼稚園費	97,742	104,980	92,760	106,067	105,056	109,034
社会教育費	458,292	466,189	502,498	501,533	630,153	918,834
社会教育総務費	183,458	144,840	162,626	170,010	175,329	276,175
公民館費	136,114	156,851	160,949	184,339	199,360	278,573
図書館費	88,578	92,622	83,913	87,732	203,809	97,687
郷土美術館費	9,198	9,015	18,567	21,304	14,139	12,036
青少年教育費	1,518	2,316	1,933	1,037	298	350
青少年センター費	3,001	3,052	3,145	3,163	3,084	3,194
広瀬歴史記念館費	36,425	57,493	71,365	33,948	34,134	54,567
総合文化施設費						83,752 （企画部）
美術品購入基金						112,500 （企画部）
保健体育費	842,658	799,367	783,977	866,887	1,133,849	1,086,096
保健体育総務費	25,207	25,219	23,785	33,170	35,133	39,679 （うち5,110は企画部）
保健体育施設管理	0	0	0	42,140	233,388	64,117
体育施設費	324,541	274,572	262,510	299,494	383,841	470,785 （うち179,246は企画部）
学校給食費	492,910	499,576	497,682	492,083	481,487	511,515
合計	3,562,683	6,008,684	3,238,714	3,564,987	3,742,492	4,031,400

ただし、繰越分含む。

平成26年度放課後児童対策費決算額（民生費、児童福祉費、児童福祉総務費）88,448千円

平成26年度高齢者生きがい創造学園講座事業費決算額（介護保険事業特別会計 地域支援事業費

選択型地域支援事業費）8,409千円

# 社 会 教 育 課

## 重点目標

- 1 市民の自ら学ぶ意欲を喚起し、市民生活に即したさまざまな活動の拠点としての公民館整備に努める。
- 2 子どもたちの居場所づくりに取り組み、安全・安心の確保に努める。
- 3 引き続き公民館の耐震補強対策を進める。
- 4 安全で快適に学校開放施設が利用できるよう夜間照明設備等を順次更新する。

## 最重要課題

地域住民が主役になった公民館活動の推進

## 重点事項

### I 各世代に対応した事業の推進

#### 1 青少年を対象とした事業

- (1) 子どもたちの居場所づくりを推進するために、放課後子ども教室に取り組む。
- (2) 郷土愛を育てるために、地域の伝統行事の継承及び自然体験を推進する。
- (3) 地域全体で子どもの成長を見守るために指導者やボランティアの発掘育成に努める。

#### 2 家庭を対象とした事業

- (1) 未就学児を持つ親を対象とした子育て教室を開設する。子育てサロンとの連携に努める。
- (2) 親の責任と家庭の役割について学習する家庭教育講座等を通じて保護者としての意識向上を図る。
- (3) 地域において情報や学習機会の提供を行い、相談体制の充実等地域全体で家庭教育を支えていく地域家庭教育や子育てサポート事業に取り組む。
- (4) いじめ・不登校等の問題に対して、地域・家庭・学校が連携して取り組む体制を整備する。

#### 3 女性を対象とした事業

- (1) 女性の自主学習や社会参画の促進を図り、エンパワーメントにつなげる。
- (2) 公民館における女性を対象とする講座の開設及び地域活動への参画を促進する。
- (3) 婦人会等の地域の女性団体の育成及び指導者養成に努める。

#### 4 高齢者を対象とした事業

- (1) 高齢者が地域、家庭の一員として果たすべき役割、健康づくり、社会の変化への対応などについて学習するための講座を開設する。
- (2) 高齢者の知識や経験を活用し、地域文化の伝承、世代間交流事業等を推進する。
- (3) 高齢者が地域や学校で活躍する見守り隊や読み聞かせなどのボランティア活動の推進を図る。

#### 5 成人を対象とした事業

- (1) 急激な社会の変化に対応するために、今日的な社会課題を解決する講座や事業に取り組む。地域に還元できる社会教育を目指す。

自主防災・環境問題・男女共同参画・安全安心・介護福祉・子育て支援等

- (2) 市民の多種・多様な学習ニーズに対応するために生涯学習センターやNPO等と連携を図り、高度化・専門化した学習機会を提供する。
- (3) 人権感覚を磨き、差別をしないまちづくりを推進する。
- (4) 地域の各種団体との連携を密にし、心豊かなコミュニティづくり、ボランティア精神の定着に努め、市民と行政の協働でまちづくりを推進する。
- (5) 社会体育を推進するために、学校の体育館、グラウンド等の学校開放事業を行う。
- (6) 各種団体のリーダーを対象に研修を実施し、指導者としての資質向上を図る。

## II 主な事業

### 1 地域教育力向上プロジェクト推進事業

①個人の学習のための事業…“学ぶ” ②地域での実践のための事業…“活かす” ③今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業…“創る”を三つの大きな柱として各地域がその実情、必要性に応じて①～③のメニューを選択し実施する委託事業。地域の特色を活かした事業、住民全体の手によって地域課題を検討・解決していく事業を推進する。

### 2 地域コミュニティ再生事業（公民館等を中心とした社会教育活性化プログラム）

公民館の活性化を目的として、防災・減災・介護・家庭支援・地域振興など現代的課題に対応した課題解決するための実証事業を委託実施する。

### 3 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の強化を図り、登下校支援・読み聞かせなど各種の学校支援活動を行う学校支援地域本部を設置する。

### 4 放課後子ども教室

放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後支援活動を推進する。

### 5 放課後児童クラブ

就労等により昼間家庭に保護者がいない児童（小学1年～3年生）を対象に、その児童の健全育成を図るため放課後児童クラブを開設する。長期休業中に限り小学4年生の受け入れを行う。

## III 別子ハイツ自然学習館

市民に豊かな自然環境の中での学習や研修の場を有料で提供し、青少年の健全な育成と社会教育活動の推進を図るため、設置している。

### 施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物延面積 (㎡)	電話
立川町1番地1	平成20.4.1	鉄筋コンクリート造2階建	3,207.00	566.50	41-0443

# 社会教育委員名簿

(平成27年7月1日 現在) 50音順

氏名	性別	備考
安藤進一	男	体育協会代表
久保弥生	女	公民館連絡協議会代表
篠原雅士	男	文化協会代表
高塚広義	男	市議会福祉教育委員長
寺岡武志	男	青年会議所代表
寺田峯子	女	女性連合協議会代表
中山恵二	男	医師会代表
西岡圭	男	P T A連合会代表
野村大介	男	愛媛新聞社新居浜支社長
秦榮子	女	ボランティア連絡協議会代表
原田英比古	男	企業代表
日野貴文	男	高等学校校長会代表
日野幸彦	男	連合自治会代表
星川孝徳	男	小学校校長会代表
横井敏行	男	中学校校長会代表

任期 平成27年7月1日～平成29年6月30日

## 放課後児童クラブ一覧表

クラブ名称	設置場所	クラブ名称	設置場所
たねっこクラブ1	高津小学校	すみれクラブ	宮西小学校
たねっこクラブ2	同上	ひまわりクラブ	垣生小学校
ひかりクラブ1	中萩小学校	のぞみクラブ	惣開小学校
ひかりクラブ2	同上	あじさいクラブ	多喜浜小学校
なかよしクラブ	新居浜小学校	さくらクラブ1	泉川小学校
たんぽぽクラブ1	金栄小学校	さくらクラブ2	同上
たんぽぽクラブ2	同上	こねこクラブ	若宮小学校
こぼとクラブ1	角野小学校	かがやきクラブ1	金子小学校
こぼとクラブ2	同上	かがやきクラブ2	同上
うずいクラブ	大生院小学校	きりんクラブ	上部児童センター
かぶとクラブ	船木小学校	ぴかっこクラブ	川東児童センター
あひるクラブ1	神郷小学校	ともだちパーク	コミュニティハウス三恵
あひるクラブ2	同上		

# 公 民 館 等 一 覧 表

(平成27年5月1日現在)

施設名	所在地	設 立 年月日	新改築 年度	人 口 27. 3. 31	世帯数	構 造	建 築 延 面積(m <sup>2</sup> )	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	施設長氏名
新 居 浜 32-8312	新居浜市新須賀町 三丁目2番17号	昭和 58. 4. 1	昭57年度 新築	4,531	2,261	鉄 筋 2階建	535.50	1,586.00	高田 実
口屋跡記念 32-8430	" 西町 6番2号	" 45.10. 3	平 3 " 改築	4,997	2,532	鉄 筋 3階建	949.44	2,214.87	高田 憲二
地域交流センター 34-6320	" 庄内町 一丁目14番7号	平成 22. 4. 1	平21 " 新築	11,759	5,428	鉄 筋 2階建	945.02	2,021.40	越智 保二
金 栄 33-3212	" 高木町 6番25号	昭和 56. 4. 1	昭55 " 新築	5,687	2,636	鉄 筋 2階建	456.00	1,758.00	塩見 進
高 津 32-3320	" 沢津町 二丁目3番30号	" 33. 4. 1	平 7 " 改築	11,886	5,623	鉄 筋 2階建	987.25	2,220.77	柴田晋八郎
浮 島 34-7617	" 八幡 二丁目6番52号	" 57. 4. 1	昭56 " 新築	3,733	1,684	鉄 筋 2階建	456.00	1,480.48	佐々木清隆
惣 開 33-1031	" 王子町 1番3号	" 31. 2. 24	昭54 " 新築	4,230	2,021	鉄 筋 2階建	456.00	1,130.81	久石 保
若 宮 34-7612	" 新田町 一丁目8番37号	" 57. 4. 1	昭56 " 新築	1,858	1,033	鉄 筋 2階建	456.00	1,124.96	久保 弥生
垣 生 45-0024	" 垣生 二丁目12番26号	" 24.12. 1	平元 " 新築	4,422	1,907	鉄 筋 平屋建	483.00	1,985.80	加藤 久勝
神 郷 46-1181	" 郷 三丁目7番20号	" 33. 4. 1	昭60 " 新築	10,078	4,452	鉄 筋 2階建	624.00	1,803.58	柴田 誠治
多 喜 浜 45-0014	" 多喜浜 五丁目7番27号	" 31.12.27	昭61 " 改築	3,961	1,911	鉄 筋 2階建	545.63	1,245.00	真鍋 淳江
大島交流センター 45-1006	" 大島 甲589番地	" 31. 2. 24	平27 " 移転	233	146	鉄 筋 3階建	公民館 942.02 体育館 634.05 プール 80.05	公民館 4,671.32 プール 610.00	矢野 秀綱
泉 川 41-6463	" 瀬戸町 12番34号	" 30. 3. 31	平15 " 新築	11,814	5,688	木 造 平屋建	公民館 693.00 体育館 286.00	2,966.00	今西 光昭
中 萩 41-6735	" 萩生 740番地の1	" 22.11. 1	平 2 " 改築	19,905	8,982	鉄 筋 2階建	984.00	2,024.02	衣川 裕二
船 木 41-6003	" 船木 2579番地の1	" 24. 9. 14	昭54 " 新築	7,364	3,344	鉄 筋 2階建	456.00	1,917.99	徳田 勝英
大 生 院 41-6604	" 大生院 1063番地の1	" 25. 9. 28	平 4 " 改築	4,127	1,884	鉄 筋 2階建	公民館 562.70 体育館 233.20	4,324.28	松本 彰
角 野 41-6224	" 中筋町 二丁目4番24号	" 23.11. 3	昭54 " 新築	11,994	5,520	鉄 筋 2階建	864.00	2,963.24	横山 泰茂
別 子 山 64-2211	" 別子山 甲347番地の1	" 59. 4. 1	昭59 " 新築	172	95	鉄 筋 2階建	631.00	821.54	和田 仲吉
合 計				122,751	57,147				

※ 改築は、増築・大規模改修等とする。

# 公 民 館 事 業 計 画

新 居 浜 公 民 館

公民館重点目標		<p>～夢・ロマン・感動を求めて～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ボランティア活動の推進</li> <li>2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年健全育成と見守り隊の推進</li> <li>3 生涯学習の活性化と推進</li> <li>4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成</li> <li>5 小学生・中学生の居場所づくりと交流</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	地域の女性を対象とし、多種多様な講座を開催し、文化教養を高める。(年6回)健康教室・手芸教室・料理教室 等
	シニアネットワーク	段階世代の方が中心となり、豊かな技能や技術を発揮し、健康で生きがいのある人生を送ることの出来る学習の機会や他世代との交流を促進していく。
	小学生夏休み講座	未来を担う子どもたちを、健やかに育むため、活力ある、絵画教室・宿題デー・パソコン教室を行う。
	小・中学生料理教室	地域の方が講師となり新たな交流関係を生みだし、料理を学ぶ事により家庭での仕事を体験し、理解できるよう取り組む。(各年2回)
	浜っこ教室	あいさつが出来る子を目標に、新居浜小学校へ通う児童を対象とし、昔遊び・科学実験・自然体験活動等の事業を地域協力で行い、協調性を養う。
	防災キャンプ	避難体験をすることによって、実際に災害で避難する場合、落ち着いて行動をとることができることを目指す。
	地域づくり推進事業	「活き生きセミナー」と題して、地域の声や意見を把握し地域発信の地域づくりを推進し、地域住民が楽しく、元気になれる場所づくりや、伝統的な食文化や装飾などを活かして、地域が一体となって「熟議」し取り組める事業を行う。
	三世代交流健康ウォークラリー	三世代交流活動の一環として、新居浜校区史跡を散策し、健康づくりと三世代の地域交流を目的とする。
	新小夜市	夏祭りを開催し、幼児・小・中学生や高齢者との交流を図り、地域の活性化を促進する。
	三世代交流事業	餅つき・しめ縄づくり・凧づくりを各種団体が共同で実施し、伝統的文化・技術の継承を行い、各世代間交流と親睦を深める。
	地域自主防災組織の強化	新居浜校区自主防災会を再構築し、単位自治会相互の連携で、熟議に取り組み、災害時においての高齢者対策、地域課題解決を行う。また高松市松島コミュニティセンターにて研修を行い、地域防災知識を高める。
地域活性化事業	新居浜小学校のビオトープの環境整備とスポーツ教室で地域全体の健康、体力増進を図り、魅力ある地域づくりを行う。	
公民館部活動	広報部・文化部	
校区内行事	校区文化祭・校区運動会	
その他特記事項		

# 公 民 館 事 業 計 画

口屋跡記念公民館

公民館重点目標		～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～ 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実 2 青少年の健全育成 3 社会教育関係団体相互の連携・交流 4 人権・同和教育の推進 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育(家庭教育講座)	親子食育教室、軽スポーツ、手芸教室、フットセラピー講座、カイロプラテック講座
	女性教育(女性講座)	軽スポーツ、AED研修、カイロプラテック講座、フェイクスイーツ講座、編み物教室、料理教室 他
	高齢者教育(高齢者講座)	奉仕活動、史跡探訪、防災教室、保育園児との交流、軽スポーツ、交通安全教室、人権・同和教育、健康教室 他
	高齢者・女性合同講座	県内外から講師の先生を呼んで人権・同和教育を学ぶ
	生活文化講座	一日親子研修
	スポーツ健康教室	バタンク、グラウンドゴルフ、シャフルボード、スマイルボウリング
	三世代交流講座	地域支え合いで購入した備品を活用して、口屋の歴史等を小学生や地域住民に学んでもらう講座を開催する。また、小学校の始業式に合わせて、4年生を対象とした七草がゆ講座を開催する。校区女性部、民生女性委員を中心にして粥をつくるが、児童たちはそれを手伝い、その後一緒に食べるまでを通して、七草がゆの由来や七草の種類について学ぶ。
	三世代交流福祉もちつき大会	小学6年生、PTA、老人会、自治会等でもちつき、赤飯作りを実施する。なお、6年生は、たまごとダエンの積木を使用した講座を行い、創造力の育成を図る。また、地域の独居老人宅に児童の手紙を添えた赤飯を配布する。
	先進地研修	地域の問題点が似ている先進地に出向き、どのようにして地域の活性化を図ることに成功したか等のノウハウを学び活かすための研修を実施する。
	北中校区子ども絵画展	地域の元美術の先生を中心として、子どもたち(小・中学生対象)から絵を募集して展示・審査・指導等の教室を開く。この事業を通して、PTA、学校、地域が協力し合い、子どもたちの文化的な活動を後押しし心を癒し育てるための事業。
	三世代で考える防災訓練	毎年開催することで、防災意識を常に持ち、災害に際したときの連携を深めるための訓練を実施する。今年度は文化祭と並行して防災訓練を実施。
口屋あかがねプロジェクト事業	口屋あかがねの会・くちやあゆみの会と2つの会が次世代に残していきたい口屋の歴史をこどもたちに伝えていくために活動する。また地域住民自体が地域の歴史・文化を学び、後世に語り続けるための勉強会を実施する。	
公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業	地域の宝を活かした事業及びジオラマの拡充	
校区内行事	文化祭、運動会	
その他特記事項	人権・同和教育お茶の間懇談会	



# 事業計画

## 地域交流センター

公民館重点目標		<p>～笑顔あふれる地域交流センター～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域ふるさとづくりの推進</li> <li>2 生涯学習・スポーツの推進</li> <li>3 各種団体との連携・協力体制の強化</li> <li>4 地域が一体となった青少年の健全育成</li> <li>5 自主防災組織の充実と意識の向上</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	高齢者講座	高齢者の健康と活力を高めるとともに学習を通じて親睦交流、仲間づくりと教養を高める講座を行う。 ・高齢者を狙う悪徳商法 ・グランドゴルフ大会 ・料理教室 ・手芸教室 ・昔の遊び 等
	家庭教育講座	金子小学校PTAを中心とした、学習と親子で楽しむ講座を行う。 ・親子陶芸教室 ・救急法 ・親子工作教室 ・親子科学実験教室 ・人権同和教育研修 等
	スポーツ健康教室	校区住民を対象に、スポーツを通じて各世代間交流を図り健康づくりを行う。 ・カローリング 等
	宿泊合宿	「おやじの会」を中心に、保護者の連携と子供たちとの関わりを大切に、皆で協力して色々なことに挑戦する。 また、地域の歴史も勉強する。
	文化講座	金子校区に伝わる踊りや歴史文化を学習する。 ・たぬき踊りの練習 ・ふるさと探訪
	三世代交流	三世代交流を目的とし、地域の人たちがふれあいながら、四季を感じられる講座を行う。 ・七夕 ・しめ縄作り ・凧作り ・七草を知る会
	乳幼児講座	未就学児を持つ親同士の交流を図り、親子で楽しめる講座を行う。 ・親子3B体操 ・英語で遊ぼう ・料理教室 ・親子リトミック教室 ・クリスマス会 等
	まちづくり事業	自治会および各種団体の連携を図りながら熟議に取り組み、自主防災組織の強化と災害時における対策と訓練を行う。 ・防災運動会 ・運審研修旅行
放課後子ども教室 推進事業	金子校区に伝わる「小女郎たぬき」の民話を継承していくために、地域の大人から子供へ踊り、篠笛、太鼓の技術指導をする。 また、そろばん教室や習字教室も実施する。	
交流センター部活動	総務文化部、青少年部、保健体育部、広報部	
校区内行事	ラブ金子ふるさと夏まつり、芸能発表会、文化祭、高齢者軽スポーツ大会	
その他特記事項		

# 公 民 館 事 業 計 画

金 栄 公 民 館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館を目指して～ 1 安全・安心のまちづくりの推進 2 青少年健全育成の推進 3 公民館活動への住民の参画促進及び各種団体との連携強化 4 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	婦人講座	人権学習、料理教室、史跡めぐり、干支作り、手芸教室など
	高齢者講座	人権学習、軽スポーツ、料理教室など
	家庭教育講座	人権学習、ピラティス、簡単バスソルト作りなど
	文化講座	手芸教室など
	三世代交流事業	親子のつどい、芸能発表会、金栄ふれあいの集い
	金栄盆踊り	地域住民の夏の交流の場として盆踊り・模擬店等を開催
	ドリームツリー「金栄ふれあい広場」	金栄校区の冬の風物詩であるドリームツリーの点灯式を開催
	金栄まちづくり事業	地域パトロール、防災熟議、先進地研修
	環境保護事業	ぼかし作り
	子育て支援講座	ママとベビーの3B体操、ふれあいミニ運動会、水遊びなど
放課後子ども教室推進事業	かるがもクラブ（そうめん流し、お弁当作り、工作、みかん狩りなど）	
公民館部活動	広報部、防犯防災部等	
校区内行事	運動会(5月17日)、文化祭(11月8日)	
その他特記事項	金栄ふれあいの家（月1回） 金栄ふれあいランド ～わくわくキッズ王国・ふるさと青空マルシェ～ (11月7日)	

# 公 民 館 事 業 計 画

高 津 公 民 館

公民館重点目標		～住民が主体的に携わる公民館を目指して～ 1 自治能力の向上と安全な地域づくりに努める 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進とまちづくり構想の策定 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成 4 地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実 5 人権・同和教育の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	健康、人権・同和学习、環境、交通安全教室、防災、まちづくり、郷土史等
	女性講座 (女性セミナー)	人権・同和学习、コーラス、環境、健康、観劇、アクセサリー作り、陶器作り等
	健康講座	歩け歩け大会
	スポーツ健康教室	各種体操、軽スポーツを実施して、校区住民の親睦交流・健康づくりを推進する。
	健康ウォーキング	ウォーキングを通して自然に親しみ、親子、子どもからお年寄りまで異世代間の交流を図る。
	れんげ祭り	自然体験の少ない子どもたちのために農地を借り上げネイチャーゲーム、昔遊び、防災交通安全の啓もう等を行うとともに三世代の交流を図る。
	たかつ納涼夏祭り	校区の夏のイベントとして、子どもからお年寄りまで皆が楽しめる夏祭りを実施する。盆踊り・模擬店・迷路・ゲーム大会・交通防災勉強会等
	たかつ花あふれるまちづくり	ボランティアによる花苗の栽培と花壇の植え込み、管理等のまちの環境美化を行うとともに、花作りを通して心豊かな人間形成を行う。
	たかつ史跡めぐり	地域についての史跡を学び、地域への関心を育むと同時に、地域の人々の親睦・交流を深める。
	文化部発表会	公民館利用サークルの発表の場を設け、サークル間の情報交換や技術向上を目的とする。
	青少年育成事業	児童に様々な体験学習を行うと共に成年・青少年に対し長期的視点でリーダー養成を行う。
	たかつ防災事業	国領川・沢津垣生海岸の隣接自治会から順次、地震・津波・豪雨の災害時への対応の啓蒙・周知を図る。
家庭教育講座	親子関係が希薄になり児童虐待等の家庭問題が頻発している昨今、親への教育も重要であることから親への講演会を実施する。	
放課後子ども教室 推進事業	地域社会の中で子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する（やんちゃクラブ）。毎週土曜日開催。	
公民館等を中心とした 社会教育活性化支援 プログラム事業	高津地区のまちづくりの総合理念と住民交流、福祉関係、青少年健全育成、環境防災、都市基盤の5分野について長期的視点に立って策定する。	
”	高津まちづくり構想を長期・中期・短期に分類し短期について3ヶ年実施計画をつくり実現に取り組む。	
公民館部活動	総務広報部（公民館報の編集、各種団体役員名簿の作成等） 文化部（文化サークル発表会の開催等） 青少年部（青少年健全育成の講演等）	
校区内行事	校区運動会、校区文化祭、文化部発表会	
学校支援地域本部事業	高津よみかせクラブの活動により低学年の道徳、創造力等を養う。	

# 公 民 館 事 業 計 画

浮 島 公 民 館

公民館重点目標		<p>～明るく元気な浮島校区の構築～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む。</li> <li>2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進。</li> <li>3 「安全・安心」の地区の拠点としてのレベルアップ。</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	総合講座	校区住民を対象に、人権同和教育・防災・健康などに関する講座を開催する。
	男性料理教室	男性料理教室は校区内男性を対象に、季節の食材を使った料理や一人で手軽にできる料理などを作る。(年間12回)
	家庭教育講座	校区内小学校の児童とPTAを対象に、家庭教育力を高めるための講座を開催する。(年間9～10回程度)
	婦人講座	校区内女性を対象に日常的で、興味のある教室・講座を開催し、交流を深める。(年間10回程度)
	高齢者講座	校区内高齢者を対象に、学ぶ・体験する講座を開催する。(年間10回程度)
	子ども教室	校区内児童を対象に学ぶ・体験する講座を開催する。(年間4回)
	軽スポーツ教室	校区住民を対象に手軽で、健康に良い軽スポーツを開催し、交流を深める。(年間3回)
	伝統を伝える講座	材料から採取する「門松」作りと七草がゆや児童としめ縄作りや昔遊びを行う。
	明るく元気の出る標語看板作り	児童の「明るく元気の出る標語」を看板に作成し、校区内に設置する。
	幼児&児童の健全育成講座	幼児と児童の健全育成を目的に「まもるくん活動」などを推進する。
双子クラブ	双子及び保護者を対象とした育成指導・情報交換等	
公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業	先進地での研修を行い、人生の育成を目指す。校区で防災訓練を行ったり、今後の災害対策について学ぶ。	
校区内行事	校区歩け歩け大会、浮島校区文化祭、七草がゆを食べる会、小学校運動会(小学校、地域と共同開催)	
その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まもるくんパトロール隊による地域に根ざした防犯活動</li> <li>○学校・地域が一体となった運動会</li> </ul>	

# 公 民 館 事 業 計 画

惣 開 公 民 館

公民館重点目標		<p>～地域と共に歩む活気ある公民館づくりを目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る。</li> <li>2 地域資源を活かしたまちづくり</li> <li>3 地域住民に親しまれる公民館づくり</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	シニア教室	<p>三世代交流を深めながら、高齢者の交流、健康づくり、生きがいを感じる場をつくる。</p> <p>カラオケ教室、健康教室、陶芸教室</p>
	遊 you 講座	<p>地域の男性・女性を対象に多種多様な講座を開催し文化教養を高める。</p> <p>料理教室、人権・同和教育、男女共同参画、健康教室、手作り教室、マナー教室、防災研修、社会科見学</p>
	乳幼児学級	<p>親同士のふれあいを深めるとともに家庭教育の向上と教養を図る。</p>
	生活文化講座	<p>未就学児をもつ子育て世代の親を対象に同世代交流と教養を高め家庭教育の向上を目指す。</p>
	三世代交流事業	<p>校区住民の交流と伝統文化の継承を行い、各世代間の交流を深める。</p> <p>昔のあそび、卒業記念もちつき大会、地域と園児のもちつき大会</p>
	まちづくり事業	<p>地域の歴史や文化を掘り起こし、事業計画を熟議し、魅力あるまちづくりに繋げていく。</p> <p>夕涼み会、七草がゆ、観月会、ふれあいウォーク</p>
	プリンス & プリンセス事業	<p>小学校に通う児童を対象とし、公民館へ来る機会をつくり、楽しみながら学べる場所づくりと地域交流を図る。</p> <p>コーラス教室、ダンス教室、地域探検、料理教室 他</p>
校区内行事	<p>校区文化祭</p>	
その他特記事項		

# 公 民 館 事 業 計 画

若 宮 公 民 館

公民館重点目標		～「地域とともに歩み育つ公民館」をスローガンとして家庭・学校・地域の連帯をはかり、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す～
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいまちづくり	美しい地球を未来に残すため、環境意識の高揚と実践。 美しい地域づくり。(花いっぱい運動)
	安全・安心なまちづくり	校区防災活動への支援。防災組織力の向上。防災意識の高揚。 災害時要援護者支援体制づくり支援。
	子どもが主役のまちづくり	学びの場・癒しの場を提供し、校外生活の充実を図る。 子どもの居場所づくりの推進。
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者が自立した生活を送るための活動の機会や場を提供する。 高齢者の軽スポーツと健康維持。
	スポーツと健康	三世代交流軽スポーツの実施。 健康ウォーキング。
	地域の伝統・歴史の伝承	年中行事の伝承。三世代交流。 昔の遊びを子どもたちと手づくり。(竹とんぼづくり、紙飛行機づくり、凧づくり、七夕飾り、七草がゆ、もちつき)
	趣味と教養	歴史や文学に親しむなど家庭教養を学び、生活の知恵や趣味活動を通して生活の潤いを図る。
	地域づくり	地域の方向性を決定するための事業として、他市町村の進んだ社会教育施設・活動を研修し、今後の活動に活かす。
放課後子ども教室推進事業	地域の教育力を結集し、様々な体験活動を子どもたちに提供することにより、地域全体で健全な子どもを育む。	
校区内行事		
その他特記事項		

# 公 民 館 事 業 計 画

垣 生 公 民 館

公民館重点目標		～地域と共に歩む公民館～ 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり 2 自ら学ぶ生涯学習の推進 3 各種団体・機関との連携強化 4 生活文化活動の振興 5 安全で住みたい垣生づくり
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座 (家庭教育コース)	親の役割、健康づくり、料理、環境問題、世代間交流等の講座を実施し、家庭教育の責任者としての自覚を促し、開かれた家庭、明るい家庭づくりを図る。
	婦人講座 (婦人コース)	教養講座及び奉仕活動、健康づくり、郷土理解、料理、世代間交流等の講座を実施し、婦人の家庭や地域における役割を考える。
	高齢者講座 (高齢者コース)	輝く老人(生きがいづくり)、体の健康、心の健康づくり、奉仕活動、レクリエーション、世代間交流等の講座を実施し、社会の一員としての自覚を促すとともに、高齢社会への対応を考える。
	ふるさと文化講座 (文化コース)	郷土芸能「じょうさ節」の保存、伝承を中心に、郷土理解を図り、明るく住みよい郷土づくりを考える。
	成人講座	家庭や地域の大黒柱である成人(中高年男子)を対象に成人大学を開設し、料理教室、史跡探訪、参禅等の学習を通して、家庭・地域の活性化を図る。
	スポーツ健康教室	軽スポーツ、ニュースポーツの実施を通してスポーツの浸透を図り、主体的な健康管理を促進する。
	イルミネーション ファンタジー	毎年、年末年始の数日間、垣生公民館の駐車場の木々を装飾する。12月23日にイルミネーション点灯式が行われ、来館者に豚汁を振る舞う。
	校区納涼祭	花火大会、盆踊り、出店等を開き、校区住民の親睦を図る。
	校区史跡めぐり ウォーキング	校区文化財ウォーキングマップを利用して、子どもからお年寄りまでがウォーキングを楽しみながら交流を図る。
	垣生山遊歩道整備	地域をあげて校区のシンボルである垣生山の環境保持作業に努めることにより、愛着を深めてもらう。また、市民の方々に健康づくりや憩いの場として利用してもらうために遊歩道整備を行う。
	子育て支援	子育て中の母親たちの交流の場を提供する。
	垣生子供 体験ゾーン	子供対象にした垣生校区の新しい交流の場を作り、幅広い年齢層で楽しめ、地域の交流を深めるため開催。
	三世代グラウンド ゴルフ大会	小学生が、保護者、地域の人と触れ合いながら交流を深め、地域の絆を深めるため開催。
	垣生環境美化事業	えひめAI-2・ボカシを作り、地域住民に利用していただき、より良い環境づくりを図る。
緑のカーテン運動	ゴーヤを育て、より多くの地域の方へ緑のカーテンの普及を図る。	
公民館等を中心とした 社会教育活性化支援 プログラム事業	災害時に必要なノウハウを学び、今後活かすための先進地研修や公民館、学校、地域が連携した防災訓練を実施する。	
校区内行事	校区文化祭・芸能祭、大運動会、納涼祭、敬老会、少年式、一日敬老の家、生き生きサロンなど。	

# 公 民 館 事 業 計 画

神 郷 公 民 館

公民館重点目標		家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安全・安心で住みよいまちづくりを目指す。
		1 青少年の健全育成 2 地域の安全と安心の推進 3 地域福祉の拡充 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 5 スポーツの振興と健康づくりの推進 6 お茶の間懇談会の拡充・強化 7 自主防災組織づくりの拡充・強化 8 地域の環境美化の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	婦 人 講 座	手芸教室・環境教室・健康教室・料理教室など、健康づくり、趣味や教養を高め、地域への関わりを深められるよう講座を実施。
	高 齢 者 講 座	歴史教室・安全教室・健康教室・男性の料理教室・文化教室など、体と心共に健康であり、地域での生きがいづくりを図る。
	乳 幼 児 期 家 庭 づ くり 教 室	防災教室・人権教室・三世代交流サマーレクリエーションなど、乳幼児を持つ父母のための情報交換の場を作り明るい家庭づくりを図る。
	三 世 代 交 流 事 業	三世代交流おはよう体操・大凧づくり教室、軽スポーツ体験教室など、三世代交流を図り、古くからの伝統文化を継承する。
	神 郷 夏 ま つ り 開 催 事 業	青少年の健全育成とふれあいのまちづくりを目標に、高齢者が幼児まで広く参加できる三世代交流の場として、地域の活性化に資するため、神郷夏まつりを実施する。
	観 月 会	地域の方々との交流を目的とし実施する。郷土食ともいわれるいも炊きで季節感を味わう。
	神郷まちづくり事業	熟議を重ね、住みよいまちづくりを目指し、問題を発掘し、解決に向けて地域全体で取り組む。
	わくわく小学生	小学生が様々な体験活動を通じて地域の人と触れ合いながら交流を深め郷土を愛する心を育むことを目的とする。
校 区 内 行 事		大運動会・文化祭・芸能発表会・夏まつり・自治会対抗ソフトボール大会・自治会対抗レクバレーボール大会
そ の 他 特 記 事 項		文化活動の推進・神郷史情保存会による神郷史情の普及を図る。



# 公 民 館 事 業 計 画

多喜浜公民館

公民館重点目標		～笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～ 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進 2 世代間の交流、人材の発掘 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上 5 人権・同和教育の推進
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	講演会、スポーツ健康教室、婦人講座、子育て講座
	高齢者大学	健康問題、交通安全教室、人権・同和教育、軽スポーツ、演芸大会
	三世代交流事業	多喜浜焼教室、しめ縄作り、少年の日を祝う会
	だいすき多喜浜夏祭り	夏まつり
	塩田文化バンク	塩田ウォーク、塩レシピ、たきはま写真館、郷土芸能発表会
	環境講座	ゴミパトロール、環境活動、えひめAI-2作成
	まちづくり講座	塩田カルタ大会、防災・減災を考える、先進地研修
放課後子ども教室推進事業	ボンデン広場（軽スポーツ、工作教室、料理教室、宿泊体験教室、みかん狩り、もちつきなど）	
校区内行事	校区大運動会、夏祭り、校区文化祭、演芸大会	
その他特記事項	自治会対抗各種スポーツ大会、多喜浜塩田遺産を活かした諸活動	

# 公 民 館 事 業 計 画

大島交流センター

公民館重点目標		<p>～地域住民に親しまれるセンターづくり～</p> <p>1 高齢者にやさしい福祉の推進事業 2 豊かな心で育てようふれあい交流 3 歴史と自然を守り伝統文の伝承</p>
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教養講座	個々の教養を高めながら、地域の人達との親睦を深める。 木版画・絵手紙・手芸教室・男の料理教室 等
	高齢者講座	高齢者の健康と活力を高めるとともに、学習を通じて親睦と教養を高める。 塩作り体験と買物ツアー・人権学習・健康体操 等
	とうど祭り	無形民俗文化財となっている「とうど祭り」や古来より伝わっている「念仏踊り」を次世代に継承すると共に講座を通して「島おこし」を図る。 とうど祭りと写真コンテスト・念仏踊り
	ふれあい交流	異年齢・他集団との交流を図りながら、保護者の連携と子どもとの関わりを大切にし青少年の健全育成に役立てる。 異年齢交流キャンプ
	防災教室	自治会との連携で熟議に取り組み、災害時における対策と訓練を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。 防災訓練・防災運動会・研修
校区内行事		町内一斉清掃・とうど祭り・敬老会・校区文化祭・盆踊り大会・秋祭り
その他特記事項		市の無形民俗文化財となっている『とうど祭り』や、古来より伝わっている『念仏踊り』の保存と継承

# 公 民 館 事 業 計 画

泉 川 公 民 館

公民館重点目標		<p>～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 再発見事業</li> <li>2 住民が総参加の事業展開</li> <li>3 まちづくりの醸成</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	ふるさと塾	不特定多数の人を対象にした講座は、多くの地域の住民の皆に参加して頂き、地域住民が主体的に取り組むことができる地域づくりや地域の課題解決に取り組む。
	なんでも楽習会	公民館までは少し遠いし、用事もあって…夜出かけるのはちょっと…近くの自治会館だったら気軽に参加できるのに…等々、公民館で開催される講座に参加できなかった皆さんも対象として、自治会館での学習の機会の充実を図る。
	子どもまつり事業	星原市と子どもまつり2大行事を一緒にし、新しい形でのイベントとする。まちづくりの中心に子どもを位置づけるために、子どもたちの活躍する場を設けた地域の大人とのコミュニケーションを図る事業を行うことによって、「子どもは地域の宝」であることを実践する。
	シニアネット事業	地域の老人会・婦人会等々の人の輪を広げるためにネットワーク化を確立し、知識と知恵を広げ、地域内の人材の掘り起こしなどを行うことによって、地域住民総参加の地域づくりを目指す。
	公民館まつり	まちづくり協議会、公民館利用グループ・サークルの発表会、児童・生徒の作品展示、その他、各種バザーなどを実施し、地域住民総参加の公民館まつりを目指す。
	その時、どうする？防災	地域を対象とした防災意識を養うために避難訓練、防災訓練を実施する。また子どもを対象にした通学合宿の際に1日を利用して、食事など生活一般の中で防災意識を養う防災宿泊研修を実施する。
	泉川感謝祭	地域住民の子どもたちからお年寄りまで参加し、金婚式該当者やその年にまちづくりで活躍された方、団体などを招へいし、たたえる日を設け、式典やアトラクションで祝い、地域活動を次年度に繋げていく。
	伝統行事を伝える	核家族化が深刻となっており、残しておきたい伝統行事も体験する機会が不足している現状を踏まえ、高齢者に指導してもらい、三世代交流も行う。
	環境講座	廃棄していた生ゴミから堆肥を作り、学校とも連携しながら花壇の肥料として再利用する。そして、子どもが関わることで住民に環境問題に関心をもってもらえるよう実施する。
公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業	ウォーキングや食育講座、軽スポーツなど、サテライト事業を含め、高齢者の活性化を促進し、健康寿命の延伸や交流を図り、健康連携ネットワークづくりをすすめる。	
その他特記事項	泉川まちづくり協議会を中心とした花いっぱい運動、防災訓練、毎月第2日曜日「大好き泉川の日」の清掃ボランティアの実施、放課後子ども教室として「大好き泉川っ子体験教室」の実施、その他校区内行事	

# 公 民 館 事 業 計 画

中 萩 公 民 館

公民館重点目標		～地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す～ 「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町日本一の中萩」 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進 2 青少年健全育成の推進 3 社会福祉活動の推進 4 人権・同和教育の推進 5 安心・安全な地域づくりの推進	
事業名		事業内容	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	学ぶ	中萩セミナー	教養や趣味を高め、地域へのボランティア活動などを視野に入れた講座内容を企画運営し、充実を図る。
		高齢者セミナー	軽スポーツ競技、小学生とのふれあい活動、伝統文化継承、健康講座、交通安全等を通じて高齢者の生きがいづくりを進める。
		健康セミナー	軽スポーツ教室の実施や健康についての講座などを開催し、地域住民の健康づくりを推進する。
	活かす	子どもスポレク祭	地区単位で分かれてスポーツで汗を流し、郷土愛と地域での絆を深める。
		十河信二を知り学ぶ活動	十河信二についての講話等、十河信二の通学路を歩く会、偲ぶ会、十河信二展（写真・遺作品・図書等）等
		中萩三世代交流事業	地域の子どもたちに伝統や文化を継承していくための事業を実施し、三世代の交流と絆を深める。
	創る	環境改善事業	自然保護のために、家庭排水などの浄化を図る活動を推進する。
		まちづくり推進事業	地域に活力をもたらす様々なことや地域の問題を話し合い、集うことで解決策を探り、地域力を養い、今後の公民館・地域の方向性を探る場となることを目指す。
		消費者教育推進事業	賢い消費者となるために、様々な分野で消費者教育を実施、推進する。
放課後子ども教室推進事業		はぎっ子テン（第2・4土曜日）	
校区内行事		校区運動会、ほたる祭り、校区文化祭	
その他特記事項			

# 公 民 館 事 業 計 画

船 木 公 民 館

公民館重点目標		<p>～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～</p> <p>1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成</p> <p>2 心豊かな福祉のまちづくりの推進</p> <p>3 一人ひとりの学ぶ心を大切に生涯学習の推進</p> <p>4 人権・同和学習の推進</p> <p>5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり</p>
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ クト 推 進 事 業	人権講座	・人権について
	健康講座	・健康ウォーキング ・空手を体験しよう！ ・認知症講座
	環境講座	・グリーンカーテンをつくろう！ ・花いっぱい運動（2回） ・ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化講習会
	伝統文化講座	・七夕教室 ・盆踊り教室 ・昔の遊び教室 ・芸能祭 ・もちつき教室 ・七草教室 ・とうもろこしまつり ・仏教に学ぶ ・しめ縄づくり教室
	こども講座	・けん玉教室 ・理科教室 ・絵手紙教室 ・サバメシに挑戦しよう！ ・子どもスポーツ教室 ・ちぎり絵教室
	趣味講座	・マフラーづくり教室 ・エコクラフト教室 2回 ・陶芸教室 ・プリザーブドフラワー教室
	H A P P Y クッキング講座	・男性健康料理教室 ・韓国料理教室 ・ケーキサレ教室 ・親子クッキング教室
	池田池ラジオ体操 とお池をかこむ会	船木のシンボルである池田池に住民が集まり、池田池太鼓寄せ広場で、日本中に元気な声が届くようにと力いっぱいラジオ体操をしたり、みんなで池田池の周囲をウォーキングすることで、地域に大きな輪をつくるように、つながりを深める。
	池田池をわたる 風とマンドリン	池田池公園中之島広場野外ステージで《池田池をわたる風とマンドリン》を開催し、地域文化の向上と地域交流を図る。
	地域づくり講座	校区の子どもたちが将来戻ってきたいまちづくり・地域づくりのために、先進地研修等開催し、地域づくりをみんなで考える。 ・防災関係
ふるさと探訪講座	船木校区の貴重な郷土遺産、史跡を探訪し学び、また後世に継承していくことを考える。実際に歩いて史跡を巡り、学ぶ。 ・別子銅山を学ぶ (日本の近代化産業を支えた郷土の産業遺跡をもっと学び、知ろう！)	
公民館等を中心とした 社会教育活性化支援 プログラム事業(防災)	いざという時に、地域コミュニティにおける共助による防災活動を強化するため、何をどう取り組むのか具体的に実践できるように訓練する。	
校区内行事	・住民大運動会・池田池菖蒲まつり・夏まつり・長寿大運動会・芸能祭 ・文化祭・校区成人式・校区マラソン大会・校区徒歩探訪会	
その他特記事項		

# 公 民 館 事 業 計 画

大 生 院 公 民 館

公民館重点目標		～地域住民が集まり、共に進む公民館～ 1 事業の企画・運営への住民の参画促進 2 地域資源(自然)を生かした特色ある事業の推進 3 自主防災組織の更なる充実と意識の向上 4 子どもの居場所につくりと交流
事業名		事業内容
地域教育 力向上 プロ ジェ ク ト 推 進 事 業	高齢者いきいきセミナー	落語・カローリング・輪投げ大会等
	くらしのセミナー	陶芸教室・男の料理・手芸教室等
	子育て支援セミナー	紙工作・リトミック・フラワー教室等
	スポーツ健康教室	ペタンク・スマイルボウリング等
	三世代交流事業	たのも団子作り、しめ縄作り、七草粥、昔のあそび、ふれあいの集い
	うずい教室	児童を対象とした、昔のあそび・木工体験・塩作り等
	大野山プロジェクト	旧大生院村を歩く・ます釣り大会、ほたる祭り、ウォークラリー
	郷土の歴史と文化	大生院校区についての史跡や歴史を学び、地域への関心を育むと共に地域住民の親睦・交流を図り郷土愛を深める。また、次世代への伝承していくための後継者の育成を行い、まちづくりに繋げていく。
	地域自主防災会の強化	自主防災組織を再構築し、各団体との連携を図るとともに防災意識の高揚と次世代を担う若者の防災知識の向上の強化を図る。
放課後子ども教室 推進事業	茶道教室・絵手紙・竹細工作り・お手玉・パン作り・ヨガ・習字等	
公民館等を中心とした 社会教育活性化支援 プログラム事業	防災訓練・防災講演会	
校区内行事	校区文化祭	
その他特記事項		

# 公 民 館 事 業 計 画

角 野 公 民 館

公民館重点目標		<p>～共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 思いやる心を育てる生涯学習を推進し将来を見据えた地域づくり</li> <li>2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり</li> <li>3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり</li> <li>4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり</li> <li>5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり</li> </ol>
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー (三世代交流)	<p>異世代交流を目的とし、伝統行事の継承を図り、よりよい人間関係を築く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開講式記念講演・角野ウォークラリー・おはようラジオ体操(3回)</li> <li>・三世代もちつき大会(餅花)・しめ縄作り・七草がゆ・閉講式記念講演</li> </ul>
	手作りセミナー	<p>教養を高め趣味を幅広く生かした講座を企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコクラフトバック2回・簡単布コサージュ・和紙人形を作ろう</li> <li>・干支づくり・気軽に抹茶を楽しもう</li> </ul>
	いき生き生活セミナー	<p>高齢者を中心に情報交換の場を提供し、健康で生き生きとした生活を送ることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いき生きと輝くために(認知症サポーター講座他)・男の料理教室</li> <li>・季節の料理教室・生き生きコーラス・四国カルストを体感</li> <li>・ロコモティブ予防エクササイズ</li> </ul>
	家庭教育セミナー	<p>子ども達の健全育成、未来を担う子どもを地域で育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつクッキング・サバイバル飯を炊いてみよう・旧別子銅山を訪ねて</li> <li>・餅花づくり</li> </ul>
	スポーツ健康教室	<p>各種スポーツを通じ地域の親睦を深め、生涯スポーツの普及を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽スポーツを楽しむ(カローリング、他)</li> </ul>
	伝統文化プラン	<p>地域と学校が連携し、身近な歴史を深く知り学ぶことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちびっこ相撲・角野校区に残る近代化産業遺産めぐり・地域探訪</li> <li>・とうどおくり</li> </ul>
	未来まちづくりプラン	<p>将来のまちづくりを視野に入れ、環境に配慮したまちづくりを目指す。昔を知り将来を見つめ郷土を愛する心を育てる。研修により新たな問題点を洗い出し、より住みやすい地域とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境緑化推進5講座・すみの郷土館・生ごみ堆肥講習会・別子銅山の歴史</li> </ul>
公民館等を中心とした社会教育活性化支援プロジェクト事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練・先進地研修・防災マップの作成</li> </ul>
校区内行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民大運動会・すみの夏まつり・文化祭・芸能祭・地域清掃</li> </ul>
その他特記事項		<p>自主防災組織を立ち上げ、危険箇所を再確認し、各種団体と校区住民が相互に連携をはかり防災意識を高める。</p>

# 公 民 館 事 業 計 画

別子山公民館

公民館重点目標		～地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～ 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化に繋げる 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る 3 人権・同和教育の推進 4 青少年の健全育成を図る 5 世代間交流の充実強化
事業名		事業内容
地域教育力向上プロジェクト推進事業	健康づくり教室	・地域を歩く散策ツアー
	地域環境講座	・宇宙桜植栽講座・木工体験教室・炭焼き炭アート体験
	まちづくり支援事業	・市指定天然記念物周辺整備・雪合戦四国大会研修
	ふれあい体験学習	・地域を知る登山体験・独居高齢者配付用餅つき
	いきいきまちづくり	・校区秋季大運動会
校区内行事	校区大運動会・別子校区産業文化祭・別子山雪合戦大会	
その他特記事項		



# 青少年センター

## 重点目標

- 1 「見せる補導」を徹底し、非行の未然防止に努める。
- 2 学校周辺を巡回し、児童生徒の安全確保に努める。
- 3 安全情報ネットワークの整備に努める。

## 課 題

### 1 健全育成活動の推進

- (1) 青少年の非行・被害防止全国強調月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)の推進
- (2) 青少年善行表彰

### 2 相談活動の推進

- (1) 相談業務の周知徹底、積極的な相談活動
- (2) 適切な資料提供並びに専門機関への紹介

### 3 少年補導委員による補導活動の充実

- (1) 地域に密着した昼夜の街頭補導
- (2) 夏祭り、花火大会、年末等における特別街頭補導
- (3) 支部長による広域補導

### 4 環境浄化活動の推進

- (1) 危険箇所、非行集団等のたまり場の早期発見と指導
- (2) 未成年者喫煙、飲酒防止の推進

### 5 情報収集と啓発活動の充実

- (1) 青少年健全育成入選標語の広報による周知、啓発
- (2) ホームページによる情報発信
- (3) センターだよりの発行

### 6 研修活動

- (1) 少年補導委員研修大会の実施
- (2) 各種研修会への派遣

### 7 関係機関・団体・学校等との連携強化

- (1) 学校・警察・児童相談所等との相互情報交換並びに連携の推進
- (2) 少年補導委員会等(支部長会)の開催
- (3) 青少年健全育成、非行防止に関する各種会合等への積極的な参加

## 施設状況

所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	所長氏名
繁本町8番65号	昭和37.11	鉄筋コンクリート造 2階建	m <sup>2</sup> 403.68	m <sup>2</sup> 403.68	33-4152	工藤 順

## 地区別少年補導委員の状況

(平成27年4月1日現在)

地区別	補導委員数		
	男(人)	女(人)	計(人)
川西地区	37	24	61
川東地区	34	20	54
上部地区	47	28	75
計	118	72	190

# 生涯学習センター

## 重点目標

生涯学習を広く市民に啓発し、自らの意思で学習に取り組むことができるための条件を整備するとともに、人材の発掘育成をすすめ、市民一人ひとりが主役となる生涯学習ネットワークづくりを目指す。

## 重点事項

### 1 生涯学習大学事業の推進

- (1) 大学、工業高等専門学校等の高等教育機関等との連携を図り、日本文学講座、松山大学公開講座、新居浜高専市民講座等、各種講座を開設する。
- (2) 市民のニーズ、時代の変化に対応した講座や必要課題に関する講座を開設する。
- (3) 市民への幅広いPRにより新たな層の参加を図るとともに、生涯学習大学の自主的運営を促進する。
- (4) 生涯学習推進員制度を設け、市民のニーズを反映した各種講座の企画・運営に努める。

### 2 生涯学習情報の収集・提供及び学習体制の充実

- (1) 県生涯学習情報システムの有効活用を図る。
- (2) 生涯学習に関する情報を収集するとともに、「悠游たより」等により情報の提供及び交換を行う。
- (3) 生涯学習の情報網を整備し、学習体制を充実させる。

### 3 生涯学習を推進するネットワークの促進

- (1) 公民館との連携を密にするとともに、市社会教育課をはじめ市内の生涯学習関連機関、施設、事業所等との協力のもと、生涯学習センターを核とした生涯学習ネットワークの構築に努める。
- (2) 社会教育団体をはじめとする生涯学習に関連する団体との連携の強化に努め、各種事業を展開する。
- (3) 市内の人材の掘り起こしを進め、リーダーバンクの有効活用を図る。

### 4 生涯学習に関連する指導者の育成と生涯学習のまちづくりの推進

- (1) 対象別の指導者養成講座の開設を図る。
- (2) 生涯学習スタッフを設置し、学習の企画立案・運営手法に習熟した人材の育成に努める。
- (3) 生涯学習ボランティアの実践活動をとおしてリーダー育成を目指す。

### 5 視聴覚ライブラリー機能の整備と有効活用

- (1) 自主教材の製作をすすめ、教材としての活用を図る。
- (2) 視聴覚指導者の育成を図る。

## 施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物延面積(m <sup>2</sup> )	電話	館長等氏名
繁本町8番65号	平成3.4.1	鉄筋コンクリート造 (市民文化センター本館2階)	—	—	33-2991	所長 三浦孝信

# 高齢者生きがい創造学園

## 重点目標

高齢化が急速に進展する社会の中で、ボランティア活動を行い、共に学ぶ喜びを共有することによって、生きがいを見つける学習機会を提供する。

## 事業

### 1 講座の開設

概ね60歳以上の方を対象に、講座を開設して高齢者の要望に応え、高齢者の基本的要求である健康維持と、生活上の諸問題をテーマとする講座と講義や実技を通して学習を楽しみ、生きがいの創造をテーマとする講座を設ける。

### 2 サークル活動

講座終了者が、自主的で幅広い活動ができるようにする。

- (1) 週1回程度活動し、学習の深化・発展を図り、自由に積極的に学習する機会を提供する。
- (2) 各サークルごとに会員登録を行い、代表者を中心に年間計画を立てて自主的な運営を図るとともに、学園の全体活動への積極的な参加を促進する。

### 3 代表者会活動

学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図る。代表者会は、学園の各講座受講者とサークル会員の互選により選出された代表者で構成され、総務・広報・体育・図書の内いずれかの委員会に属する。

### 4 ボランティア活動の推進

高齢者の豊かな経験と知識・技能を広く社会に還元できるよう学習をうながし、それによって自らの生きがい発見の場とさせる。

- (1) 受講者のボランティア活動について啓発を図る。
- (2) その活動を通して仲間作りに発展するように努める。
- (3) 関係諸団体との連絡を密にして、現地研修、講師を招いての学習をすすめることによってボランティア活動の推進を図る。

### 5 生き方の啓発や学習情報の提供

高齢者にとっての必要な情報を把握し、その提供に努める。

- (1) 学園月刊紙「生きがい」を発行し、学園の全体的な学習活動を中心とした情報の提供や生き方の啓発に努める。
- (2) アンケート調査やその他の方法によって受講者の要望を把握するとともに、掲示や学習資料・チラシ等を通してその期待に応えるようにする。

### 6 関係機関との連携

庁内関係各課はもちろん、各公民館・老人センターその他の関係機関との連携を密にし、協力する。講座編成については、他機関のものとの重複を避け、講座の設置目的を明確にする。

## 施設状況

所在地	設立年月日	構造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	建物面積(m <sup>2</sup> )	電話	園長氏名
上原二丁目8番1号	平成5.4.1	鉄筋コンクリート造 陸屋根 2階建	18,684.23	3,759.85	44-4826	園長 小野健治

# 学 校 教 育 課

## 重点目標

基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成をめざし、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。

めざす子ども像　ふるさとを愛し　未来を拓く子

スローガン　愛情と信頼・深めよう　絆

最重要課題　持続発展教育(ESD)の推進による楽しい学校づくり

## 重点事項

※ 〈 〉は各種推進事業の実施事項

### I 基本方針

#### 1 ユネスコスクールによる持続発展教育(ESD)の推進

- (1) 学校・地域の特色を生かし、自主的・自立的に創意工夫を凝らした教育活動を展開する。
- (2) 未来を担う児童生徒が、自立して社会で生きていく力を身に付けるため、学校の全教育活動を通して豊かな心と創造する力を育み、郷土に誇りをもつ児童生徒の育成に努める。

#### 2 開かれた学校づくりの推進

- (1) 学校と地域の双方向性コミュニケーションの形成を図り、保護者・地域住民等に学校の情報を公開し、学校・家庭・地域社会の連携を推進する。
- (2) 学校評価システムの改善を図るとともに、自己評価・学校関係者評価を実施し、家庭や地域の人々に説明責任を果たすとともに理解や協力を求めるなど、開かれた学校づくりに努める。  
※ 〈えひめ教育の日11/1、学校へ行こうデー(日)、学校評価等の活用、グランドデザインの活用)

#### 3 教職員の資質と指導力の向上

- (1) 分かる楽しい授業の充実に努めるなど、実践的指導力と人間的魅力を備えた教職員となるよう、専門的・実践的な研修に努める。
- (2) 学校の教育目標の具現化を図るため、組織的・計画的な研修に努める。
- (3) 学習指導要領の理念に基づいた指導内容の充実に努める。

### II 具体目標

#### 1 確かな学力の定着と向上 ※〈標準学力検査実施事業〉

- (1) 標準学力調査等の結果をもとに学力向上に係る検証改善を行い、確かな学力の定着と向上を図るための学習指導の改善に努める。
- (2) 主体的に学ぶ力を身に付けるとともに、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力などの資質や能力を育てるため、体験的な学習や問題解決的な学習の充実に努める。
- (3) 指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。
- (4) 基本的な学習習慣や学習規律を確立するとともに、家庭学習の充実に努める。

※ 〈新居浜市学力向上推進委員会及び新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会(授業力向上委員会・学習環境委員会・個別支援委員会の充実と各小中との連携)〉

#### 2 生徒指導の徹底と健全育成

- (1) いじめ・不登校・非行について、全教職員が一致協力して早期発見、早期解決、また未然防止に全力を尽くす。  
※ 〈学校いじめ防止基本方針の実践、校内生徒指導委員会・不登校対策検討委員会の充実、いじめ・不登校チェックシートの活用、心理検査Q-Uの活用、小・中学校連携の実践〉
- (2) 小・中学校の連携を深め、各中学校区において義務教育9か年を見通したグランドデザインを構築し、実践する。
- (3) 教育相談を充実させ、児童生徒を多面的、総合的に理解する。
- (4) 家庭や地域社会及び関係機関(適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、ハートなんでも相談員、スクールカウンセラー、中1ギャップ対応非常勤講師等も含む。)との連携を密にし、開かれた生徒指導の推進に努める。

- (5) 基本的な生活習慣の徹底を図り、規範意識を育てることによって、積極的な生徒指導を推進する。
- (6) 「教育懇談会」「子ども会議」等の実施により、保護者・地域・市民への啓発を図る。
- (7) 地域・学校が一体となり、あいさつ運動、花いっぱい運動を推進する。

### 3 人権・同和教育の推進

- (1) 一人一人の教職員が、同和問題をはじめとする様々な人権問題解決の力を確立するための研修に努め、差別解消に取り組む児童生徒を育成する。
- (2) 学力・進路を保障する教育を実践する。
- (3) 小・中学校の連携を図りながら、計画的な人権・同和教育の推進を図る。
- (4) 仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。
- (5) 家庭や地域等と連携し、「身元調査お断り運動」の推進を図る。

### 4 健康教育・安全教育の推進 ※〈学校支援地域本部事業〉

- (1) 生涯を通じて、健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う。  
※〈AED講習の実施：中学2年生全員〉
- (2) 学校安全に関する校内の体制を整備し、教職員一人一人の危機管理意識を高める。
- (3) 防犯に関する実践的な研修や訓練の充実に努める。 ※〈CAP講習の実施：小学4年生〉
- (4) 交通安全に関する校内の指導体制を整備し、組織的・計画的な指導に努める。
- (5) 家庭や地域社会及び警察等との連携を深め、児童生徒の安全を守る「地域ぐるみの取組」に努める。
- (6) 防災教育を推進し、児童生徒の生きる力を育てる。 ※〈年間10時間以上の実施〉
- (7) 性教育、薬物乱用防止教育(禁煙教育を含む。)等の指導を充実し、児童生徒の健全育成に努める。
- (8) 食育と体力との関係等を研修し、望ましい食習慣の形成に努める。  
※〈スーパー食育スクール事業〉
- (9) 体育的活動の推進と運動の生活化を図ることにより、健康な心身を育てる。  
※〈トップアスリート育成事業〉
- (10) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を活用し、児童生徒の運動能力、体力等の向上に努める。

### 5 国際理解教育の推進 ※〈英語キャンプの実施〉

国際社会に主体的に対応できる能力や態度を育てる。 ※〈中学生国際交流事業〉

### 6 環境教育の推進 ※〈森はともだち推進事業〉

環境と人間との関わりについて理解を深め、環境を大切に作る意識や、自ら行動する実践的な態度及び資質・能力を育てる。

### 7 キャリア教育の充実

望ましい職業観・勤労観を育むとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、小・中学校の連携を図ったキャリア教育の充実に努める。 ※〈職場体験活動〉

### 8 福祉教育の充実 ※〈愛顔の赤ちゃんふれあい授業開催事業〉

高齢者や障がいのある人、地域の人々との触れ合いを深め、互いに認め合い、共に生きていこうとする実践的な態度を育てる。

### 9 学校図書館の活用 ※〈学校図書館支援センターの設置〉

- (1) 児童生徒の望ましい読書習慣を形成するため、創意工夫を生かした読書活動の充実に努める。
- (2) 学校図書館機能の充実を図り、児童生徒のよりよい学習活動の糧となるよう努める。

### 10 情報教育の推進 ※〈ICT化の促進・整備〉

- (1) 全教員のICT活用能力を向上させ、授業への効果的な活用に努める。  
※〈ICT機器活用推進モデル校〉
- (2) 学校の情報公開を一層推進するため、学校のホームページを適時更新する。
- (3) 情報モラル教育の充実に努める。
- (4) 個人情報等の情報管理を的確に行う。

### 11 幼児教育の充実

- (1) 教育内容の充実と教員の資質の向上を図る。
- (2) 幼・保・小の連携を密にし、教育活動の充実を図る。

### 12 教育研究所の充実

- (1) 現職教育の充実に努め、確かな研究を推進する。
- (2) 教科・中学校区別研修会等の充実を図り、実践的研究を推進する。
- (3) 所員を中心として、時宜に応じた教育的課題について調査・研究を行う。  
※〈確かな学力・ふるさと学習〉
- (4) 学力向上推進委員会を設置し、学力向上に係る検証改善を行うため、学校への支援を行う。

# 新居浜市教育研究所の概要

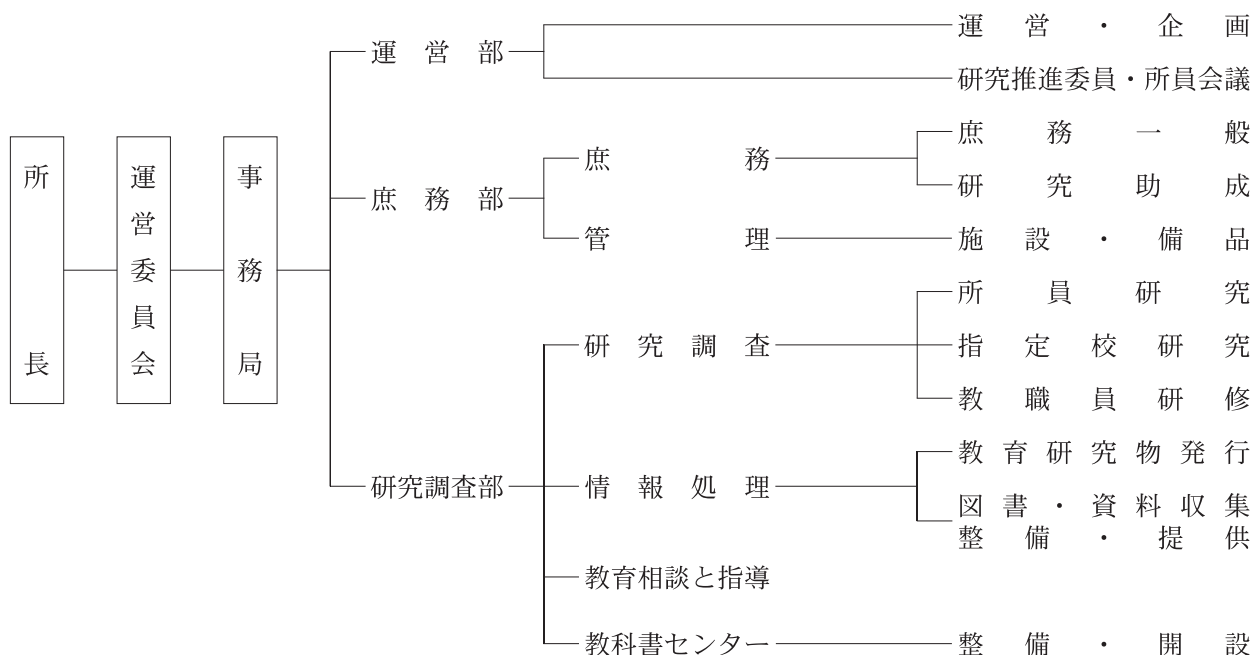
## 1 沿革の概要

昭和33年3月31日 新居浜市教育研究所設置条例に基づき、新居浜市教育研究所を置く。

昭和46年6月 教育会館の2階に教育研究室を設ける。

平成25年度 第20期新居浜市教育研究所の発足

## 2 機構・組織



## 3 事業内容

### (1) 教育に関する専門的、技術的事項の研究

ア 研究所員による「テーマ研究」

イ 研究指定校との連携による「共同研究」

ウ 第20期新居浜市教育研究所

エ 新居浜市学力向上推進委員会

### (2) 教育に関する調査及び各種教育資料の作成及び共有(データ)

ア 教育研究物の発行

● 3・4年生用社会科副読本 ● 特別支援教育ハンドブック

● 研究紀要 ● 所報

イ 教育に関する調査と資料の作成

### (3) 教育関係職員の研修

教科研修等

### (4) 教育図書・資料及び教科書センターの経営

ア 図書の整備、閲覧、貸出し

イ 各種資料の収集、整理、提供

ウ 教科書センターの整備と開設

4 研究のあゆみと歴代研究所長

氏名	就任年月日	離任年月日	研究期・研究主題等
藤田弥一郎	昭和33年4月1日	昭和37年3月31日	第1期 科学技術教育研究会 第2期
河野 貫	昭和37年4月1日	昭和40年3月31日	第3期 授業分析の研究
岡田 信秋	昭和40年4月1日	昭和43年3月31日	第4期 授業分析の研究
尾崎健次郎	昭和43年4月1日	昭和46年3月31日	第5期 個性能力に応ずる教育の研究
神野 忠利	昭和46年4月1日	昭和48年3月31日	第6期 学習指導の近代化
印南 忠一	昭和48年4月1日	昭和52年3月31日	第7期 学習指導の近代化
大西 博臣	昭和52年4月1日	昭和56年3月31日	第8期 自ら学ぶ力を育てる指導
村上 好央	昭和56年4月1日	昭和58年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
永井 弘	昭和58年4月1日	昭和59年3月31日	第9期 自ら学ぶ力を育てる指導
久米 浩	昭和59年4月1日	昭和60年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
加藤 勝見	昭和60年4月1日	昭和61年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
廣川 地彦	昭和61年4月1日	昭和62年3月31日	第10期 授業の質的改善の研究
宮崎 弘	昭和62年4月1日	昭和63年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
廣川 地彦	昭和63年4月1日	平成元年3月31日	第11期 個人差に応じる学習指導
渡邊 健	平成元年4月1日	平成3年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
宮崎 弘	平成3年4月1日	平成5年3月31日	第12期 自己教育力の育成を図る学習指導
一色 康範	平成5年4月1日	平成7年3月31日	第13期 子どもの可能性を拓く学習指導と評価の研究
鴻上 政士	平成7年4月1日	平成9年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成9年4月1日	平成10年3月31日	第14期 主体的な学習の仕方を身につける学習指導と評価の研究
合田 正	平成10年4月1日	平成11年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
山本 光博	平成11年4月1日	平成12年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
河野 義隆	平成12年4月1日	平成14年3月31日	第15期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究 第16期
藤本 博文	平成14年4月1日	平成16年3月31日	第16期 生きる力をはぐくむ学習指導と評価の研究
三浦 孝信	平成16年4月1日	平成18年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
佐藤弘美子	平成18年4月1日	平成19年3月31日	第17期 「確かな学力」と「豊かな心」をはぐくむ指導と評価の研究
真鍋 智明	平成19年4月1日	平成21年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上
秋本 司	平成21年4月1日	平成23年3月31日	第18期 基礎基本の定着と確かな学力の向上 第19期 学力の向上を図る実践研究
坪本 道夫	平成23年4月1日	平成25年3月31日	第19期 学力の向上を図る実践研究 ふるさと学習の研究
横井 敏行	平成25年4月1日	平成27年3月31日	第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究
高橋 良光	平成27年4月1日		第20期 確かな学力を育むための実践研究 ふるさと学習の研究



# 学 校 教 育 計 画 資 料

## 1 研究指定校(発表校)・訪問指導校・研修会会場等予定校

### 小学校

学校名	内 容		指定年度
新居浜小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	新居浜市	I C T機器活用推進モデル校	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
宮西小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	27
	県指定	学力向上システム構築事業中核校	26・27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
金子小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	訪問	2年目フォローアップ研修(道徳)	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
金栄小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	新居浜市	誕生学プログラム	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
高津小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	国指定	インクルーシブル教育システム構築モデル地域事業	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
浮島小学校	県指定	フッ化物洗口普及事業	25・26・27
	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
惣開小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	県指定	フッ化物洗口普及事業	25・26・27
	新居浜市	誕生学プログラム	27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
若宮小学校	県指定	フッ化物洗口普及事業	27・28・29
	新居浜市	誕生学プログラム	27
垣生小学校	国指定	スクールカウンセラー活用事業対象校	27
	県指定	フッ化物洗口普及事業	26・27・28
神郷小学校	県指定	フッ化物洗口普及事業	25・26・27
	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
多喜浜小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	27
	新居浜市	誕生学プログラム	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
泉川小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	国指定	「体力アップ愛顔プロジェクト」(コンソーシアムによる事業)	27
	国指定	スーパー食育スクール事業(子どもの健康を育む総合食育推進事業)	27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
船木小学校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	新居浜市	誕生学プログラム	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
中萩小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	新居浜市	市給食研究大会	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
大生院小学校	訪問	人権・同和教育訪問	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
角野小学校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	県指定	特別支援学級担任者等研修会・特別支援教育学校訪問	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27
別子小学校	国指定	スクールヘルスリーダー派遣事業	26・27
	県指定	子どものための音楽教育支援事業	27
	新居浜市	フッ化物洗口事業	27

## 中学校

学 校 名	内 容		指定年度
東 中 学 校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	国指定	地域スポーツ人材の活用実践支援事業	26・27
	新居浜市	愛顔の赤ちゃんふれあい授業開催事業	27
	新居浜市	笑いとコミュニケーション講座	27
西 中 学 校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	県指定	「歌いつごう日本の歌」開催事業	27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
南 中 学 校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	訪問	2年目フォローアップ研修（道徳）	27
	新居浜市	笑いとコミュニケーション講座	27
北 中 学 校	県指定	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	県指定	学力向上システム構築事業中核校	26・27
泉 川 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー活用事業拠点校	26・27
	新居浜市	愛顔の赤ちゃんふれあい授業開催事業	27
船 木 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー活用事業拠点校	26・27
	新居浜市	笑いとコミュニケーション講座	27
船 木 中 学 校 (ひびき分校)	新居浜市	笑いとコミュニケーション講座	27
中 萩 中 学 校	県・市	ハートなんでも相談員設置事業	26・27
	訪問	免許外教科担任教員研修会	27
	新居浜市	笑いとコミュニケーション講座	27
大 生 院 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー活用事業拠点校	26・27
	県指定	「森はともだち」推進事業	27・28
角 野 中 学 校	国指定	スクールカウンセラー活用事業拠点校	26・27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
川 東 中 学 校	新居浜市	新聞制作体験学習事業	27
	国指定	スクールカウンセラー活用事業拠点校	27
別 子 中 学 校	国指定	スクールヘルスリーダー派遣事業	26・27
	県指定	子どものための音楽教育支援事業	27
	新居浜市	市人権・同和教育研究会	27
新 居 浜 市	国指定	スクールソーシャルワーカー活用事業	26・27
	国指定	スクールカウンセラー活用事業	26・27

全小中学校において、持続発展教育(E SD)を推進する。

## 2 学校教育における人権・同和教育研究会

行 事	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備 考
校別人権・同和教育懇談会運営委員会											16(火)		
新居浜市人権・同和教育研究大会								小中合同 19(木)					小学校4校 中学校3校
愛媛県人権・同和教育研究大会								10(火)					松山市
四国地区人権教育研究大会				2(木) 3(金)									徳島市
全国人権・同和教育研究大会								21(土) 22(日)					長野県

## 平成27年度 児童・生徒・園児・教職員数

### 小学校

学校名	学年 性別	1 学年			2 学年			3 学年			4 学年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新居浜小学校	児童数	13	27	40	17	20	37	18	21	39	16	15	31
	学級数	2			2			1			1		
宮西小学校	児童数	23	28	51	12	19	31	24	17	41	16	22	38
	学級数	2			1			2			1		
金子小学校	児童数	62	50	112	63	50	113	45	48	93	65	56	121
	学級数	4			4			3			4		
金栄小学校	児童数	30	35	65	27	28	55	23	28	51	36	24	60
	学級数	2			2			2			2		
高津小学校	児童数	56	52	108	69	62	131	61	62	123	45	59	104
	学級数	4			4			4			3		
浮島小学校	児童数	7	14	21	11	9	20	14	4	18	9	5	14
	学級数	1			1			1			1		
惣開小学校	児童数	27	21	48	27	23	50	24	25	49	26	32	58
	学級数	2			2			2			2		
若宮小学校	児童数	4	6	10	3	3	6	9	2	11	4	4	8
	学級数	1			1			1			1		
垣生小学校	児童数	31	14	45	20	22	42	21	28	49	29	23	52
	学級数	2			2			2			2		
神郷小学校	児童数	53	45	98	65	44	109	53	35	88	47	48	95
	学級数	3			4			3			3		
多喜浜小学校	児童数	19	11	30	11	7	18	16	9	25	14	10	24
	学級数	1			1			1			1		
泉川小学校	児童数	44	45	89	56	47	103	43	48	91	40	25	65
	学級数	3			3			3			2		
船木小学校	児童数	25	32	57	34	31	65	18	29	47	32	36	68
	学級数	2			2			2			2		
中萩小学校	児童数	81	82	163	95	72	167	81	62	143	83	76	159
	学級数	5			5			4			5		
大生院小学校	児童数	18	25	43	28	18	46	20	18	38	18	25	43
	学級数	2			2			2			2		
角野小学校	児童数	53	58	111	62	55	117	54	45	99	46	54	100
	学級数	4			4			3			3		
別子小学校	児童数	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	学級数	1											
計	児童数	546	546	1,092	600	510	1,110	525	481	1,006	526	514	1,040
	学級数	41			40			36			35		

※ 大島小学校 …… H25. 3. 31 廃校  
船木小学校 …… 児童数にわかば分教室を含む

(平成27年5月1日現在)

5 学年			6 学年			計			学 級 数			教員数	職員数
男	女	計	男	女	計	男	女	計	通常	特別支援	計		
14	7	21	27	23	50	105	113	218	9	3	12	16	9
1			2			9							
20	23	43	23	16	39	118	125	243	9	2	11	21	9
2			1			9							
54	45	99	55	56	111	344	305	649	22	3	25	31	12
3			4			22							
25	39	64	35	16	51	176	170	346	12	2	14	19	9
2			2			12							
54	67	121	67	52	119	352	354	706	23	3	26	38	4
4			4			23							
6	10	16	13	10	23	60	52	112	6	3	9	13	8
1			1			6							
25	25	50	22	25	47	151	151	302	12	2	14	21	9
2			2			12							
6	7	13	7	11	18	33	33	66	6	0	6	12	6
1			1			6							
26	18	44	29	24	53	156	129	285	12	2	14	21	9
2			2			12							
48	45	93	55	44	99	321	261	582	19	3	22	29	11
3			3			19							
14	17	31	17	13	30	91	67	158	6	1	7	12	8
1			1			6							
39	42	81	40	36	76	262	243	505	16	2	18	27	5
3			2			16							
34	27	61	34	30	64	177	185	362	12	2	14	21	10
2			2			12							
77	84	161	90	94	184	507	470	977	30	5	35	51	13
5			6			30							
16	23	39	21	19	40	121	128	249	10	3	13	19	10
1			1			10							
62	54	116	52	58	110	329	324	653	22	4	26	35	11
4			4			22							
1	0	1	1	0	1	3	1	4	1	2	3	3	1
						1							
521	533	1,054	588	527	1,115	3,306	3,111	6,417	227	42	269	389	144
37			38			227							

## 中 学 校

学校名		学年 性別		1 学 年			2 学 年			3 学 年	
		男	女	計	男	女	計	男	女		
東 中 学 校	生徒数	69	72	141	60	74	134	71	69		
	学級数	4			4			4			
西 中 学 校	生徒数	45	38	83	55	44	99	46	43		
	学級数	3			3			3			
南 中 学 校	生徒数	85	69	154	60	79	139	85	80		
	学級数	4			4			5			
北 中 学 校	生徒数	42	35	77	44	45	89	36	31		
	学級数	2			3			2			
泉 川 中 学 校	生徒数	47	43	90	36	45	81	45	39		
	学級数	3			2			3			
船 木 中 学 校	生徒数	31	27	58	45	35	80	32	38		
	学級数	2			2			2			
船 木 中 学 校 ひびき分校	生徒数	0	0	0	1	1	2	1	2		
	学級数	0			1			1			
中 萩 中 学 校	生徒数	84	67	151	103	85	188	90	85		
	学級数	4			5			5			
大 生 院 中 学 校	生徒数	11	27	38	28	24	52	29	23		
	学級数	1			2			2			
角 野 中 学 校	生徒数	50	49	99	58	47	105	50	59		
	学級数	3			3			3			
川 東 中 学 校	生徒数	85	76	161	98	96	194	100	95		
	学級数	5			5			5			
別 子 中 学 校	生徒数	0	0	0	0	1	1	0	0		
	学級数	0			1			0			
計	生徒数	549	503	1,052	588	576	1,164	585	564		
	学級数	31			35			35			

## 幼 稚 園

幼稚園名		年 齢 性 別		4 歳 児			5 歳 児		
		男	女	計	男	女	計		
王 子 幼 稚 園	園児数	32	24	56	28	20	48		
	学級数	2			2				
神 郷 幼 稚 園	園児数	14	18	32	8	21	29		
	学級数	1			1				
計	園児数	46	42	88	36	41	77		
	学級数	3			3				

(平成27年5月1日現在)

計	計			学 級 数			教員数	職員数
	男	女	計	通常	特別支援	計		
140	200	215	415	12	2	14	29	3
	12							
89	146	125	271	9	2	11	23	3
	9							
165	230	228	458	13	2	15	28	3
	13							
67	122	111	233	7	2	9	20	3
	7							
84	128	127	255	8	2	10	24	4
	8							
70	108	100	208	6	2	8	18	3
	6							
3	2	3	5	2	0	2	7	1
	2							
175	277	237	514	14	1	15	30	3
	14							
52	68	74	142	5	2	7	17	3
	5							
109	158	155	313	9	2	11	23	3
	9							
195	283	267	550	15	2	17	33	3
	15							
0	0	1	1	1	0	1	3	0
	1							
1,149	1,722	1,643	3,365	101	19	120	255	32
	101							

(平成27年5月1日現在)

	計				教 員 数
	男	女	計		
	60	44	104		6
	4				
	22	39	61		4
	2				
	82	83	165		10
	6				

# 学 校 等 一 覧

## 幼 稚 園

園 名	所 在 地	電 話 (FAX)	園 長 氏 名
王 子	王子町2番2号	32-4815 (32-4815)	高 橋 ひとみ
神 郷	郷三丁目8番16号	45-0170 (45-0170)	木 下 直 子
合		計	

## 小 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
新 居 浜	新須賀町三丁目1番58号	37-3061 (37-3062)	星 川 孝 徳	永 井 奈保子
宮 西	宮西町5番56号	33-8940 (33-8941)	岡 野 弥 生	曾 我 亨
金 子	久保田町一丁目3番57号	37-2221 (37-2302)	本 田 郁 代	今 村 信
金 栄	西の土居町一丁目5番1号	37-2313 (37-2120)	越 智 秀 雄	澤 井 哲 男
高 津	宇高町二丁目13番7号	37-3754 (37-3854)	一 色 明 繁	岡 田 和 行
浮 島	八幡二丁目2番65号	33-1020 (33-1021)	森 田 まゆみ	山 崎 雄 史
惣 開	王子町1番3号	37-3401 (37-3402)	日 野 優 子	中 野 久
若 宮	新田町一丁目8番56号	32-3987 (32-4887)	毛 利 賢 治	畑 野 一 恵
垣 生	垣生一丁目5番38号	45-0186 (45-0195)	小笠原 忠 彦	山 内 好 明
神 郷	神郷一丁目1番1号	45-0082 (45-0493)	荒 井 正 隆	篠 原 直 樹
多 喜 浜	多喜浜五丁目7番34号	45-0142 (45-0035)	高 橋 利 和	青 野 浩 之
泉 川	岸の上町一丁目13番68号	43-4145 (43-4146)	濱 田 英 稔	高 橋 美 鈴
船 木	船木4299番地の1	41-6260 (41-6362)	長 瀬 陽 子	渡 辺 務
わかば分教室	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		
中 萩	中萩町6番61号	41-6225 (41-6265)	西 原 勝 則	渡 邊 健 児
大 生 院	大生院1070番地の1	41-6627 (41-6694)	矢 野 淳 一	高 橋 伸 也
角 野	中筋町二丁目7番10号	43-7141 (43-7142)	秦 博 文	仲 公 一
別 子	別子山甲358番地	64-2115 (64-2321)	角野小と兼務	別子中と兼務
合		計		

※ 大島小学校 …… H25.3.31 廃校

(平成27年5月1日現在)

教室数		園舎面積	校地面積			遊戯場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
5	—	1,237 <sup>m<sup>2</sup></sup>	1,008 <sup>m<sup>2</sup></sup>	1,130 <sup>m<sup>2</sup></sup>	2,138 <sup>m<sup>2</sup></sup>	185 <sup>m<sup>2</sup></sup>	37 <sup>m<sup>2</sup></sup>
3	—	965	1,037	1,705	2,742	144	29
8	—	2,202	2,045	2,835	4,880	329	66

(平成27年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内運動場面積	プール水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
12	9	3,757 <sup>m<sup>2</sup></sup>	10,990 <sup>m<sup>2</sup></sup>	7,154 <sup>m<sup>2</sup></sup>	18,144 <sup>m<sup>2</sup></sup>	831 <sup>m<sup>2</sup></sup>	375 <sup>m<sup>2</sup></sup>
11	9	3,795	11,274	10,274	21,548	807	425
25	9	5,640	10,358	10,852	21,210	1,033	425
14	11	3,616	14,565	7,001	21,566	919	425
26	21	6,706	9,664	13,325	22,989	1,196	475
9	12	3,434	8,591	9,449	18,040	807	400
14	12	4,088	8,010	12,235	20,245	807	425
6	6	2,336	7,259	10,387	17,646	807	423
14	8	2,778	7,646	4,884	12,530	807	425
22	15	5,560	9,400	8,283	17,683	894	400
7	13	2,944	6,664	7,138	13,802	919	400
18	22	6,181	12,800	10,197	22,997	1,023	475
14	15	3,975	9,811	9,034	18,845	807	400
0	—	—	—	—	—	—	—
35	15	7,669	10,383	16,268	26,651	1,239	525
13	9	3,087	9,537	7,095	16,632	807	—
26	15	6,137	15,797	13,079	28,876	1,033	425
3	6	820	2,899	500	3,399	551	—
269	207	72,523	165,648	157,155	322,803	15,287	6,423



## 中 学 校

学 校 名	所 在 地	電 話 (FAX)	校 長 氏 名	教 頭 氏 名
東	東雲町一丁目4番23号	37-1294 (37-1038)	佐々木 篤 志	永 井 和 弘
西	江口町7番1号	37-2021 (37-2023)	神 野 康 一	今 泉 知 範
南	庄内町二丁目4番47号	37-0310 (37-5392)	筒 井 宗 彦	安 永 元 生
北	宮西町5番81号	33-9135 (33-9136)	伊 藤 彰 人	篠 原 康 展
泉 川	星原町7番8号	43-5800 (43-5821)	小 西 裕 久	矢 野 雅 士
船 木	船木甲3754番地の1	41-6347 (41-6364)	稲 見 武 仁	河 村 公 寿
船 木 ひびき分校	船木甲2971番地の1	31-7645 (31-7646)		阪 本 博 和
中 萩	中萩町13番31号	43-5131 (43-5132)	藤 田 裕 彦	柿 本 正 雄
大 生 院	大生院1070番地の2	41-6927 (41-6229)	神 野 剛	柴 田 喜 清
角 野	宮原町11番51号	43-6108 (43-6109)	森 正 男	吉 岡 庸 夫
川 東	神郷二丁目4番1号	45-0180 (45-0144)	横 井 敏 行	近 藤 栄 一
別 子	別子山甲358番地	64-2115 (64-2321)	角野中と兼務	神 尾 宏 之
合 計				

(平成27年5月1日現在)

教室数		校舎面積	校地面積			屋内 運動場 面積	プール 水面積
普通	特別		運動場	その他	計		
14	14	4,533 <sup>m<sup>2</sup></sup>	10,200 <sup>m<sup>2</sup></sup>	6,596 <sup>m<sup>2</sup></sup>	16,796 <sup>m<sup>2</sup></sup>	1,388 <sup>m<sup>2</sup></sup>	400 <sup>m<sup>2</sup></sup>
11	14	4,830	13,504	11,456	24,960	816	400
15	13	4,731	12,699	7,811	20,510	981	375
9	14	4,005	15,880	9,628	25,508	1,138	425
10	15	4,256	14,451	6,942	21,393	981	425
8	13	3,401	10,679	11,108	21,787	1,014	400
2	10	1,036	6,171	1,681	7,852	428	150
15	17	4,865	16,838	11,641	28,479	1,031	425
7	13	3,210	8,987	6,299	15,286	830	550
11	16	4,814	10,934	11,018	21,952	1,031	375
17	16	5,768	13,997	20,673	34,670	1,055	400
1	0	94	1,118	500	1,618	145	—
120	155	45,543	135,458	105,353	240,811	10,838	4,325

## 通 学 区 域

小学校名	通 学 区 域
新 居 浜	大江町、港町、若水町一丁目、若水町二丁目、菊本町一丁目、菊本町二丁目、新須賀町一丁目、新須賀町二丁目、新須賀町三丁目、新須賀町四丁目
宮 西	西町、中須賀町一丁目、中須賀町二丁目、西原町一丁目、西原町二丁目、西原町三丁目、泉池町、泉宮町、宮西町、徳常町、繁本町
金 子	一宮町一丁目、一宮町二丁目、久保田町一丁目、久保田町二丁目、久保田町三丁目（1番から9番まで）、八雲町、平形町、田所町、庄内町一丁目、庄内町二丁目、庄内町三丁目、庄内町四丁目（1番から3番まで、5番30号から39号まで）、庄内町五丁目、庄内町六丁目、江口町（1番から3番まで、5番、6番、8番から17番まで）、北新町（1番、2番、4番、5番）、城下町（1番から6番まで）
金 栄	滝の宮町、西の土居町一丁目、西の土居町二丁目（1番から7番まで、9番から17番まで）、高木町、政枝町一丁目、政枝町二丁目、政枝町三丁目、久保田町三丁目（10番、11番）、庄内町四丁目（4番、5番（金子小学校の区域を除く。）、6番、7番）、坂井町一丁目、坂井町二丁目、金子丙（1番地から30番地まで）
高 津	宇高町一丁目、宇高町二丁目、宇高町三丁目、宇高町五丁目（1番から9番まで、12番、13番）、沢津町一丁目、沢津町二丁目、沢津町三丁目、東雲町一丁目、東雲町二丁目、東雲町三丁目（1番から8番まで）、松の木町（1番）、高津町、清水町、南小松原町、桜木町、郷一丁目（1番、7番）、郷五丁目（2番）、高田二丁目（1番、6番）、田の上四丁目（6番から9番まで）
浮 島	松の木町（2番から13番まで）、宇高町四丁目、宇高町五丁目（10番、11番、14番、15番）、垣生六丁目（1番、15番）、八幡一丁目（9番から21番まで）、八幡二丁目、八幡三丁目（1番、4番4号から18号まで・36号・40号・43号、5番から8番まで、9番3号・39号から54号まで、10番38号から48号まで）
惣 開	星越町、前田町、王子町、河内町、北新町（3番、6番から13番まで）、西の土居町二丁目（8番）、磯浦町（1番）、江口町（4番、7番、18番）、金子丙（金栄小学校の区域を除く。）
若 宮	惣開町、新田町一丁目、新田町二丁目、新田町三丁目、磯浦町（2番から19番まで）、新居浜乙
垣 生	垣生一丁目、垣生二丁目、垣生三丁目、垣生四丁目、垣生五丁目、垣生六丁目（2番から14番まで）、八幡一丁目（1番から8番まで）、八幡三丁目（2番、3番、4番（浮島小学校の区域を除く。）、9番（浮島小学校の区域を除く。）、10番（浮島小学校の区域を除く。）、長岩町、垣生
神 郷	郷一丁目（2番から6番まで、8番から16番まで）、郷二丁目、郷三丁目、郷四丁目、郷五丁目（1番、3番から9番まで）、東雲町三丁目（9番）、清住町、落神町、又野一丁目、又野二丁目、又野三丁目、高田一丁目、高田二丁目（2番から5番まで）、田の上一丁目、田の上二丁目、田の上三丁目、田の上四丁目（1番から5番まで、10番から12番まで）、松神子一丁目、松神子二丁目、松神子三丁目、松神子四丁目、神郷一丁目、神郷二丁目、楠崎一丁目（1番、3番、4番33号から46号まで・60号から62号まで・65号・66号・5番から8番まで）、楠崎二丁目、多喜浜一丁目（8番1号から16号まで・56号から89号まで）、多喜浜四丁目（8番1号から11号まで・28号から53号まで、9番、10番）、多喜浜五丁目（10番1号から8号まで）、郷、郷乙
多 喜 浜	楠崎一丁目（2番、4番（神郷小学校の区域を除く。）、多喜浜一丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、9番、10番）、多喜浜二丁目、多喜浜三丁目、多喜浜四丁目（1番から7番まで、8番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜五丁目（1番から9番まで、10番（神郷小学校の区域を除く。）、11番、12番）、多喜浜六丁目、阿島一丁目、阿島二丁目、阿島三丁目、阿島四丁目、阿島、荷内町、黒島一丁目、黒島二丁目、黒島、大島

小学校名	通 学 区 域
泉 川	松木町、西喜光地町、喜光地町一丁目、松原町、坂井町三丁目、瀬戸町、寿町、星原町、上泉町、外山町、岸の上町一丁目、岸の上町二丁目、城下町（7番）、下泉町一丁目、下泉町二丁目、観音原町、東田一丁目、東田二丁目、東田三丁目、国領一丁目、光明寺一丁目、光明寺二丁目
船 木	船木、七宝台町
中 萩	萩生、横水町、本郷一丁目、本郷二丁目、本郷三丁目、中萩町、上原一丁目、上原二丁目、上原三丁目、上原四丁目、中村一丁目、中村二丁目（1番から15番まで）、中村三丁目（3番から11番まで）、中村四丁目（3番から9番まで、11番、15番から18番まで）、御蔵町（2番、3番）、中村松木一丁目、中村松木二丁目、土橋一丁目、土橋二丁目（1番から10番まで、13番、14番）、大永山（出口、小味地）
大 生 院	大生院
角 野	土橋二丁目（11番、12番、15番から17番まで）、中村二丁目（16番）、中村三丁目（1番、2番）、中村四丁目（1番、2番、10番、12番から14番まで）、御蔵町（1番、4番から13番まで）、喜光地町二丁目、西泉町、西連寺町一丁目、西連寺町二丁目、篠場町、山田町、山根町、中西町、宮原町、中筋町一丁目、中筋町二丁目、北内町一丁目、北内町二丁目、北内町三丁目、北内町四丁目、吉岡町、角野新田町一丁目、角野新田町二丁目、角野新田町三丁目、種子川町、角野、大永山（出口・小味地を除く。）、立川町、種子川山
別 子	別子山

中学校名	通 学 区 域
東	高津小学校区、松の木町、宇高町四丁目
西	惣開小学校区、若宮小学校区、江口町、北新町
南	金子小学校区（北中学校区、西中学校区を除く。）、金栄小学校区
北	新居浜小学校区、宮西小学校区、一宮町二丁目（2番18号から42号まで・100号から末号まで、3番から5番まで、6番32号から67号まで・100号から末号まで）
泉 川	泉川小学校区
船 木	船木小学校区
中 萩	中萩小学校区
大 生 院	大生院小学校区
角 野	角野小学校区
川 東	垣生小学校区、神郷小学校区、多喜浜小学校区、浮島小学校区（東中学校区を除く。）
別 子	別子小学校区

## 園児・児童・生徒数の推移（平成22～31年度）

（毎年度5月1日現在）

学校 \ 年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
新居浜小学校	264	250	228	234	215	218	(見込)200	(見込)214	(見込)216	(見込)209
宮西小学校	298	297	280	260	248	243	237	231	238	238
金子小学校	740	721	706	681	673	649	651	689	691	722
金栄小学校	328	345	353	351	334	346	372	376	369	379
高津小学校	751	757	745	722	725	706	689	656	652	629
浮島小学校	121	111	105	110	107	112	129	153	161	175
惣開小学校	328	320	301	300	301	302	311	299	289	289
若宮小学校	102	95	89	83	78	66	55	48	53	53
垣生小学校	260	267	263	272	284	285	274	274	267	256
神郷小学校	584	561	577	548	565	582	573	575	565	565
多喜浜小学校	215	221	202	196	164	158	152	147	154	152
大島小学校	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—
泉川小学校	511	494	478	485	505	505	515	546	577	595
船木小学校	439	431	423	384	366	362	360	361	356	360
中萩小学校	1,071	1,061	1,030	1,000	973	977	956	959	952	940
大生院小学校	275	255	256	242	241	249	245	254	244	232
角野小学校	665	672	659	649	653	653	646	629	624	629
別子小学校	2	2	1	2	3	4	3	3	6	6
小学校計	6,954	6,860	6,696	6,519	6,435	6,417	6,368	6,414	6,414	6,429
東中学校	395	379	387	397	400	415	390	372	331	336
西中学校	302	314	306	302	294	271	251	218	200	194
南中学校	459	462	481	467	459	458	453	469	492	475
北中学校	263	272	283	244	255	233	254	233	230	222
泉川中学校	255	265	269	265	254	255	246	251	233	249
船木中学校	210	209	215	211	218	208	197	178	186	173
船木中学校ひびき分校	14	18	16	6	9	5	0	0	0	0
中萩中学校	575	589	560	551	543	514	530	499	518	483
大生院中学校	154	151	145	146	141	142	128	121	120	117
角野中学校	325	334	315	329	330	313	319	331	331	313
川東中学校	551	562	559	543	569	550	569	562	592	564
別子中学校	5	5	3	0	1	1	2	2	2	2
中学校計	3,508	3,560	3,539	3,461	3,473	3,365	3,339	3,236	3,235	3,128
王子幼稚園	121	109	103	120	120	104	—	—	—	—
神郷幼稚園	55	52	60	79	71	61	—	—	—	—
幼稚園計	176	161	163	199	191	165	—	—	—	—

※ 大島小学校 …… H25. 3. 31 廃校

## 中学校卒業者の進路状況

( ) 卒業者に対する百分率

区分 年度	卒業者数	進学者数	就 職 者 数			公共職業能力 開発施設等 入 学 者	そ の 他 自 己 就 職 家事手伝等
			県 内	県 外	総 数		
26	1,177	1,152 ( 97.9)	13 ( 1.1)	0 ( 0.0)	13 ( 1.1)	0 ( 0.0)	12 ( 1.0)
25	1,153	1,129 ( 97.9)	7 ( 0.6)	2 ( 0.2)	9 ( 0.8)	0 ( 0.0)	15 ( 1.3)
24	1,200	1,179 ( 98.3)	9 ( 0.8)	0 ( 0.0)	9 ( 0.8)	0 ( 0.0)	12 ( 1.0)
23	1,194	1,166 ( 97.7)	15 ( 1.3)	0 ( 0.0)	15 ( 1.3)	0 ( 0.0)	13 ( 1.1)
22	1,123	1,096 ( 97.6)	12 ( 1.1)	0 ( 0.0)	12 ( 1.1)	3 ( 0.3)	12 ( 1.1)
21	1,163	1,121 ( 96.4)	24 ( 2.1)	0 ( 0.0)	24 ( 2.1)	2 ( 0.2)	16 ( 1.4)
20	1,093	1,067 ( 97.6)	11 ( 1.0)	0 ( 0.0)	11 ( 1.0)	1 ( 0.1)	14 ( 1.3)
19	1,131	1,101 ( 97.3)	15 ( 1.3)	0 ( 0.0)	15 ( 1.3)	1 ( 0.1)	14 ( 1.2)
18	1,138	1,101 ( 96.7)	16 ( 1.4)	0 ( 0.0)	16 ( 1.4)	3 ( 0.3)	18 ( 1.6)
17	1,139	1,106 ( 97.1)	13 ( 1.1)	0 ( 0.0)	13 ( 1.1)	2 ( 0.2)	18 ( 1.6)
16	1,231	1,194 ( 97.0)	5 ( 0.4)	0 ( 0.0)	5 ( 0.4)	2 ( 0.2)	30 ( 2.4)
15	1,274	1,235 ( 96.9)	1 ( 0.1)	0 ( 0.0)	1 ( 0.1)	1 ( 0.1)	37 ( 2.9)
14	1,319	1,274 ( 96.6)	3 ( 0.2)	0 ( 0.0)	3 ( 0.2)	0 ( 0.0)	42 ( 3.2)
13	1,376	1,321 ( 96.0)	2 ( 0.1)	0 ( 0.0)	2 ( 0.1)	1 ( 0.1)	52 ( 3.8)
12	1,410	1,362 ( 96.6)	4 ( 0.3)	1 ( 0.1)	5 ( 0.4)	1 ( 0.1)	42 ( 3.0)
11	1,469	1,429 ( 97.3)	9 ( 0.6)	0 ( 0.0)	9 ( 0.6)	1 ( 0.1)	30 ( 2.0)
10	1,473	1,428 ( 96.9)	5 ( 0.3)	0 ( 0.0)	5 ( 0.3)	0 ( 0.0)	40 ( 2.7)
9	1,511	1,452 ( 96.1)	21 ( 1.4)	1 ( 0.1)	22 ( 1.5)	4 ( 0.3)	33 ( 2.2)
8	1,516	1,455 ( 96.0)	5 ( 0.3)	1 ( 0.1)	6 ( 0.4)	2 ( 0.1)	53 ( 3.5)
7	1,599	1,550 ( 96.9)	8 ( 0.5)	1 ( 0.1)	9 ( 0.6)	1 ( 0.1)	39 ( 2.4)

(学校基本調査による)

# 発 達 支 援 課

## 重点目標

障がいや発達課題のある子どもが、地域とともに育ち、学び、働き、暮らす支援の体制づくりに取り組み、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会の形成を目指し、インクルーシブ教育システムの構築を推進する。

新居浜市の特別支援教育の中核的機関として設置した「こども発達支援センター」を中心に、乳幼児期から就労時期まで各ライフステージに対応する関係機関と連携し、子ども一人一人の教育的ニーズを踏まえ、その能力を十分に伸ばし、生活上や学習上の困り感を軽減するため、一貫した支援や指導を包括的かつ継続的に実施またはコーディネートする。

## 最重要課題

障がいや発達課題のある子どもへの生涯にわたる一貫した支援の推進

## 重点事項

### I 特別支援教育の充実

#### 1 特別支援教育を推進するための支援体制の充実と教育環境の整備

- (1) 適切な指導と必要な支援が行えるよう特別支援教育校内委員会の機能充実を図るとともに、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図り、校内支援体制の充実に努める。
- (2) 巡回相談を年間計画に位置付け、定期的に支援会議を開く等、教育的ニーズに応じた支援を効果的に行う。また、特別支援学校のセンター的機能等を積極的に活用する。
- (3) 多様な教育的ニーズに対応するために、各種研修会や講演会等に積極的に参加する。また校内研修を充実させて教職員の資質・能力の向上を図る。

#### 2 学校・家庭・地域・関係機関の連携による特別支援教育の充実

- (1) 学校経営計画に各学校の特別支援教育の取り組み方針を具体的に明記する等、あらゆる機会を通して、特別支援教育に対する理解と啓発に努める。
- (2) 発達支援課等と連携し、長期的な視点で適切な指導と必要な支援を行うために、「個別の教育支援計画」(新居浜市サポートファイル「にっこ・にこ」)を作成するとともに積極的に活用する。
- (3) 家庭や地域社会との連携を深めるとともに、小・中連携や小・小連携等中学校区内の学校相互の連携や交流を図ることに努める。また、特別支援学級と通常の学級双方の児童生徒の教育的ニーズを十分把握し、特別支援学級の弾力的運用等の校内協力体制を構築し、交流及び共同学習を積極的に推進する。

#### 3 一人一人の障がいの状態や発達の段階等、教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- (1) 児童生徒の障がいの状態等に応じたきめ細やかな指導・支援を行うために、創意工夫を生かした教育課程の編成・実施に努める。
- (2) ユニバーサルデザインを生かした指導、授業形態や集団の構成の工夫、それぞれの教師の専門性を生かした協力的な指導などにより、効果的な学習活動の展開に努める。(特別支援教育ハンドブックのより一層の活用)

- (3) 一人一人の実態を的確に把握した「個別の指導計画」を作成し、積極的に活用することで、個に応じた指導・支援の充実に努める。
- (4) 児童生徒が自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、キャリア教育の視点に立った特別支援教育の充実に努める。

## II 発達支援の推進

### 1 関係機関の連携による継続した支援

発達支援に関わる医療、保健、福祉、教育、労働、地域の各関係機関を構成メンバーとする地域発達支援協議会において、関係機関相互の効果的なネットワーク方策と総合的な支援システムの構築を図る。

### 2 早期発見、早期支援体制の充実

- (1) 乳幼児健康診査時における障がいや発達課題の早期発見のためのスクリーニング強化方策(M-C HAT)の導入とフォローアップの充実など就学前の早期発見体制の強化を図る。
- (2) 個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業(親子通園事業)の運営を充実し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導、療育を行い早期療育体制の強化を図る。
- (3) マンパワー強化事業(実技研修会)や専門研修等を通じて保健師、保育士、指導員、教職員等関係職員の専門性の向上を図り、早期発見、支援体制の充実と人材育成を図る。

### 3 相談支援体制の充実

- (1) 心理専門家等による保育所、幼稚園、小・中学校、高等学校での巡回相談を実施し、障がいや発達課題のある子どもの早期発見、早期対応及び継続支援の充実に努める。
- (2) 障がいや発達課題のある子どもだけでなく、その兄弟姉妹や家族に対しても適切な情報の提供と相談や助言など必要な支援を行うため、実効性のある相談支援体制の整備を図る。

### 4 個別の支援計画(新居浜市サポートファイル「にっこ・にこ」)の作成、活用

多様な関係機関からの支援を総合的に調整していくためのツールとして、保護者と協働で個別の支援計画、個別の教育支援計画を作成し、効果的な運用と定期的な見直し、確実な引き継ぎを実施する。

### 5 ボランティア、地域との連携

住み慣れた身近な地域で療育やサービスが受けられるように、地域で様々な活動を行っている親の会や子育てサークル、NPOなどに対して必要な支援を行い地域資源の充実に努める。

### 6 専門的知識を有する人材の確保

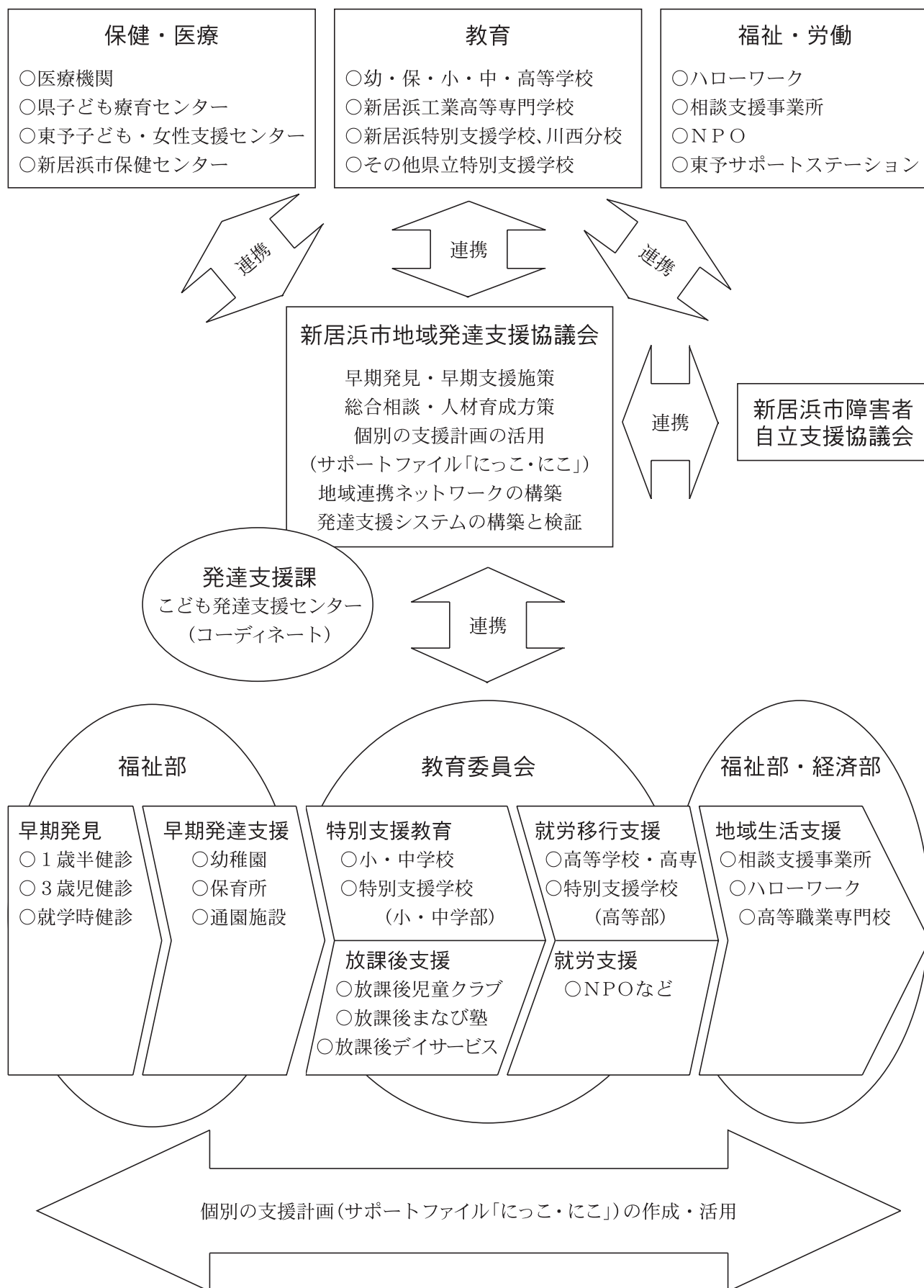
障がいや発達課題の子どもたちへの適切な支援を確保していくために、医療、保健、福祉、教育、労働等の分野において、専門的知識を有する人材の確保に向けた取り組みを進める。

### 7 障がいに対する啓発の推進

発達障がいなどに対する理解を深めるとともに、障がい者が生き生きと安心して生活できる地域づくりを目指して広報、講演会や研修会など普及、啓発活動を積極的に行う。



## 発達支援システムイメージ図



# 学 校 給 食 課

## 重点目標

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

## 重点事項

- 1 食中毒予防対策の徹底を図り、衛生管理の向上・安全保持に努める。
- 2 学校給食設備・備品の整備充実に努める。
- 3 適正な物資の調達に努める。
- 4 地域農産物の活用に努める。
- 5 学校・家庭・地域が連携し、食生活の改善を図るとともに食文化の継承等に努める。
- 6 心のふれ合う楽しい学校給食の展開に努める。
- 7 学校の教育活動全体を通して、実践的・総合的な食に関する指導に努める。
  - ア 発達段階に即した指導
  - イ 個人に応じた指導（アレルギーに対応した給食等）
  - ウ 献立を通じた指導
  - エ 多様な経験ができる指導
- 8 学校給食施設の老朽化への具体的対応を検討する。

## 施設状況

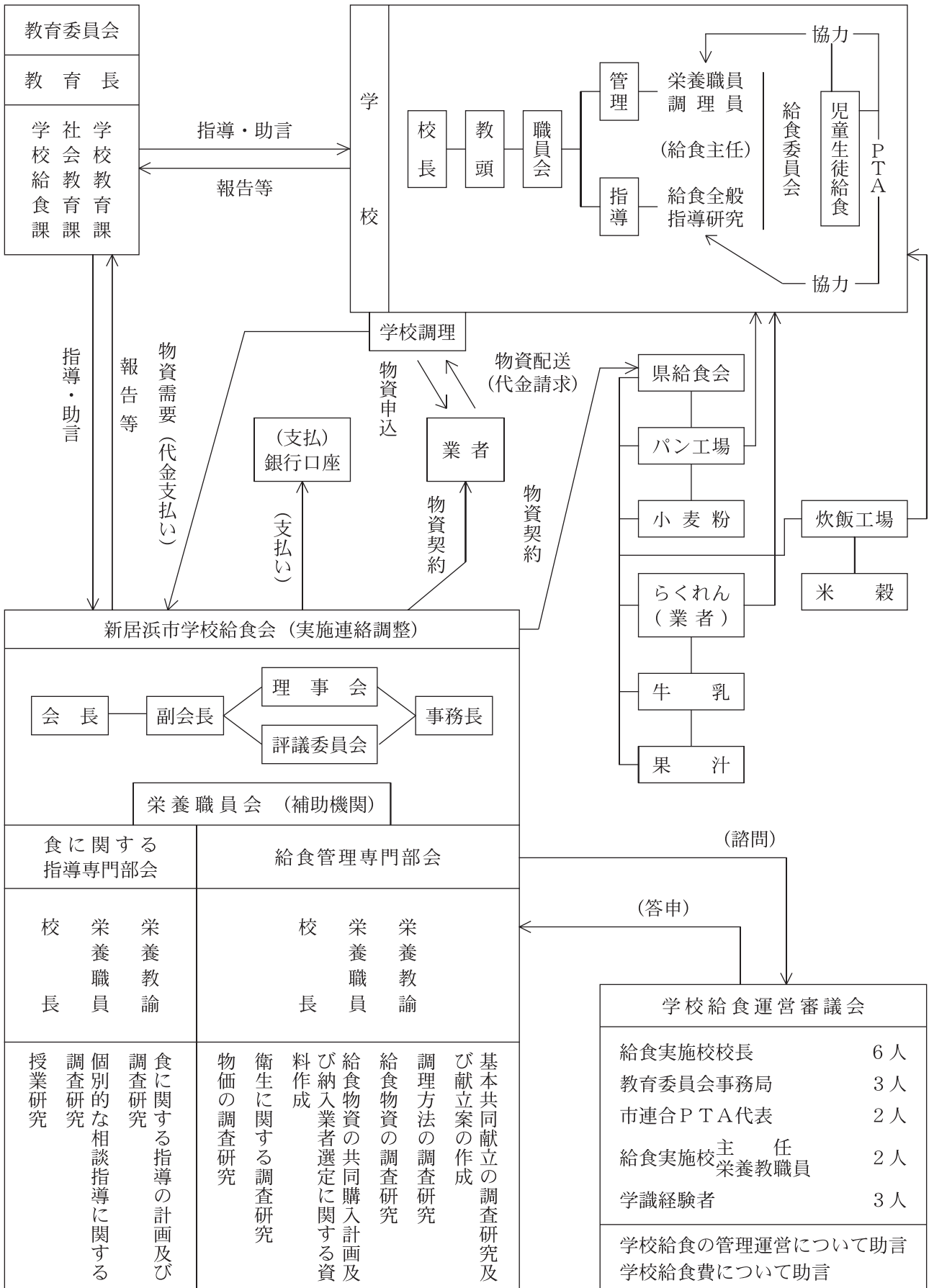
施設名	所在地	建設年月日	構造	敷地面積	建物面積	電話	所(場)長氏名
学校給食センター	瀬戸町12番38号	平成 13. 3	鉄骨造2階建 外	4,597m <sup>2</sup>	(本体) 2,232m <sup>2</sup> (その他) 84m <sup>2</sup>	31-7470	桑原 一郎
高津共同調理場	宇高町二丁目 13番7号	昭和 57. 2	鉄筋コンクリート造 陸屋根平屋建 外 (平成10.8 増築)	—	(本体) 260m <sup>2</sup> (その他) 12m <sup>2</sup>	37-3797	伊藤 孝嗣

※ 小学校給食室省略

[対象校] 学校給食センター 西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中  
愛媛県立新居浜特別支援学校(本校・川西分校)・泉川小(米飯のみ)

高津共同調理場 高津小学校・東中学校

# 学校給食運営組織図



## 新居浜市学校給食の推移

年度	給食の形態			1食当たり給食費(円)	献立等	購入
	ミルク給食	還元牛乳	完全給食			
S22	市内全小学校					
23~			小1校			
25			小2校			
26~			小4校	15	各校単独献立	各校単独購入
31			小5校			
32			小6校		栄養職員1名で立案 市教委栄養職員指導 各校へ栄養職員配置	
33			小7校			
34			小8校			
35			小12校			
36	↓		小13校			準共同購入 (乾物・砂糖のみ)
37~		市内全小中学校	小16校・中2校	25		
39				30		↓ (卵追加)
40				↓		
41~				40	準共同献立	
43				46	完全共同献立	
44			↓	↓		完全共同購入
45		↓	小16校・中1校	55		
46		10月より牛乳	↓	65		
47			小17校・中1校	70		
48				85		
49~				130	11月栄養職員県費切替	
51		↓		150	米飯週1回実施	
52		9月より紙容器	金子、船木			
53			改築(小学校) 泉川、垣生	↓		
54			宮西、金栄、浮島、大生院	160	4月から10月ジュース実施	
55			神郷、惣開、多喜浜	↓	2学期から米飯週2回実施	
56~			高津	180	全校へおはし導入	
58			若宮			
59			角野、中萩		ジュース 5, 6, 7, 9月実施	
60					2学期から米飯週2.5回実施	
61~			新居浜			
H1				↓	学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(神郷小)	
2				小200 中220	米飯週3回実施 学校給食情報ネットワーク化 事業モデル校(大生院小)	
3					給食用食器強化磁器導入 (惣開小)	
4					学校給食地域農産物等活用 モデル指定校(角野小)	
5				↓	"	
6~				小220 中260		
10			小17校・中2校		高津共同調理場設置	
11						
12						
13			小17校・中10校		地元産米の使用 学校給食センター設置	
14			↓			
15			小18校・中11校			
16						
17						
18						
19						
20				↓		
21				21.9~ 小240 中280		
22					別子小中学校調理場改修	
23					地元産米を地元業者納入	
24			↓			
25			小17校・中10校			
26		↓	小17校・中11校	↓		↓

※ 平成25年度 ~ 大島小学校 廃校

# スポーツ文化課

## 重点目標

### 1 体育・スポーツ活動の推進・充実

すべての市民が親しめる社会体育の推進と競技スポーツの振興を図り、新居浜市スポーツ推進計画の基本理念である「市民のライフステージに応じて親しむ・楽しむ・育てるスポーツまちづくり」を目指す。

### 2 芸術・文化活動の推進・充実

地域の芸能・文化活動をより一層発展させるため、市民の自主的な参画を促進し、裾野の拡大と質の向上を図る。

## 主要事業

### 1 市民体育・スポーツ振興

- (1) 市民体育スポーツの振興と社会教育団体等の組織の充実を図るため、市体育協会等の団体を支援する。
- (2) スポーツ関係指導者の資質の向上と育成を図るため、講習会、研修会を開催する。
- (3) 競技スポーツ振興の基盤となる中高生及び青少年のスポーツ活動の促進と競技力の向上を図るため、各種スポーツ教室・スポーツ大会を実施し、高校運動部活動を支援する。
- (4) 各種スポーツ大会への選手派遣の助成を行う。

#### 【主な年行事】

市民体育祭

少年スポーツ大会

スポーツ指導者講習会

### 2 芸術文化活動の奨励

- (1) 地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図るための発表・展覧会を実施する。
- (2) 文化協会その他のグループ・サークルの活動の促進を図るため芸術文化事業を支援する。
- (3) 中央の優れた芸術鑑賞、機会の拡充を図るため、公演会を開催する。

#### 【主な年行事】

にいはま春の市民文化祭

秋の芸術祭

市美術展覧会

### 3 文化財の保存活用

- (1) 市民の文化財に対する理解と認識を深めるため、文化財・史跡めぐり等を開催する。
- (2) 文化財の調査研究記録・遺跡台帳の整備を図るため、現地調査等を実施する。
- (3) 公共事業に伴う埋蔵文化財が発掘された場合は、調査報告書を作成する。

#### 【主な年行事】

文化財めぐり

## 課 題

- 1 体育・文化施設の老朽化への対応
- 2 体育・文化施設の借地解消
- 3 総合型地域スポーツクラブの構築

## 体 育 施 設 一 覧 表

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	管理者
市民体育館	東雲町一丁目 1番25号	昭和 52. 8	鉄筋コンクリート造 3階建	m <sup>2</sup> 4,863	m <sup>2</sup> 6,163	34-1888	文化体育 振興事業団
山根総合体育館	角野新田町 三丁目14番1号	昭和 62. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	m <sup>2</sup> 5,358	m <sup>2</sup> 3,252	43-2905	"
多喜浜体育館	多喜浜四丁目 3番7号	昭和 59. 3	鉄筋コンクリート造 2階建	m <sup>2</sup> 1,953	m <sup>2</sup> 1,179	46-2466	"
東雲市民プール	東雲町一丁目 1番13号	昭和 47. 6	鉄筋コンクリート造	m <sup>2</sup> 10,744	524m <sup>2</sup> 水面積 2,840m <sup>2</sup>	32-3595	"
山根公園屋内プール	角野新田町 三丁目14番2号	昭和 63. 9	鉄筋コンクリート造2 階建プール棟は鉄骨造	m <sup>2</sup> 7,400	1,527m <sup>2</sup> 水面積 395.5m <sup>2</sup>	43-1411	"
別子山市民プール	別子山甲 335番地の1	昭和 57. 3	樹脂一部コンクリート造	m <sup>2</sup> 1,430	m <sup>2</sup> 200		別子校区 連合自治会
市営野球場	新須賀町三丁目 2番54号	昭和 60. 7	鉄筋コンクリート造 3階建	m <sup>2</sup> 15,269	m <sup>2</sup> 4,448	34-0518	文化体育 振興事業団
武徳殿	徳常町4番6号	昭和 13. 11	木造瓦葺平家建	m <sup>2</sup> 2,362	m <sup>2</sup> 584		"
弓道場	徳常町4番15号	平成 5. 3	木造平家建	m <sup>2</sup> 546	m <sup>2</sup> 103		"
重量挙げ練習場	徳常町4番6号	昭和 61. 2	鉄骨造平家建	m <sup>2</sup> 297	m <sup>2</sup> 228		"
文化振興会館	徳常町4番8号	平成 5. 3	鉄筋コンクリート造 3階建	m <sup>2</sup> 456	m <sup>2</sup> 993	36-0800	"
山根市民グラウンド	角野新田町三丁目 2822番地の9			m <sup>2</sup> 13,403			"
別子山市民グラウンド	別子山乙 304番地の8	昭和 57. 3		m <sup>2</sup> 1,470			別子校区 連合自治会
市民テニスコート	庄内町二丁目地先 及び南小松原町地先	昭和 59. 10	クレーコート6面	m <sup>2</sup> 6,600	80m <sup>2</sup> コート 4,314m <sup>2</sup>	36-2071	文化体育 振興事業団
		昭和 57. 3	全天候型ウレタンコート 硬式4面	m <sup>2</sup> 4,000	コート 2,885m <sup>2</sup>	"	"
		平成 24. 10	クレーコート 軟・硬両用3面	m <sup>2</sup> 2,405	コート 1,855m <sup>2</sup>	"	"
		平成 24. 10	全天候型人工芝6面	m <sup>2</sup> 6,600	m <sup>2</sup> 4,314	"	"
山根公園テニスコート	角野新田町 三丁目12番	平成 4. 3	全天候型人工芝6面 練習コート3面(壁打)	m <sup>2</sup> 5,117	317m <sup>2</sup> コート 5,117m <sup>2</sup>	43-2151	"
東雲競技場	東雲町三丁目地先	平成 5. 3	全天候型300mトラック 及び投てき場	m <sup>2</sup> 13,000	m <sup>2</sup> 70		"
市営サッカー場	観音原町乙 109番地	平成 11. 7	天然芝グラウンド2面 管理棟(鉄骨造平家建) 観覧席 東側500 西側500席	m <sup>2</sup> 22,220	m <sup>2</sup> 168	66-2522	"

## 教 育 施 設 一 覧 表

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	管理者
銅山の里自然の家	立川町654番地の3	昭和 63. 7	木造コロニアル葺 2階建外	m <sup>2</sup> 17,050	m <sup>2</sup> 1,446	32-1300	文化体育 振興事業団

## 文化施設一覧表

名 称	市 民 文 化 セ ン タ ー		管理者	文化体育振興事業団
所 在 地	繁本町8番65号 ☎ 33-2180			
敷地面積	18,337 m <sup>2</sup>			
構 造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階		
建物面積	3,713 m <sup>2</sup>	2,166 m <sup>2</sup>		
延床面積	5,064 m <sup>2</sup>	4,620 m <sup>2</sup>		
ホ ー ル	大ホール (1,163席)	中ホール (固定486席 車いす席3)		
会 議 室		洋室10、和室2		
教 室		料理・茶華各1、視聴覚1		
プラネタリウム		プラネタリウム室 (72席)		
展 示		展示室1		
そ の 他	老人社交室	相談室、保育室		
駐 車 場	駐車可能台数 170 台			
工 事 費	3億5,000万円	5億4,400万円		
完 成	昭和37年11月3日	昭和49年8月9日		
改 修	【工 期】 昭和61年12月18日 ～ 昭和62年4月25日 【工 事 費】 4億500万円 【工事概要】 せり舞台を新設 (約100m <sup>2</sup> ) 舞台天井・側面に音響反射板 の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置			
名 称	別 子 山 ふ る さ と 館		管理者	別子校区連合自治会
所 在 地	別子山甲345番地 ☎ 64-2305		完成年月日	H 2 . 7 . 31
施 設 内 容 等	資料館 1階 86.64 m <sup>2</sup> 2階 146.87 m <sup>2</sup> 管理棟                    2階 127.17 m <sup>2</sup> 展示 銅山歴史、遺跡案内、登山案内等パネル 岩石標本 銅山、物産関係			

## 国 指 定 文 化 財 (3)

(H 27. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
旧広瀬家住宅	建 造 物	上原二丁目 10 番 52 号	新 居 浜 市	H15. 5. 30
剣銘国永	工 芸		個 人 蔵	S 31. 6. 28
一宮神社のクスノキ群	天然記念物	一宮町一丁目 3 番 1 号	一 宮 神 社	S 26. 6. 9

## 県 指 定 文 化 財 (14)

(H 27. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
経堂「大転輪蔵」	建 造 物	山根町 8 番 1 号	瑞 応 寺	S 45. 3. 27
木造薬師如来坐像	彫 刻	高木町 3 番 21 号	河 内 寺	S 54. 9. 14
太刀銘国継	工 芸		個 人 蔵	S 30. 11. 4
短刀銘井上真改延宝三年八月日	工 芸		個 人 蔵	S 34. 3. 31
太刀無銘	工 芸		個 人 蔵	S 39. 3. 27
銅銭承和昌宝	工 芸	黒島二丁目 7 番 70 号	明 正 寺	S 40. 4. 2
金銅密教法具	工 芸	黒島二丁目 7 番 70 号	明 正 寺	S 40. 4. 2
金子山古墳出土品	考 古 資 料	西の土居町二丁目 16 番 47 号	慈 眼 寺	S 63. 4. 19
別子銅山口屋跡	史 跡	西町 6 番 2 号	新 居 浜 市	S 24. 9. 17
別子ライン	名 勝	立川山、大永山	新 居 浜 市	S 30. 11. 4
広瀬公園	名 勝	上原二丁目 10 番 52 号	新 居 浜 市	S 43. 3. 8
瑞応寺のイチョウ	天然記念物	山根町 8 番 1 号	瑞 応 寺	S 31. 11. 3
赤石山の高山植物	天然記念物	赤石山系	新 居 浜 市 新 四 国 中 央 市	S 32. 12. 14
久貢山のソテツ	天然記念物	多喜浜六丁目 4 番 55 号	天 野 市 三	S 32. 12. 14



# 市 指 定 文 化 財 (75)

(H 27. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
大元神社本殿	建 造 物	大島字宮山	大 島 八 幡 神 社	S 52. 4. 7
金胎両界曼荼羅	絵 画	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
弘法大師御影像	絵 画	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
絵馬〔渡辺綱鬼女退治図〕	絵 画	新須賀町三丁目4番5号	堀 江 神 社	S 60. 10. 3
釈尊誕生仏	彫 刻	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
十二神将	彫 刻	高木町3番21号	河 内 寺	S 52. 4. 7
木造聖観世音菩薩立像	彫 刻	萩生2635番地	萩 生 寺	S 52. 4. 7
随神	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
牛王宝印	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
蛙股	彫 刻	八雲町10番16号	宗 像 神 社	S 52. 4. 7
仏海上人作仏像	彫 刻	大島143番地	吉 祥 寺	S 53. 4. 6
木造阿弥陀如来立像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
木造大日如来坐像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
木造聖観音菩薩坐像	彫 刻	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
宝篋印塔	石 造 美 術	郷四丁目	上 郷 自 治 会	S 52. 4. 7
狛犬	石 造 美 術	東田三丁目1229番地	東 台 神 社	S 52. 4. 7
太刀銘伝三条小鍛冶宗近作	工 芸	一宮町一丁目3番1号	一 宮 神 社	S 40. 6. 3
仏舍利塔と舍利器	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
鉄鉢と二十五条麻袈裟	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
獅子王御太刀	工 芸	八幡二丁目4番69号	八 幡 神 社	S 52. 4. 7
孔雀文金銅磬	工 芸	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 52. 4. 7
秘法三十二箇巻	古 文 書	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 40. 6. 3
白石家文書	古 文 書	北新町10番1号	新 居 浜 市	H 16. 8. 5
野田家文書	古 文 書	北新町10番1号	新 居 浜 市	H 16. 8. 5
銭がめと古銭	考 古 資 料		個 人 蔵	S 52. 4. 7
古宮経塚出土「経筒」	考 古 資 料	一宮町一丁目5番1号	新 居 浜 市	S 60. 10. 3
正光寺山古墳群出土遺物	考 古 資 料	一宮町一丁目5番1号 郷土美術館	新 居 浜 市	H 25. 3. 13
西条藩領地鳥瞰図屏風	歴 史 資 料	一宮町一丁目5番1号	新 居 浜 市	S 60. 10. 3
瓜生野御堂棟札	歴 史 資 料	別子山瓜生野	近 藤 利 枝	H 15. 11. 4
圓通寺棟札	歴 史 資 料	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
石造地藏菩薩立像	歴 史 資 料	別子山乙551番地7	圓 通 寺	H 15. 11. 4
とうどおくり	無形民俗文化財	大島	大 島 自 治 会	S 53. 4. 6
じょうさ節	無形民俗文化財	垣生	じょうさ節保存会	S 53. 4. 6
かぶと踊り	無形民俗文化財	船木	かぶと踊り保存会	H 16. 8. 5
五輪塔群	史 跡	西の土居町二丁目	西の土居自治会	S 40. 6. 3
大師泉縄文遺跡	史 跡	萩生801番地	萩 生 東 老 人 会	S 52. 4. 7
唐津塚	史 跡	上原二丁目	新 居 浜 市	S 52. 4. 7
小山古墳	史 跡	垣生小山	太 子 堂	S 52. 4. 7
桧端住居跡	史 跡	船木4638番地の2	安 葉 誠 之 助	S 52. 4. 7
河内寺の塔礎石	史 跡	高木町3番21号	河 内 寺	S 52. 4. 7
深尾権太輔の墓	史 跡	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S 52. 4. 7
星原市	史 跡	星原町4番	矢 野 忠 俊	S 52. 4. 7
久貢屋敷	史 跡	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	S 53. 4. 6
天野喜四郎の墓	史 跡	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	S 53. 4. 6

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
つづら淵	史 跡	若水町二丁目5番	つづら淵保存会	S53. 4. 6
金子城跡	史 跡	金子山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
横山古墳群	史 跡	中萩町13番	新 居 浜 市	S53. 4. 6
岡崎城跡	史 跡	上郷郷山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
金子山古墳	史 跡	金子15番地	慈 眼 寺	S58. 1. 6
三義民の碑	史 跡	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	S60. 6. 6
村上平兵衛の墓	史 跡	又野二丁目5番 阿弥陀堂	又 野 自 治 会	S60. 6. 6
高橋弥市左衛門の墓	史 跡	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	S60. 6. 6
高橋孫兵衛の墓	史 跡	宇高町二丁目1番52号 地藏堂	高 橋 寛 一	S60. 6. 6
高橋孫兵衛屋敷跡地	史 跡	宇高町二丁目	高 橋 寛 一	S60. 6. 6
金子備後守供養塔を中心とする墓	史 跡	西の土居町二丁目16番47号	慈 眼 寺	S60.12. 5
広瀬家墓所	史 跡	山田町217番地の1	新 居 浜 市	H16. 8. 5
正光寺山古墳群	史 跡	坂井町二丁目149番 正光寺山古墳公園	新 居 浜 市	H25. 3.13
銚子の滝	名 勝	大生院大野山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
樽の滝	名 勝	種子川山	新 居 浜 市	S53. 4. 6
バクチノキの群生	天然記念物	大島宇宮山	大 島 八 幡 神 社	S52. 4. 7
ミョウショウジザクラ	天然記念物	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	S52. 4. 7
法泉寺のムクノキ	天然記念物	垣生四丁目9番12号	法 泉 寺	S52. 4. 7
大師泉のオオバタネツケバナ	天然記念物	萩生801番地	萩 生 東 老 人 会	S52. 4. 7
ヤクシマツバキ	天然記念物	大生院大野山谷	曾 我 部 伊 与 一	S52. 4. 7
漣痕	天然記念物	荷内町2番5号	真 鍋 麻 直	S52. 4. 7
アッケシソウ	天然記念物	阿島二丁目14番1号	岡 田 秋 稔	S59. 7. 5
中央構造線小河谷断層	天然記念物	萩生1833番地～2960番地の1	伊 達 逸 司	S60. 1.10
宗像神社の参道と社叢	天然記念物	八雲町10番13号	宗 像 神 社	S60.11. 5
黒嶋神社のツバキ群生林	天然記念物	黒島779番地の1	黒 嶋 神 社	S60.12. 5
三島神社の社叢	天然記念物	船木甲5371番地	三 島 神 社	S60.12. 5
龍河神社の社叢	天然記念物	立川496番地の1.2.3 497番地の3	龍 河 神 社	S63. 5.12
保土野溪谷甌穴群	天然記念物	別子山保土野乙475番8地先ほか	国 土 交 通 省	H15.11. 4
オオモミジ	天然記念物	別子山乙551番地13	圓 通 寺	H15.11. 4
山城八幡神社社叢	天然記念物	別子山甲130番地	山 城 八 幡 神 社	H15.11. 4
エドヒガンザクラ	天然記念物	別子山乙83番1	別子校区連合自治会	H25. 3.13

## 登 録 有 形 文 化 財 (9)

(H27. 4. 1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	登録年月日
住友化学工業愛媛工場歴史資料館	建 築 物	惣開町5番1号	住友化学株式会社	H13. 4. 24
武徳殿	建 築 物	徳常町4番6号	新 居 浜 市	H16. 3. 2
遠登志橋	土木構造物	立川町620番1地先	新 居 浜 市	H17.12.26
旧別子鉱山鉄道端出場橋(足谷川鉄橋)	土木構造物	立川町682番地先他	住友金属鉱山(株)別子事業所	H21. 8. 25
旧別子鉱山鉄道端出場隧道	土木構造物	立川町682番地	住友金属鉱山(株)別子事業所	H21. 8. 25
旧泉寿亭特別室棟	建 築 物	立川町707番3	(株)マイントピア別子	H21. 8. 25
山根競技場観覧席	工 作 物	角野新田町三丁目2822番9	新 居 浜 市	H21. 8. 25
旧山根製錬所煙突	工 作 物	角野新田町三丁目2822番1	新 居 浜 市	H21. 8. 25
旧端出場水力発電所	建 築 物	立川町594番地	新 居 浜 市	H23. 1. 26

# 郷 土 美 術 館

## 重点目標

見る・ふれる・創るを主題に鑑賞・創作活動を触発し、市民の文化意識の高揚と文化活動の振興を図る。

## 主要事業

### 1 文化遺産の顕現と伝承

- (1) 資料の収集
- (2) 資料の調査研究、図書充実
- (3) 資料の作成、補修
- (4) 資料の整理、保存
- (5) 学識者、協力員の確保

### 2 文化展等行事の実施

- (1) 常設展示の内容充実
- (2) 研究会・講習会の開催
- (3) 一般展示への会場供与
- (4) 学校・公民館等への資料の貸出

## 施設状況

所在地	開設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	館長氏名
一宮町一丁目5番1号	昭和56.10	鉄筋コンクリート造 3階建	m <sup>2</sup> 1,472	m <sup>2</sup> 2,466	33-1030	野口 憲一

## 資料の収集状況

(平成27年3月31日現在)

種別	人文科学資料					自然科学資料				その他の資料			合計
	美術	考古学	民俗	歴史	計	動物	植物	地学	計	図書	その他	計	
点数	935	7,584	2,436	2,067	13,022	11,491	2,213	1,286	14,990	581	542	1,123	29,135

## 平成27年度事業計画

### (1) 常設展示

#### 【人文科学資料】

歴史・民俗資料（むかしのくらし）

考古資料（石器・土器・瓦・郷土の出土品等）

木の玩具（日本のおもちゃ・郷土のおもちゃ）

太鼓台

#### 【自然科学資料】

岩石・鉱物・鳥瞰模型地図・写真・パノラマ

### (2) 主催展

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| ○第48回春の市民文化祭（美術の部）前期   | 4月10日（金）～ 4月15日（水） |
| ○第48回春の市民文化祭（美術の部）後期   | 4月17日（金）～ 4月22日（水） |
| ○第2回こどもふるさと写生大会作品展     | 6月 6日（土）～ 6月14日（日） |
| ○第65回新居浜市美術展覧会（秋の市展）前期 | 10月中旬～ 11月上旬       |
| ○第65回新居浜市美術展覧会（秋の市展）後期 | 10月中旬～ 11月上旬       |

### (3) 共催展

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ○第14回楽描会展         | 5月20日（水）～ 5月24日（日）   |
| ○第24回新居浜南高校美術・書道展 | 7月24日（金）～ 7月26日（日）   |
| ○第64回秋季県展新居浜移動展   | 11月11日（水）～ 11月22日（日） |
| ○第29回高齢者趣味の作品展    | 11月26日（木）～ 11月28日（土） |

# 広瀬歴史記念館

## 重点目標

日本の近代化産業を育成した広瀬幸平翁の功績を正しく理解し、新居浜の生い立ちと近代化の歩みを後世に伝えるとともに、未来に向かって市民の活力を育み、文化遺産の継承と生涯学習の拠点施設として活動の振興を図る。

## 課 題

### 1 広瀬幸平と近代化遺産の顕彰と伝承

- (1) 資料の収集及び整理保存
- (2) 資料の調査研究と作成・補修
- (3) 関係機関との協調連携
- (4) 図書の実充
- (5) 学者、協力者の確保

### 2 企画展、行事の開催

- (1) 展示内容の充実（常設展示）
- (2) 特別企画展の実施（年1回）
- (3) 主催事業（研修会、講演）

### 3 市民へのPR活動

- (1) 文化協会等との連携
- (2) 学校や公民館等諸団体への活動
- (3) 各種のPR資料作成と配布

## 施設状況

所在地	建設年月日	構造	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	電話	館長等氏名
新居浜市 上原二丁目10番42号	展示館 平成9年4月	鉄筋コンクリート造 地上1階 地下1階	4,688.03	1,072.00	40-6333	特別顧問 末岡 照啓
	旧広瀬邸 明治20年頃	木造瓦葺 2階建	31,827.19	1,361.00	43-4667	館長 久葉 裕可
計			36,515.22	2,433.00		

## 平成27年度事業計画

### 1 特別企画展の開催

当館所蔵資料と、住友史料館など関連施設から借用した資料により特別企画展を開催する。また、特別企画展のテーマに合わせた記念講演会を開催する。

### 2 宰平翁セミナー(出前講座)の開催

「広瀬宰平と別子銅山の近代化」「重要文化財旧広瀬邸を訪ねる」

※ 対象は一般市民。新居浜市ホームページ、市政だより等でPRする。

### 3 その他

年報やパンフレットを作成し、PRする。

# 図 書 館

## 基本方針

生涯学習及び地域情報拠点として、図書館機能の充実に努める。

## 重点目標

市民の多様なニーズに応えるため、新鮮な資料・情報の提供、学習機会の提供、既存図書館の管理体制強化、さらなる子どもの読書推進事業の展開、計画的な図書館施設の改善を図り、「市民に役に立つ図書館」づくりを進める。

## 重点事項

- 1 市民の生涯学習活動の支援、推進と機会の提供  
市民の自主的、自発的な学習活動を支援するため、資料・情報提供の推進及び学習機会・場所の提供に努める。
- 2 地域資料の保存と情報発信  
郷土の歴史や文化を次世代に継承するため、郷土・行政資料を積極的に収集・保存し、郷土出身者や郷土の産業遺産等についての情報発信を行う。
- 3 関係機関との連携による地域の情報拠点化の推進  
市民の読書活動の推進及び地域課題の解決を支援するため、公共図書館相互の連携のみならず、他の関係機関との資料や情報の相互利用等の協力活動の積極的な実施に努める。  
本市子育て支援施策との連携、健康支援、ビジネス支援、就業支援、行政支援の実施、地域等関連情報の提供と調査研究を行う。
- 4 学校図書館との連携  
子どもの読書活動・学習活動を推進していくため、学校や学校図書館との連携を行う。
- 5 図書館PR活動の充実  
図書館の活動を市民によく知ってもらい、図書館の利用促進につなげるため、PR活動の改善を図る。
- 6 移動図書館の利用促進  
学校の昼休み乗り入れや、高齢者福祉施設、病院、幼稚園等へのステーション設置により、利用促進を図る。
- 7 市民ボランティアの活動支援の推進  
市民ボランティアへの活動支援や地域ボランティアの育成を図る。
- 8 資料の収集、除籍の計画的な実施  
図書館資料の収集、除籍を迅速・計画的に行い、資料の有効活用を図る。  
雑誌資料の充実を図るために雑誌スポンサー制度を実施する。
- 9 施設の維持管理  
安全で快適に利用できるように、計画的な図書館施設の改善を図る。

## 施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積(敷)	面積(建)	電話	館長氏名
市立別子銅山記念図書館(本館)	北新町10番1号	平成4.3	鉄筋コンクリート造 陸屋根・銅板葺 地下1階付2階建	m <sup>2</sup> 16,534	m <sup>2</sup> 3,072	32-1911	横井邦明
角野分館	中筋町二丁目4番24号	昭和54.7	鉄筋コンクリート造 2階建	m <sup>2</sup> 200	m <sup>2</sup> 162	41-6217	

蔵書冊数

(H27. 3. 31 現在・単位：冊)

区分 分類	本館				移動図書館		角野分館			合計
	一般	児童	郷土	参考資料	一般	児童	一般	児童	参考資料	
0 総記	( 322) 9,267	( 38) 983	( 73) 1,823	( 46) 2,489	( 5) 73	( 19) 125	( 40) 430	( 12) 131	( 2) 78	( 557) 15,399
1 哲学	( 307) 10,465	( 24) 584	( 10) 160	( 2) 423	( 10) 153	( 8) 155	( 35) 253	( 12) 96	( 0) 2	( 408) 12,291
2 歴史	( 719) 18,244	( 92) 2,937	( 43) 2,502	( 27) 964	( 27) 321	( 30) 459	( 37) 698	( 41) 449	( 0) 26	( 1,016) 26,600
3 社会	( 1,223) 23,319	( 126) 2,723	( 61) 2,889	( 47) 816	( 29) 251	( 8) 182	( 84) 621	( 23) 329	( 0) 4	( 1,601) 31,134
4 自然	( 578) 13,381	( 248) 6,186	( 20) 349	( 25) 569	( 56) 368	( 73) 605	( 69) 508	( 63) 1,108	( 3) 15	( 1,135) 23,089
5 工学	( 859) 14,811	( 112) 1,752	( 29) 579	( 6) 546	( 196) 1,237	( 21) 157	( 131) 1,062	( 20) 338	( 1) 3	( 1,375) 20,485
6 産業	( 264) 4,919	( 57) 1,124	( 20) 497	( 3) 213	( 27) 140	( 11) 95	( 8) 155	( 17) 164	( 3) 4	( 410) 7,311
7 芸術	( 469) 21,262	( 143) 4,168	( 25) 494	( 13) 239	( 32) 430	( 33) 827	( 48) 691	( 31) 645	( 0) 0	( 794) 28,756
8 語学	( 62) 2,769	( 25) 774	( 1) 32	( 7) 380	( 1) 30	( 1) 120	( 13) 112	( 6) 138	( 0) 20	( 116) 4,375
9 文学	(2,504) 73,757	( 614) 26,757	( 25) 1,026	( 10) 435	( 325) 2,337	( 201) 3,502	( 477) 7,362	( 178) 3,519	( 0) 3	( 4,334) 118,698
C 紙芝居		( 27) 1,719				( 28) 233		( 0) 203		( 55) 2,155
E 絵本		( 844) 29,294				( 286) 5,191		( 283) 4,104		( 1,413) 38,589
その他										
計	( 7,307) 192,194	( 2,350) 79,001	( 307) 10,351	( 186) 7,074	( 708) 5,340	( 719) 11,651	( 942) 11,892	( 686) 11,224	( 9) 155	(13,214) 328,882

(H27. 3. 31 現在・単位：点)

A V 資料	
C T (カセットテープ)	( 0) 36
V T (ビデオテープ)	( 1) 1,343
C D	( 157) 2,106
D V D	( 164) 1,185
計	( 322) 4,670

( )内は本年度受入数



# 総合文化施設（あかがねミュージアム）

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指して、平成25年3月建設に着工し、平成27年6月末竣工、平成27年7月18日にオープンしました。

この施設は、太鼓台ミュージアム、にいほまギャラリー、ホール、スタジオ、アート工房の総合文化施設と、美術を通して出会いと交流を育む場である展示室、市民ギャラリーを有する美術館で構成されています。

平成26年7月に市内の小・中・高・高等専門学校の児童・生徒に愛称を募集し、平成27年2月4,631通の応募の中から「あかがねミュージアム」に決定しました。

施設の管理運営は、指定管理者制度を導入し、新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループが行っています。

## 重点目標

創る・学ぶ・育む

## 重点事業

### 総合文化施設

- (1) 新居浜の歴史、文化及び芸術に関する調査研究、資料の収集、保管及び展示並びに教育普及に関する事業
- (2) 新居浜の歴史、文化及び芸術に関する情報の収集並びに提供に関する事業
- (3) 新居浜の歴史、文化及び芸術の普及啓発に関する事業
- (4) 音楽、演劇その他の芸術の鑑賞及び創造に関する事業
- (5) 次世代を担う児童及び青少年の創造性を育むための講座等の開催、学習支援活動並びに人材育成に関する事業
- (6) 総合文化施設の設置目的を達成するために必要な事業

### 美術館

- (1) 美術品等の収集、保管、展示及び教育普及に関する事業
- (2) 美術品等に関する専門的、技術的な調査研究に関する事業
- (3) 美術に関する情報の収集及び提供に関する事業
- (4) 美術館の設置目的を達成するために必要な事業

## 施設の概要

所在地	坂井町二丁目8番1号
電話	65-3580
敷地面積	11,571.86㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階地上3階
延床面積	8,894.14㎡
建物構造	B1F ホール（250席、ロールバック式） 楽屋、スタジオ1、地下駐車場 GL ロビー、カフェ 1F メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいほまギャラリー、アート工房、シアター、スタジオ2 2F 美術館（展示室1、展示室2、市民ギャラリー） 3F 機械室

開館時間	9:30～17:00	太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館
	9:30～21:00	アート工房、スタジオ2
	9:30～22:00	ホール、楽屋、スタジオ1
	9:00～22:30	駐車場
休館日	月曜日（月曜日が国民の祝日に当たるときは、翌日） 12月29日から翌年1月3日まで	

## 美術館資料

### 平成26年度購入作品

- 絵画8点（油彩6点、日本画2点）
- 立体6点（モビール1点、グライダー5点）
- 写真27点

### 平成26年度寄贈受入作品

- 絵画24点（油彩6点、日本画18点）
- 陶器2点
- デザイン（装幀画稿）140点
- アニメーションフィルム3巻
- 参考資料 約1,500点

## 平成27年度事業計画

- 7月17日 開館記念式典
- 7月18日～20日 オープニングイベント
- 7月18日 鴻上尚史トークショーなど
- 7月19日 ゆるキャラ競演、小山田壮平・藤原寛・関取花・岩崎愛によるコンサート、大道芸、地元高校生による演劇・コントなど
- 7月20日 あかがね音楽祭
- 7月18日～8月31日 「寺坂公雄」展
- 7月18日～10月18日 「40年のあゆみ 美術館から総合文化施設へ」展
- 7月30日 福西崇史トークショー
- 8月上旬 書道実技講習会、美術実技講習会
- 8月15・16日 劇団笑夢公演
- 8月22日 あかがねロックフェスティバル
- 8月24日 音楽ワークショップ
- 9月上旬～10月中旬 「新居浜の美術 昨日・今日・明日 I」展
- 9月22・23日 虚構の劇団公演
- 11月3日～12月20日 「開館記念展 新居浜ー日本」展
- 11月14・15日 石丸幹二コンサート
- 11月26～28日 公共ホール音楽活性化支援事業（北島佳奈バイオリンコンサート）
- 1月中旬～1月下旬 東予地区高校美術展
- 2月中旬～2月下旬 新居浜こども美術展
- 2月下旬～3月上旬 ふるさと学習展
- 3月上旬～5月上旬 「住友と美術」展
- 3月上旬～4月上旬 産業遺産写真展

# 平成26年度のあゆみ

# 教育委員会の主な施策と実績

## 1 平成26年度決算額

### (1) 教育費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
教育総務費	教育委員会費	委員報酬	6,349	6,355	925,950
		委員会費	6		
	事務局費	人件費	396,190	401,945	
		事務局運営費	5,628		
		教育政策研究費	127		
	諸費	指導費	1,322	517,650	
		研究所費	2,080		
		教育振興補助金等	341		
		奨学金	172		
		教育施設防火等管理費	1,885		
		特別支援教育運営費	820		
		文化施設管理運営費	130,034		
		文化施設環境整備事業	222,030		
		学校音楽教育振興費	10		
		パソコン管理費	5,771		
		中学生海外派遣費	6,551		
		交通災害遺児修学援助費	18		
		事務用パソコン整備費	3,800		
		公共施設ごみ収集費	8,995		
		いじめ・不登校問題等対策費	16,828		
		教職員住宅管理運営費	707		
		生きた英語教育推進費	20,404		
		別子ハイツ自然学習館管理費	7,261		
		スクールソーシャルワーカー活用事業費	367		
		発達支援教育運営費	3,731		
	発達支援教育充実費	19,662			
	市民文化センター耐震補強対策費	53,795			
標準学力検査実施費	8,852				
学力向上学習支援事業費	2,214				
小学校費	学校管理費	小学校管理運営費	289,620	406,769	
		小学校保健費	34,661		
		小学校体育費	1,468		
		小学校施設環境整備事業	67,572		
		小学校施設環境整備事業(繰越分)	13,448		
	教育振興費	小学校就学援助費	31,849	173,584	
		小学校理科教材備品購入費	1,510		
		小学校教育研究県指定校費	493		
		小学校教育充実費	25,020		
		小学校教育用コンピュータ整備費	12,789		
		小学校特別支援教育充実費	93,238		
		小学校持続発展教育支援事業費	2,773		
		いじめ・暴力から身を守る学習事業費	948		
		小学校ハートなんでも相談員設置事業費	2,660		
小学校特別支援教育就学援助費	2,304				
学校建設費	小学校大規模改造事業	30,996	61,479		
	小学校非構造部材耐震対策事業	1,916			
	塩の学習館建設事業(繰越分)	28,567			

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
中学校費	学校管理費	中学校管理運営費	155,465	217,698	349,654
		中学校保健費	24,489		
		中学校体育費	10,036		
		中学校施設環境整備事業	27,708		
	教育振興費	中学校就学援助費	27,786	81,800	
		中学校理科教材備品購入費	2,280		
		中学校教育研究県指定校費	600		
		中学校教育充実費	22,847		
		中学校ハートなんでも相談員設置事業費	2,100		
		中学校教育用コンピュータ整備費	9,445		
		中学校特別支援教育充実費	14,068		
		中学校持続発展教育支援事業費	181		
		運動部活動競技力向上事業費	1,646		
		中学校特別支援教育就学援助費	847		
学校建設費	中学校非構造部材耐震対策事業	50,156	50,156		
幼稚園費	幼稚園費	人件費	46,350	109,034	
		王子幼稚園管理運営費	2,539		
		神郷幼稚園管理運営費	2,134		
		幼稚園保健費	793		
		就園奨励補助費	45,623		
		私立幼稚園私学助成費	4,665		
		幼稚園特別支援教育充実費	5,743		
		幼稚園施設環境整備事業	1,187		
社会教育費	社会教育総務費	人件費	105,928	276,175	
		社会教育振興費	2,165		
		文化教育費	3,435		
		生涯学習まちづくり推進費	30		
		文化振興基金積立金	625		
		文化財保護費	1,619		
		高齢者生きがい創造学園管理運営費	15,478		
		生涯学習センター管理運営費	2,895		
		生涯学習センター充実費	8,513		
		社会教育充実費	7,288		
		芸術文化振興費	3,406		
		生涯学習センター施設環境整備事業	465		
		こども夢未来基金積立金	3		
		地域コミュニティ再生支援事業費	3,039		
		大島交流センター整備事業(繰越分)	121,286		
		公民館費	公民館管理運営費		134,709
	公民館活動費		1,444		
	公民館推進費		597		
	公民館施設環境整備事業		8,475		
	地域主導型公民館推進費		12,428		
	公民館耐震補強対策事業		110,496		
	公民館耐震補強対策事業(繰越分)		10,424		
	図書館費	図書館管理運営費	57,808	97,687	
図書館充実費		23,325			
図書館図書整備基金積立金		15			
図書館施設環境整備事業		2,376			
ブックスタート事業費		1,860			
学校図書館支援推進費		12,303			

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
	郷土美術館費	郷土美術館管理運営費	10,863	12,036	
		郷土美術館充実費	1,173		
	青少年教育費	青少年育成強化費	350	350	
		青少年センター費	青少年センター管理運営費	3,000	
	補導活動充実費		194		
	広瀬歴史記念館費	広瀬歴史記念館充実費	4,722	54,567	
		広瀬歴史記念館管理運営費	33,442		
		広瀬歴史記念館改修事業	5,832		
		旧広瀬邸庭園整備事業	10,571		
	総合文化施設費	総合文化施設管理運営費(企画部)	78,040	83,752	
総合文化施設充実費(企画部)		5,712			
美術品購入基金	美術品購入基金積立金(企画部)	112,500	112,500		
保健体育費	保健体育総務費	市民体育振興費	7,502	39,679	1,086,096
		市民体育祭費	6,795		
		学校開放費	5,663		
		市民体育充実強化費	10,684		
		体育施設建設基金積立金	283		
		青少年育成スポーツ活動費	462		
		国民体育大会振興費(企画部)	1,291		
		国民体育大会開催対策費(企画部)	3,819		
		スポーツ推進審議会費	180		
		学校スポーツ活性化事業	3,000		
	保健体育施設管理費	夜間照明施設整備事業	22,966	64,117	
		夜間照明施設整備事業(繰越分)	41,151		
	体育施設費	野外活動施設整備費	1,317	470,785	
		体育施設管理運営費	255,234		
		体育施設環境整備事業	34,988		
		国体施設整備事業(企画部)	28,428		
		国体施設整備事業(企画部)	150,818		
	学校給食費	人件費	218,344	511,515	
		給食運営費	160,426		
		高津共同調理場管理運営費	2,453		
学校給食センター管理運営費		107,079			
	給食運営改善事業	23,213			
教育費合計				4,031,400	

## (2) 民生費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
児童福祉費	児童福祉総務費	放課後児童対策費	88,448	88,448	88,448

## (3) 介護保険事業特別会計 地域支援事業費

(単位：千円)

項	目	行政目的	事業費	目合計	項合計
選択型地域支援事業費	選択型地域支援事業費	高齢者生きがい創造学園講座事業費	8,409	8,409	8,409

## 2 主な施設の建設及び環境整備事業

平成26年度に実施した主な事業は、次のとおり。

### 【大島交流センター耐震補強・大規模改修工事】

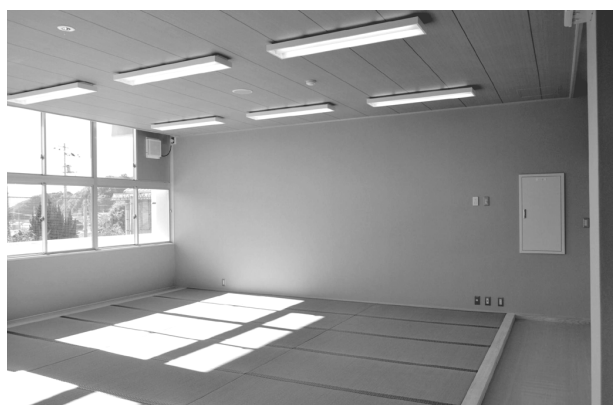
内 容 耐震補強・大規模改修工事  
事業費 116,283千円  
完 成 平成27年 3月



大島交流センター（事務所）

### 【大生院公民館体育館耐震補強工事】

内 容 耐震補強工事  
事業費 6,696千円  
完 成 平成27年 3月



大島交流センター（教室を再利用した和室）

### 【浮島公民館トイレ男女別改修工事】

内 容 トイレ男女別改修工事  
事業費 3,813千円  
完 成 平成27年 3月

### 【中萩中学校防球ネット更新工事】

内 容 防球ネット更新工事  
事業費 19,104千円  
完 成 平成27年 3月



大島交流センター（調理室）

### 【生涯学習センター事務所東面鋼製建具一部取替整備】

内 容 鋼製建具取替  
事業費 431千円  
完 成 平成26年 9月

### 【市民文化センター耐震補強整備】

内 容 大ホール・中ホール・本館の耐震補強  
事業費 53,795千円  
完 成 平成27年 3月



生涯学習センター建具取替

# 社会教育課の主な施策と実績

住民が主体的に取り組む地域活動、公民館活動の展開を図るために、平成23年4月から「地域主導型公民館」へと移行されている。また、社会教育拠点、生涯学習拠点、地域づくり拠点と様々な特性を持つ公民館であるが、それぞれの地域の特徴を活かした活動を一層充実させることが公民館の存在意義を高めることにつながるものとの視点から、地域教育力向上プロジェクト事業として地域の課題解決に向けた取組を行った。

また、「放課後子どもプラン」が引き続き実施されるとともに、「こども夢未来基金」を活用した事業も実施され、子どもたちに様々な体験の機会を提供した。

さらに、学校を地域で支える「学校支援地域本部事業」に取り組み、これら事業を通じ、学校と地域の連携体制を整備していくなかで、教員が子どもと向き合う時間の拡充が図られたとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を活かす場として、新たな地域づくりや住民のネットワークづくりが推進される契機となった。

## 1 青少年を対象とした事業

(1) 子どもの居場所づくりを推進するために、放課後子ども教室推進事業に取り組んだ。

金子、金栄、高津、多喜浜、泉川、大生院、笑顔がいっぱい、土曜寺子屋、若宮、中萩 計10教室開設

(2) 公民館や校区の各種事業において、もちつき大会やしめ縄づくり、郷土芸能保存などの地域の伝統行事、サマーキャンプなどの自然体験等、各種体験活動事業に取り組んだ。

(3) 子ども会、愛護班、ボーイスカウト・ガールスカウトなどの青少年団体の年間の各種行事に対する支援を行った。

(4) 地域全体で子どもの健全な成長、安全・安心を守るため、見守り隊組織の育成を図った。

(5) 保護者が労働等により昼間家庭にいない小学1年～3年生の児童に対し、授業終了後や長期休業中等に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図った。平成25年度の夏休みから長期休業中に限り小学4年生の受入れを行っている。

平成26年度延利用者数 計22クラブ 158,053人

## 2 家庭を対象とした事業

(1) 未就学児を持つ親を対象とした子育て教室を公民館生涯学習事業等において開設した。

(2) 公民館生涯学習事業において、家庭教育講座を開設するとともに、愛護班が実施する家庭教育懇談会などを通じて、保護者としての意識向上を図る事業を推進した。

## 3 女性を対象とした事業

女性として、地域や家庭での役割を考え、講座などを通して学ぶことにより、地域コミュニティの一員として、地域に貢献した。具体的には、女性ならではの講座（料理教室や手芸教室等）をすることにより地域コミュニティの輪を広げていき、健康教室や軽スポーツ、七草がゆ、観月会など、老若男女を問わない事業を行うことにより、地域活動への参画を促進していった。また、他団体（PTAや老人会等）と合同の講座を開くことにより、他団体との交流も深めた。講座は、手芸・園芸等といった趣味的な要素を含むもの、健康教室・人権同和教室など教養を深める講座、校区の盆踊り教室等、校区に関係しているものや清掃活動等の奉仕作業など多岐にわたるテーマの講座を行うことにより、組織作り、社会活動への参画を促進した。

## 4 高齢者を対象とした事業

地域で大切にされる高齢者ではなく地域で必要とされる高齢者となるため、地域や家庭の一員として果たすべき役割、健康づくり、社会の変化への対応などについて学習するための講座を開設した。具体的には、輪投げや花づくり等の趣味を兼ねた体を動かす講座や介護予防教室をすることにより、生きがいや健康面での留意点を見つけた。また、人権・同和教育講座や交通安全教室等の講座によって知識を深めた。さらに、しめ縄づくり教室や校区の歴史教室、凧作り教室や昔のあそび等を通して地域文化の継承や世代間交流を図った。見守り隊や清掃活動等のボランティア活動の推進により、地域で必要とされる高齢者と



なるよう努めた。

## 5 成人を対象とした事業

- (1) 現代的課題である「環境問題」、「安全・安心のまちづくり」、「自主防災」、「介護福祉」、「子育て支援対策」等について、出前講座を活用し、公民館で開催される講座等に積極的に取り入れ、「役に立つ公民館」の推進を図った。
- (2) 人権・同和教育関係の講座の実施を各種団体へ提言するとともに、お茶の間人権教育懇談会の開催を積極的に呼びかけ、「差別のないまちづくり」の推進に寄与した。
- (3) 婦人会、PTA、青少年団体等の各種社会教育団体との連携を密に行い、「市民と行政の協働のまちづくり」形成を図った。
- (4) 健康の増進、住民相互の親睦のため、市内小・中学校のグラウンド、体育館等の学校体育施設を広く一般に開放した。

## 6 強化事業

### (1) 学校支援地域本部事業

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域の連携体制の構築を図り、多様な形態の教員支援を行うことで、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るとともに、地域住民が社会教育で学んだ成果を活かす場を提供し、地域活動及び地域教育力の活性化を目指す事業として、平成20年度から9つの学校支援地域本部が立ち上がり、平成26年度には14の本部により取り組んでいる。

泉川小中学校支援地域本部、垣生小学校支援地域本部、中萩小学校支援地域本部、船木小学校支援地域本部、角野小学校支援地域本部、新居浜小学校支援地域本部、浮島小学校支援地域本部、多喜浜小学校支援地域本部、金子小学校支援地域本部、金栄小学校支援地域本部、宮西小学校支援地域本部、神郷小学校支援地域本部、大生院小学校支援地域本部、高津小学校支援地域本部

主な支援活動：登下校指導、授業補助、部活動・クラブ活動指導、環境整備など

### (2) こども夢未来基金事業の実施

子どもたちの豊かな心の成長と夢広がるふるさとづくりに資するため、こども夢未来基金を活用し、事業を実施した。

新居浜防災学習リーダー研修

「震災を知らない子どもたちのリーダー研修」として、平成27年2月14日(土)、小学5年生約40人が、北淡震災記念公園(兵庫県淡路市)及び人と防災未来センター(神戸市)の二つの防災関連施設を訪問し、被災者の体験談を聞き、施設見学を行った。悲惨な震災の被害、防災事業の大切さ、自分達でできる自主防災などを学んだ。

今後は、各学校における防災学習のリーダーとしての活躍が期待される。

### (3) 「こころのこぼれコンクール」の実施

新居浜中央ライオンズクラブとの共催事業。夏休み期間中の課題として小中学生を対象に募集した。子どもたちが日頃感じていることを正直に綴ってもらい、大人がその言葉に向き合うことで、子どもの気持ちに少しでも近づくことができればとの思いで実施した。

応募総数 小学生 810作品 中学生 524作品 合計 1,334作品

受賞発表式 平成26年12月7日(日) 10:00~12:00

場所 ウイメンズプラザ 3階多目的ホール 参加者約180人

## 7 別子ハイツ自然学習館の利用状況

単位：人

会議室			宿泊		
H 24	H 25	H 26	H 24	H 25	H 26
986	665	466	1,156	865	823

8 学校体育施設開放の利用状況

- 開放校 小学校 17校 中学校 10校
- 照明設備使用料（運動場 710円、体育館 200円、武道場 100円）

(単位：人)

区分 学校名	運 動 場			体 育 館 等		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新居浜小	9,127	7,509	7,428	13,456	11,186	10,998
宮西小	7,476	5,286	7,353	6,564	6,936	6,226
金子小	3,863	4,395	3,642	10,396	9,982	11,516
金栄小	2,563	3,541	3,131	12,087	12,011	12,778
高津小	7,575	6,308	6,525	14,797	15,299	18,206
浮島小	4,536	3,518	3,106	5,172	5,422	5,144
惣開小	3,197	3,889	4,274	6,849	7,011	7,169
若宮小	2,339	1,959	1,667	10,126	10,673	10,366
垣生小	5,827	4,739	5,017	5,740	7,560	7,106
神郷小	10,588	11,682	9,708	17,596	18,693	18,336
多喜浜小	3,253	1,644	2,660	7,975	6,695	6,656
泉川小	9,354	7,002	7,218	6,309	6,850	6,603
中萩小	10,853	10,660	11,288	24,262	21,725	22,200
船木小	9,660	7,405	5,601	14,229	14,255	14,262
大生院小	6,601	5,392	5,408	7,881	7,280	7,341
角野小	9,406	8,466	7,956	11,247	13,248	9,834
別子小・中	0	0	0	623	449	413
東中	1,330	1,735	1,780	11,631	10,829	8,867
西中	911	1,316	891	4,731	4,459	4,119
南中	1,637	1,722	1,291	10,975	11,223	10,153
北中	997	648	1,101	9,878	9,760	9,472
泉川中	0	0	0	13,191	12,843	12,960
中萩中	3,113	3,462	3,294	8,608	11,109	10,091
船木中	1,456	1,330	1,324	5,678	5,507	5,871
大生院中	832	1,103	1,419	4,317	4,012	3,814
角野中	782	937	625	9,092	10,873	9,594
川東中	2,627	2,545	2,196	10,323	11,033	9,664
計	119,903	108,193	105,903	263,733	266,923	259,759

9 公民館事業報告

## 新居浜公民館

(1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～夢・ロマン・感動を求めて～

- 1 ボランティア活動の推進
- 2 学校・家庭・地域を結ぶ青少年健全育成と見守り隊の推進
- 3 生涯学習の活性化と推進
- 4 三世代交流を活かした地域文化の伝承活動とリーダーの育成
- 5 小学生・中学生の居場所づくりと交流

(2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	女性講座	校区内女性	H26. 5.26～H27. 1.20	26	5	171	176
	シニアネットワーク	校区内高齢者	H26. 5. 7～H27. 1.11	20	118	59	177
	三世代交流事業	校区住民	H26.12.13	7	95	145	240
	小学生夏休み講座	小・中学生親子	H26. 8. 6～H26. 8.22	28.5	176	171	347
	小学生通学合宿	小学生	H26. 6.25～H26. 6.28	51	100	118	218
	地域づくり推進事業	校区住民	H26. 4.23～H27. 1.24	24	6	161	167
	小・中学生料理教室	小・中学生	H26. 4.23～H27. 1.31	18	71	94	165
	新小夜市	校区住民	H26. 7.19	3	500	500	1,000
	三世代交流健康ウォークラリー	校区住民	H26. 6.14	4	35	35	70
	浜っこ教室	小学生	H26. 6.23～H27. 1. 5	35	134	147	281
	地域自主防災組織の強化	校区住民	H26. 5.27～H26.11.18	26	217	180	397
地域活性化事業	校区住民	H26. 5. 9～H27. 1.11	40	122	311	433	
公民館GP(観月会&一夜限りのキャンドルアート)		校区住民	H26. 9. 9	—	—	—	3,000
校区行事	校区文化祭(芸能祭)	校区住民	H26.11.16	—	—	—	1,500
	校区運動会	校区住民	H26. 5.18	—	—	—	800
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 小学生通学合宿



6月25日～28日(3泊4日)の日程で新居浜小学校に通う4年生から6年生の児童を対象に開催した。家庭から離れ公民館で共同生活をしながら通学し自分たちの力で生活体験することで自立し、お互いの立場を理解し助け合う心を育むことを目的とする。また、地域の方々のご協力により、児童と共に学び、遊び、交流が深まり、今後「地域の子どもは地域で育む」機運が高まった。期間中、公民館を利用する団体に「よさこい踊り」を教えてもらい、他に宝さがし・ソーメン流し・花火大会などのイベントも行った。

#### (イ) 新居浜校区三世代交流健康ウォークラリー



三世代交流活動の一環として、塩田歴史の町などを散策し、又、ゲーム大会では古いも若さも童心に戻り、笑い声が絶えない明るく楽しく健康的な交流事業であった。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域活性化プロジェクトを立ち上げ、「つづら淵の水」で魅力ある地域づくりを行う
- (イ) 地域自主防災組織の強化
- (ウ) 団塊世代の協力体制づくり

# 口屋跡記念公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～心触れ合う、住みよい地域づくりをめざして～

- 1 豊かな心を育てる生涯学習の充実
- 2 青少年の健全育成
- 3 社会教育関係団体相互の連携・交流
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 生涯スポーツの振興、生活文化活動の育成

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	小学生・保護者	H26. 7. 6～H27. 3. 3	10	12	53	65
	女性講座	女性	H26. 6.18～H27. 3. 3	15.5	250	354	604
	高齢者講座	高齢者	H26. 6.11～H27. 3. 7	24	145	158	303
	高齢者・女性合同講座	高齢者・女性	H26. 5.13	3	15	46	61
	家庭教育・女性合同講座	保護者・女性	H26. 6.13	1	6	30	36
	生活文化講座	小学生・保護者	H26. 8.22	8	15	36	51
	スポーツ健康教室	校区住民	H26. 9.24	2	14	17	31
	三世代交流福祉ももちつき大会	校区住民	H26.12.20	3.5	75	125	200
	先進地研修	運営審議会委員及び校区住民	H26. 7.26	8	16	5	21
	北中校区子ども絵画展	宮西小・新居浜小・北中生徒全員	H26.9.20～9.27まで展示期間 H26.9.27表彰式	6	154	210	364
	三世代で考える学ぼう防災訓練	校区住民	H26.11. 9	3	290	360	650
	三世代交流講座	小学生・校区住民	H27. 1. 8	3	23	43	66
口屋あかがねプロジェクト事業	団塊世代・校区住民	H26. 7.23～H27. 3.10	75	148	35	183	
公民館GP(口屋あかがねプロジェクト事業など)	校区住民	H26. 4. 1～H27. 3.16	6	58	16	74	
校区行事	三世代交流大運動会	校区住民	H26. 5.18	—	350	350	700
	文化祭	校区住民	H26.11. 9	—	600	700	1,300
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 三世代交流福祉もちつき大会

毎年恒例の「三世代交流福祉もちつき大会」を12月20日に実施した。女性部が作る赤飯に子どもたちが心をこめて書いた手紙を添えて、75歳以上の独居高齢者宅を訪問したり、もちつきと並行して老人会やたまごとダエンの積木の会の協力で思い思いの作品作りに挑戦した。この事業は核家族で育つ子どもたちには地域行事への参加を通じて三世代が触れ合える貴重な体験になっている。地域住民の連帯感や、子どもたちの健全育成及び地域の活性化のためにも継続していきたい大切な行事である。



#### (イ) 北中校区子ども絵画展

学校・PTA・地域が一体となり、児童・生徒の個性的、創造的表現活動を後押しし、旺盛な創作意欲と豊かな心の育成を目的にした事業である。宮西・新居浜小学校、北中学校生徒全員を対象として夏休みに題材自由で描いてもらった作品を審査後、公民館に展示し、広く地域住民にも観覧してもらった。その後、表彰式、指導の時間を設けた。子どもたちの表現力や感受性を養うためにも今後も大切に継続していきたい事業である。(今年度は公民館改修工事のため新居浜公民館にて実施)



#### (ウ) 口屋あかがねプロジェクト事業

口屋あかがねの会・くちやあゆみの会と2つの会が次世代に残していきたい口屋の歴史を子どもたちに継承していく事を目的に始めた事業である。口屋あかがねの会は昔の立川宿ジオラマ(模型)を制作し、くちやあゆみの会は地域住民自体が地域の歴史・文化を学び、後世に語り続けるため活動の中で中学生の副読本「口屋の周辺」の作成に力を注いだ。今後も地域の宝を認識し、地元への愛着心を育てるためにも大切にしていきたい事業である。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域一体となった生涯学習の、より一層の充実に取り組む。
- (イ) 各種団体との連携を密にし、地域の活性化を図る。
- (ウ) ボランティア活動等を通し、地域の福祉増進を図る。
- (エ) 各種団体・地域住民と連携を図り、安心・安全のまちづくりの実現を目指す。

## 地域交流センター（ふれあい金子）

### (1) 平成26年度の地域交流センター活動の概要（重点事業）

～ 笑顔あふれる地域交流センター～

- 1 地域ふるさとづくりの推進
- 2 生涯学習・スポーツの推進
- 3 各種団体との連携・協力体制の強化
- 4 地域が一体となった青少年健全育成
- 5 自主防災組織の充実と意識の向上

### (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H26. 6. 9～H27. 3. 9	25	125	253 (子ども 120)	498
	家庭教育講座	小学生及び小保 生 護 び者	H26. 5. 7～H27. 1. 21	17	40	295 (子ども 356)	691
	三世代交流	一般	H26. 7. 3～H27. 1. 7	13.5	26	48 (子ども 61)	135
	文化教養講座	一般	H26. 7.16～H26. 8. 2	6	33	44 (子ども 42)	119
	乳幼児講座	乳幼児及び小保 児 護 び者	H26. 4. 2～H27. 2.10	30	0	77 (子ども 75)	152
	まちづくり事業	一般	H26. 5.18	4	80	72 (子ども 28)	180
	スポーツ健康教室	一般	H26. 5.10～H27. 3.20	4	79	50 (子ども 2)	131
	宿泊合宿	小学生	H26. 8. 2～H26. 8. 3	12	21	7 (子ども 27)	55
姉妹館交流事業	一般	H26.10.27	3	23	10	33	
金子校区みまもり隊会議	一般	H26. 8.19	2	27	8	35	
放課後子ども教室推進事業	小学生及び一般	H26. 4. 9～H27. 3.25	114	19	101 (子ども 605)	725	
校区行事	高齢者軽スポーツ大会	高齢者	H26.11.22	3	42	39	81
	ラブ金子ふるさと夏まつり	地区住民	H26. 7.19	5	1,315	1,530 (子ども 1,515)	4,360
	校区文化祭	地区住民	H26.11. 9	8	750	760 (子ども 690)	2,200
	芸能発表会	地区住民	H26.11.15	5	56	147 (子ども 28)	231
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 乳幼児講座



核家族化が進む現代においては、子育ての悩みを一人で抱え奮闘している母親世代が少なくない。子育て中の母親が楽しみながら子供の育て方、しつけ等について学習したり、疲労・ストレス解消・癒しの場として情報交流するなど、幅広い教養が身につけられる場として開設している。

#### (イ) ラブ金子ふるさと夏まつり



一宮神社の宮の市を再現し、昔を懐かしむとともに地域手作りの夏まつりを開催している。

今回で24回を迎えたが、三世代がふれあい、ひとつの輪になって絆を深めるよい機会でもある。児童の司会進行で始まり、じゃんけん大会・花火大会などを行った。また、校庭のやぐらを囲んで浴衣姿の婦人やはっぴ姿の小学生が「小女郎たぬきおどり」を踊り、心に残る夏まつりが実施された。

#### (ウ) 姉妹館交流



新居浜市金子公民館（現：地域交流センター）と埼玉県入間市立金子公民館とは、源平の合戦で功労のあった武将、金子十郎家忠に縁があり、公民館の名称も同じ金子であることから、両市の郷土史家や有志の方々の出会いから交流が始まった。

昭和60年10月17日には、新居浜市市政施行50周年事業の一つとして入間市から関係者を迎え、全国的にも珍しい姉妹館締結調印式が新居浜市役所で行われた。

その後、相互訪問を繰り返し、平成26年10月27日に、入間市金子公民館を訪問し文化、芸術、公民館事業の在り方など、様々なことについて話し合い交流を深めた。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

#### (ア) 地域住民主体の生涯学習の推進

(イ) 世代間交流事業を充実させ、地域住民の交流の輪を広げる。

(ウ) 学校関係機関及び各種団体と連携し、青少年の健全育成を図る。

(エ) 自主防災組織の充実と意識の向上（住民同士の連携を深める）



# 金栄公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館を目指して～

- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進
- 2 地域の絆を深め連携を図る
- 3 安全・安心の校区づくりと見守りボランティアの推進
- 4 自主防災組織の充実と意識の向上

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座	高齢者	H26. 5.26～H27. 3. 2	29	120	206	326
	婦人講座	婦人	H26. 5.26～H27. 3. 2	31	0	243	243
	家庭教育講座	小学生を持つ親	H26. 5.26～H27. 3. 2	12	0	80	80
	文化講座	一般	H26. 9.12～H26.10.21	9	0	37	37
	料理講座	一般	H26. 8. 7～H26.10.23	6	9	20	29
	環境美化講座	一般	H26. 4. 2～H27. 3.26	70	0	226	226
	親子の集い	児童・一般	H26. 7.19～H26. 7.20	—	50 (子ども130名)	80	260
	ドリームツリー	一般	H26.12.21	—	480 (子ども210名)	810	1,500
	ドッジボール大会	児童・一般	H27. 2.28	—	4 (子ども62名)	10	76
	安心まちづくり講座	一般	H25. 4.18～H26. 1.24	36	185	49	234
	芸能発表会	一般	H27. 1.10	2	40 (子ども21名)	89	150
	地域コミュニティ活性化事業	一般	H26. 8. 7～H27. 3.11	4	1	16	17
	校区盆踊り大会	一般	H26. 8.14	3	220 (子ども180名)	300	700
	子育て支援講座	未就園児と保護者	H26. 4.14～H27. 3. 9	30	2 (子ども215名)	279	496
ボランティアスタッフ養成講座	一般	H26. 9. 8	—	8	18	26	
放課後子ども教室推進事業		児童・一般	H26. 6. 7～H27. 3.14	50	94 (子ども479名)	159	732
校区行事	校区運動会	一般	H26. 5.18	—	270 (子ども180名)	250	700
	校区文化祭	一般	H26.11. 9	—	500 (子ども250名)	650	1,400
その他	金栄ふれあいランド ～わくわくキッズ王国・ ふるさと青空マルシェ～	一般	H26.11. 8	5	150 (子ども400名)	250	800

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 金栄まちづくり事業

金栄校区では、安全・安心のまちづくりを目指し各種団体及び小学校と連携し、様々な活動を実施している。10月に実施した「地域総合防災訓練」では、各種体験・引き渡し訓練等を通じて、地震等の災害から自分の身を守るとともに互いに助け合うことの大切さを学ぶことができた。

また、小学校・校区連合自治会等が協働で作成した「金栄校区地震・浸水避難経路防災マップ」が独立行政法人科学技術研究所の主催する「第5回防災コンテストe防災マップ部門」において最優秀賞を受賞した。今後も引き続き校区全体の防災意識の向上に努めたい。



#### (イ) 金栄ふれあいランド

～わくわくキッズ王国・ふるさと青空マルシェ～

子どもから大人まで校区住民が楽しめる催し及びマルシェを開催した。華々しいオープニングセレモニーも実施し、笑顔溢れる一日となった。



#### (ウ) 伝統芸能の伝承

～金栄トンカカさん踊り～

「金栄トンカカさん踊り保存会」と連携し、様々な行事へ参加している。毎年、金栄小学校3年生児童への指導も実施しており、校区運動会や小学校運動会等で披露している。踊り連は20名となり今後益々の活躍が期待されている。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域住民のニーズに合わせた事業及び講座の実施
- (イ) 地域活動におけるリーダー的人材の確保
- (ウ) 見守り隊の拡大と支援の充実
- (エ) 自主防災組織の更なる充実と地域住民の防災意識の向上
- (オ) 郷土芸能の伝承と継承

# 高津公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 住民が主体的に携わる公民館を目指して～

- 1 自治能力の向上と安全な地域づくりに努める
- 2 住民が自ら考え行動する生涯学習の推進とまちづくり構想の策定
- 3 学校、家庭、地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 地域の連帯を図る三世代交流とふれあい活動の充実
- 5 人権・同和教育の推進

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者講座 (明治大学)	高齢者	H26. 5.15～H27. 2.18	25	242	300	542
	女性セミナー	女性	H26. 6. 5～H27. 2. 5	25.5	13	237	250
	スポーツ健康教室	一般	H26. 6. 5～H26. 6. 8	8	74	55	129
	健康ウォーキング	一般	H26.10.11	9	17	28	45
	れんげ祭り	一般	H26. 4.19	2	300	400	700
	たかつ納涼夏祭り	一般	H26. 7.20	6	660	840	1,500
	たかつ史跡めぐり	一般	H26.12. 3	2.5	12	6	18
	文化部発表会	一般	H26.11.22	3	70	280	350
	きつずセミナー	子ども・一般	H26. 7.26～H27. 1.27	25	88	153	241
	たかつ花あふれる まちづくり	一般	H26. 4.12～H27. 3. 8	58	128	211	339
	たかつ防災事業	子ども・ 児童・一般	H27. 2. 1	2	16	18	34
青少年健全育成講演会	青少年を持つ親	H26. 6.11	2.5	60	90	150	
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H26. 5.31～H27. 3.14	64	640	640	1,280	
公民館GP(高津まち づくり構想策定事業)	一般	H26. 4. 1～H27. 3.16	15	252	135	387	
校区行事	三世代交流大運動会	一般	H26. 5.18	6	750	550	1,300
	校区文化祭	一般	H26.11. 9	6	1,110	1,350	2,460
その他	青少年防災キャンプ	児童・一般	H26. 8. 1～H26. 8. 3	27	321	141	462

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 高津まちづくり構想策定事業



各種団体の後継者不足、自治会加入率の低下、南海トラフ巨大地震の液状化対策、将来人口減少等多くの課題があるため、青年リーダー育成に続きまちづくり構想を策定中で総合理念と住民交流・福祉関係・青少年健全育成・環境防災・都市基盤の5分野について現状・目標・実現するための方策をまとめ、それを長期・中期・短期に分類し、短期のものについて3ヶ年実施計画をつくり実現化に取り組むもので、現在構想を策定中である。

#### (イ) 青少年防災キャンプ



8月1、2、3日、2泊3日で高津公民館を避難所として青少年防災キャンプを実施した。高津小学校の高学年を対象に避難体験をしながら地域（連合自治会・消防分団・婦人連絡協議会等々）の諸団体や中学生、高校生ボランティアサークル「May」等、延べ462名が参加し、災害時の避難所体験をしながら放射能・液状化・河川災害復旧工事現場・工場見学・災害時対応・避難所の約束・被災地復旧体験談・非常食試食・けが人の応急処置・救出体験等々を勉強し、子どもたちは普段の生活のありがたさを再確認したようである。なお、11月29日には総合科学博物館で県主催の青少年防災体験フォーラムを実施した。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) まちづくり構想から長期・中期・短期に分類して3ヶ年実施計画作成と実現化方策は重要となる。
- (イ) 多くの自治会で毎年役員が交替するため継続して高齢者も含めた防災、避難訓練が必要である。

# 浮島公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 明るく元気な浮島校区の構築 ～

- 1 青少年の健全育成を地域の課題として取り組む
- 2 高齢者も児童も気軽に参加できる事業の推進
- 3 「安全・安心」の地区の拠点としてのレベルアップ

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座	校区住民	H26. 5.10～H27. 2. 1	33	285	425	710
	婦人講座	校区婦人	H26. 4.22～H27. 3. 3	13	9	78	87
	総合講座	校区住民	H26.10.21～H27. 2. 1	7	155	190	345
	高齢者講座	校区住民	H26. 6. 7～H26.12.10	16	76	90	166
	伝統を伝える講座	校区住民	H26.11.18～H27. 1. 7	46	108	69	177
	料理教室	校区住民	H26. 4.18～H27. 3.16	25	181	38	219
	軽スポーツ教室	校区住民	H26. 7.15～H26.11.30	8	86	38	124
	子ども教室	校区児童	H26. 4. 9～H27. 3. 8	7	111	95	206
	明るく元気が出る標語看板作り	校区住民	H26. 5.27～H26. 6.17	8	25	5	30
	双子クラブ	市内在住の双子及び保護者	H26. 4.14～H27. 3. 9	24	62	163	225
	幼児・児童の健全育成講座	校区住民	H26. 4.23～H27. 3.25	15	109	77	186
人材の育成講座	校区住民	H26.11.22	9	15	11	26	
公民館 G P (防災に関する講座など)	校区住民	H26. 4. 1～H27. 3.16	18	108	102	210	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H26.10.26	—	371	516	887
	小学校合同運動会	浮島小学校・校区住民	H26. 5.18	—	380	295	675
その他	まもるくんパトロール	校区住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	—	—	—	1,600

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 小学校と合同運動会

浮島校区運動会は、住民の高齢化とともに参加が減少し、盛り上がりにかけていた。そこで公民館を中心に関係者協議の結果、平成18年度から浮島連合自治会と浮島小学校の合同運動会を実施している。地域住民の参加種目をたくさん取り入れ、例年500名程度の参加を得て盛大な運動会となっている。昨年からは児童の健康を考慮して5月に実施している。



#### (イ) まもるくんパトロール隊

浮島校区では、大阪の池田小学校の事件をきっかけに、平成17年1月「まもるくんパトロール隊」を組織し、以来、児童の登下校の安心安全を目的に日々活動している。

下校時間が学年により異なるため、同じ道を何度も往復するなど隊員の負担も大変なものがありますが、「できるだけ児童を一人にしない」を合い言葉に雨にも負けず今日も頑張っている。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域の主体性を尊重した生涯学習の推進を図る。
- (イ) 地域住民の多くが公民館活動に参加し、地域の活性化に繋げる。
- (ウ) 子ども達を地域で守り育てる意識と環境の向上を図る。
- (エ) 公民館活動の担い手となる人材の確保と育成を図る。

## 惣開公民館

### (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館づくりを目指して～

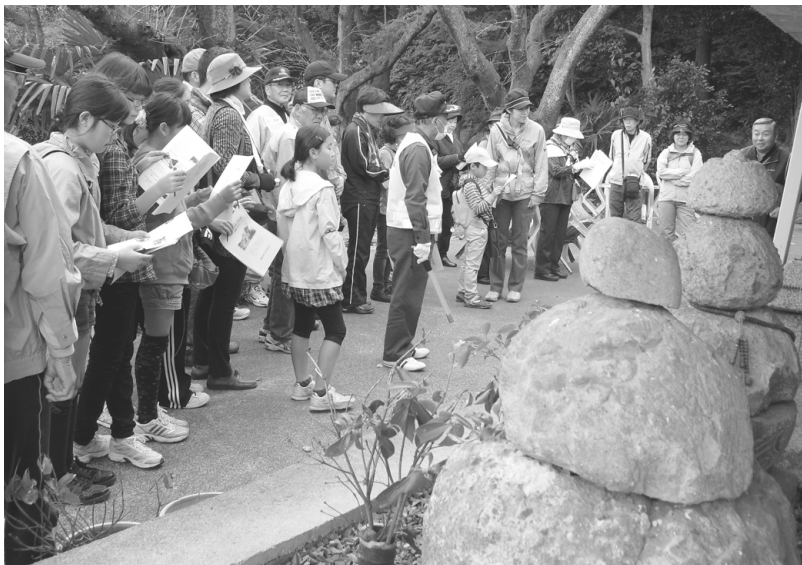
- 1 事業の企画・運営への住民の参画促進と人材の育成・発掘を図る
- 2 地域資源を活かしたまちづくり
- 3 地域住民に親しまれる公民館づくり

### (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	シニア教室	高齢者	H26. 6. 9～H27. 1.16	15	55	61	116
	遊you講座	婦人・一般	H26. 4.22～H27. 2. 9	27.5	30	135	165
	乳幼児学級	乳幼児をもつ親	H26. 5.15～H27. 2. 4	5.5	1 (子ども42)	130	173
	生活文化講座	一般	H26. 5.26～H27. 2.23	21	1 (子ども105)	166	272
	三世代交流事業	校区住民	H26.10. 3とH27. 3. 7	9	44 (子ども222)	168	434
	まちづくり事業	校区住民	H26. 7.26～H27. 1. 7	10	260 (子ども484)	452	1,196
校区行事	校区文化祭	校区住民	H26.10.26	6	300 (子ども400)	500	1,200
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 地域の資源を活かしたまちづくり事業



惣開校区には別子銅山の近代化産業遺産が多く残り、それらを生かしたまちづくり事業を行った。

26年度は「そうびらきふれあいウォーク」を実施。郷土を守るための戦いが繰り返されたこの地域をみんなで一緒に歩きながら、戦国時代に思いをはせ、地域の歴史と平和の尊さを学んだ。

#### (イ) 卒業記念もちつき大会 (H 27.3.7)



小学校6年生の卒業を記念して、毎年恒例で開催している。

P T Aや社会福祉協議会、婦人会、地域の高齢者などがボランティアで参加し、小学校時代のよき思い出を作るとともに、古き良き日本の伝統文化にふれ、三世代交流が図られた。

「みかんもち」作りにも挑戦し、子どもから大人まで好評だった。

婦人会手作りの赤飯に、6年生の手紙が添えられ、校区内の独居高齢者に配られた。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 世代間の交流のある講座の推進

(イ) 魅力があり、誰もが気軽に参加できる講座の開設

(ウ) 地域住民に対する生涯学習への認識と啓発(特に青年層)による新規参加者の増加



# 若宮公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 家庭・学校・地域の連帯を図り、安全・安心で住みよい若宮校区づくりを目指す ～

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	環境にやさしいづくり	校区住民	H26. 5.30～H27. 3.12	10.5	95	99	194
	安全・安心なまちづくり	校区住民	H26. 5.26～H26.12. 9	7	137	149	286
	子どもが主役のまちづくり	小学生・保護者	H26. 6. 9～H27. 3.26	34	173	257	430
	高齢者が安心して暮らせるまちづくり	高齢者	H26. 4. 8～H27. 3.26	36	140	554	694
	スポーツと健康	校区住民	H26. 5.17～H26.11.30	14	49	82	131
	地域の伝統・歴史の伝承	校区住民	H26. 5.14～H27. 3. 4	17.5	510	540	1,050
	趣味と教養	校区住民	H26. 4.28～H27. 2.23	22	21	141	162
	先進地研修	校区住民	H26.11.23	9	12	6	18
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H26. 4.30～H27. 3.18	57	48	289	337	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H26.11. 9	5.5	465	535	1,000
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 防災・避難訓練

若宮校区は海拔が低く、高齢化率の高い地域である。そのため、校区連合自治会との連携を密にすることが肝要であり、毎年校区自主防災会と公民館との共催で防災訓練を実施している。

昨年は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自主防災意識に基づき、『無事です』という黄色の防災旗を全家庭に配布した。災害避難の際には、玄関やカーポートなど道路から見えるところに旗を掲げ、住民同士で安否確認をし、災害時要援護者を支援できる体制づくりに努めた。

また、避難場所である体育館では、ブルーシートを活用して、各自の居場所作りの実践を行った。その後、防災部長の指導のもと、長期間の避難となった場合のプライバシーの確保、最低限の飲食の必要数量の確保や移動通路等の確保をすることの大切さを参加者全員で認識することができた。

校区文化祭においては防災コーナーを設け、地域住民の意識高揚を図っている。



#### (イ) 子どもの居場所づくり推進事業

若宮公民館で実施している子ども達関連の事業は大きく分けて次の三本である。

- ①読み聞かせを含め学校への出前授業
- ②毎週水曜日実施の放課後子ども教室
- ③新田診療所との共催で月1回実施する三世代交流事業

中でも三世代交流事業では、ピザ作り・流しそうめん・クリスマス会・年賀状作り・かるたとりなど、地域ボランティアの方々と共に、学校では体験できないテーマに取り組んでいる。



わかっ子子ども教室（お手玉）



三世代交流事業（かるたとり）

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

(ア) 公民館活動への住民の参画を推進し、地域の活性化につなげる。

(イ) 家庭・学校・地域の連携を一層深めて、連合自治会・社協・老人会など校区内の各団体との共催事業を推進する。

# 垣生公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域と共に歩む公民館 ～

- 1 地域住民に親しまれ支えられる公民館づくり
- 2 自ら学ぶ生涯学習の推進
- 3 各種団体・機関との連携強化
- 4 生活文化活動の振興
- 5 安全で住みたい垣生づくり

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	家庭教育講座(家庭教育コース)	小学生及びその保護者	H26. 6. 7～H27. 2. 8	11.5	63	100	163
	婦人講座(婦人コース)	婦人	H26. 5.20～H27. 1. 7	28.5	193	397	590
	高齢者講座(高齢者コース)	高齢者	H26. 6.18～H27. 2.16	18	49	94	143
	ふるさと文化講座(文化コース)	小学3～6年生及び一般	H26. 9.10～H26.12.23	4	142	143	285
	成人講座	成人男女	H26. 8. 2～H27. 2. 7	17	41	35	76
	スポーツ健康教室	校区住民	H26. 6. 2～H27. 2. 6	8	125	74	199
	農業体験教室	小学生	H26. 5.23～H26.10.22	4	112	109	221
	子育て支援	校区住民	H26. 5.14～H26. 6.11	4.5	27	68	95
	イルミネーションファンタジー	校区住民	H26.12.23	5	165	265	430
	垣生山遊歩道整備	校区住民	H26. 6. 1～H26. 9.28	4	122	55	177
	自主防災	校区住民	H26. 6. 4	1	113	136	249
	納涼祭	校区住民	雨天のため中止	—	—	—	—
	三世代グラウンドゴルフ	校区住民	H27. 2. 2	2.5	37	22	59
文化財ウォークラリー	校区住民	H27. 3. 8	3	65	53	118	
公民館GP(自主防災訓練)	校区住民	H26. 6. 1～H27. 3.16	19	617	433	1,050	
校区行事	校区芸能祭	校区住民	H26.11. 1	3	65	53	118
	校区文化祭	校区住民	H26.11. 1	2	40	65	105
	校区大運動会	校区住民	H26. 5.18	6	855	745	1,600
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 農業体験

田植え・稲刈り・芋苗さし・芋ほりを、地域の農家の方たちのご協力を得て、垣生小学校の児童が体験している。昨今、子どもたちの「食」や「農」に対する関心が希薄になっているといわれている。子どもたちが「食」の大切さを理解し、正しい食習慣を身に付ける上でも、意義のある活動である。



#### (イ) イルミネーションファンタジー

垣生公民館及び垣生山を年末年始の期間、イルミネーションで装飾している。毎年12月23日にイルミネーション点灯式を行い、カウントダウンイベントや餅つき大会などが行われ、来館者には温かい豚汁の配布も行われる。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館運営方針の実現に向け、新しい講座を展開する。
- (イ) より一層の地域主導を目指し、運営審議会の充実を図る。
- (ウ) 地域・学校・家庭がより連携し、青少年健全育成と子育て支援に取り組む。

# 神郷公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

家庭・学校・地域の連帯強化を図り、一人ひとりが大切にされる、安全・安心で住みよいまちづくりを目指す。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 青少年の健全育成           | 5 お茶の間懇談会の拡充・強化    |
| 2 地域の安全と安心の推進        | 6 自主防災組織づくりの拡充・強化  |
| 3 地域福祉の拡充            | 7 地域の環境美化の推進       |
| 4 生涯学習の推進と各サークル活動の支援 | 8 スポーツの振興と健康づくりの推進 |

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	婦人講座	婦人	H26. 4. 7～H27. 1.19	27.5	3	125	128
	(高齢者講座) 老人大学	高齢者	H26. 5.27～H26.12. 2	18.5	121	122	243
	乳幼児期家庭づくり教室	乳幼児を持つ親	H26. 6. 8～H27. 2. 5	33	237 (子ども 807)	440	1,484
	三世代交流事業	一般・子ども	H26. 6.14～H27. 1.18	28	364 (子ども 300)	316	980
	観月会	一般	H26. 9. 5	3	120	100	220
	神郷まちづくり事業	一般・子ども	H26. 4. 1～H27. 3. 2	137.5	576 (子ども 168)	389	1,133
	わくわく小学生	一般・子ども	H26. 4.23～H26.12.12	21	54 (子ども 285)	101	440
	ママ友講座	婦人・子ども	H26. 6.10～H27. 2.29		0 (子ども 61)	116	177
校区行事	校区運動会	一般	H26. 5.18	6.5	550 (子ども 150)	450	1,150
	校区文化祭	一般	H26.11. 9	6	1,450 (子ども 250)	1,700	3,400
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) まちづくりの事業

校区の各種団体役員が、安全安心、環境美化、健全育成の3部会に分かれ、よりよいまちづくりを目指して熟議を重ね、その内容を活かして各世代が協力して様々な事業に取り組んでいる。特に三世代交流の場作り、その活用による地域連携を目的に神郷校区住民のシンボルとして親しまれてきた「忠魂碑」がある広場の整備・緑化に力を入れている。



三世代交流忠魂碑輪投げ大会



忠魂碑山桜の植樹

#### (イ) 観月会

新居浜の郷土食といわれる“いも炊き”で季節を味わいながら地域の親睦を図る。



#### (ウ) 防災訓練

「自分たちの地域は自分たちで守る」ため自主防災組織を整備し、災害に備えた様々な訓練を実施する。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) どの事業もみんなで計画し、より多くの校区住民の参加を目指す。
- (イ) 各自治会、諸団体の自治能力の育成強化を図り、地域発展につなげる。
- (ウ) 学校・公民館・地域の連携を一層深め、青少年の健全育成に取り組む。
- (エ) 神郷史情をより多くの校区住民の方に知っていただき、保存・伝承していきたい。
- (オ) 神郷まちづくり委員会にて校区の問題点を浮き彫りにし、熟議を重ね問題解決に向け、知恵を出し合い取り組む。

# 多喜浜公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 笑顔にあふれ、元気の出る公民館を目指して～

- 1 潤いと生きがいのある安全・安心なふるさとづくりの推進
- 2 世代間の交流、人材の発掘
- 3 学校・家庭・地域が一体となった青少年の健全育成
- 4 郷土の伝統文化の継承と郷土意識の向上
- 5 人権・同和教育の推進

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	スクール多喜浜	一般	H26. 5～H27. 3	58	98	260	358
	高齢者大学	高齢者	H26. 6～H27. 3	16.5	64	142	206
	三世代交流事業	一般・児童	H26. 6～H27. 2	10.5	107	110	217
	だいすき多喜浜夏祭り	一般	H26. 7	14.5	237	255	492
	塩田文化バンク	一般	H26. 5～H27. 2	27.5	68	107	175
	環境講座	一般	H26. 5～H27. 3	11	43	30	73
	まちづくり講座	一般・児童	H26. 9～H27. 3	22.5	183	214	397
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H26. 5～H27. 3	62	50	321	371	
校区行事	校区運動会	校区住民	H26. 5. 18	8	350	250	600
	校区文化祭	校区住民	H26. 11. 3	8	500	600	1,100
	演芸大会	校区住民	H26. 11. 1	12	200	200	400
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 塩田文化バンク

別子銅山とほぼ同時期に生まれた塩田は、新居浜の発展を支え昭和40年代まで多喜浜の住民とともにあった。廃田以降、人々の記憶から忘れ去られつつある多喜浜塩田を後世に継承していこうという声地域から高まり、住民が主導してその伝承活動に努めている。「ソルティ多喜浜」を活用した塩づくり体験学習、多喜浜塩田学習、小学生がガイドを務める塩田遺跡めぐりなど継続的に取り組んでいる。

また、これからの地域ブランド確立のために、塩を使ったレシピ研究や子どもカメラマンによるたきはま写真館も行っている。



#### (イ) 少年の日を祝う会

校区内で「少年の日」を迎える中学2年生を招待し、地域を挙げて祝う「少年の日を祝う会」を開催している。中学生、保護者、地域住民とが協力して、紅白のお餅をついたり、和太鼓演奏を体験鑑賞した。式では、中学生たちが多喜浜に対する郷土愛と地域への感謝の気持ちあふれる素晴らしい発表を行い、とても良い三世代交流の場となった。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

#### (ア) 塩田文化の保存伝承

#### (イ) 伝統行事を通して様々な世代交流を行う



# 大島公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域に根ざした公民館づくり ～

- 1 生涯学習の拠点として、学習の推進を図る
- 2 各種団体との連携と協調・課題の解決
- 3 潤いと生きがいのあるふるさとづくりの推進
- 4 奉仕活動の強化、快適で潤いのあるまちづくりの推進
- 5 人権・同和教育の学習

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	教 養 講 座	一 般	H26. 6. 8～H27. 1.23	41	33	72 (子ども5)	110
	島 体 験 講 座	一 般	H26. 7. 1～H26.12. 9	10	8	9	17
	と う ど 祭 り	児童・青少年・一般	H26. 8.11～H27. 3.20	48	233	184 (子ども129)	546
	ふ れ あ い 交 流	児童・一般	H26. 7.26～H26. 7.27	17	7	13 (子ども30)	50
	高 齢 者 講 座	一 般	H26. 7.11～H27. 1.20	8	6	32	38
	防 災 教 室	一 般	H26.10.30～H26.11.21	11.5	21	31	52
校区行事	文 化 祭	児童・青少年・一般	H26.11. 9	5	10	50 (子ども5)	65
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 異年齢体験交流キャンプ

小学生・中学生・大学生及び社会人が集い、社会性や自立心の醸成など、感性豊かで好奇心旺盛な子ども本来の特性を見直すとともに青少年健全育成を目的として実施した。



ゴム鉄砲作り



感想発表

#### (イ) とうど祭り

伝統文化の保存と継承を目的とし、地域住民が親睦を深めながら、島外の人達との交流を図る。



念仏踊りの練習



とうど祭り

#### (ウ) 防災教室（防災運動会）

災害時における対策を防災運動会を通し、地域住民みんなで学ぶ。



バケツリレー



消火訓練

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 少子高齢化が進む中、伝統文化の保存と継承の対策
- (イ) 地域住民と島外者とのふれあい交流ができる事業の推進
- (ウ) 非常時に備え、楽しく防災知識の習得ができる講座の実施

# 泉川公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～新しい発見、気づこう、まちづくりの魅力～

- 1 再発見事業
- 2 住民が総参加の事業展開
- 3 まちづくりの醸成

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	泉川ふるさと塾	一般	H26. 5～H27. 3	15	137	67	204
	なんでも楽習会	一般	H26. 7～H26.12	18.5	75	103	178
	星原市	子ども・一般	H26. 5～H26. 8	19.5	555	487	1,042
	シニアネット事業	高齢者	H26. 6～H26.12	3	42	6	48
	公民館まつり	子ども・一般	H26.11. 9	6	900	1,100	2,000
	泉川感謝祭	一般	H26. 9.20	8.5	60	40	100
	先進地研修	運営審議委員と一般	H26. 8.23	9	31	6	37
	「防災」の時、どうする？	子ども・一般	H26. 7～H27. 3	3	366	346	712
	ダンボールコンポスト	一般	H26. 6	1.5	8	12	20
	伝統行事事業	子ども・一般	H26. 8～H27. 1	12.5	715	571	1,286
放課後子ども教室推進事業	児童・一般	H26. 4～H27. 3	111	413	485	898	
公民館GP(介護予防に関するサテライト事業など)	一般	H26. 4～H27. 3	156	1,136	1,227	2,363	
校区行事	校区運動会	子ども・一般	H26. 5.18	6	1,000	800	1,800
	年輪の集い	一般	H26.11.15	5	30	33	63
その他	学校支援事業	子ども・一般	H26. 6～H27. 3	265日	5,600	2,500	8,100

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 星原市 2014

子どもの活躍する場を設けることによって、まちづくりの中心に子どもを位置づけ、「子どもは地域の宝」であることを地域が理解し、深める事業として「星原市2014」を実施。小学校・中学校の有志による実行委員会を立ち上げ、企画・運営し、子どもたちのできないところは、まちづくり協議会でフォローするなど地域全体で取り組んだ。特設ステージでのオープニングセレモニーをはじめとして各種体験教室などの多くのコーナーを設け、子どもから高齢者まで参加し、地域の大人とのコミュニケーションの場になっている。実施後には子どもたちによる実行委員会の反省会を持ち、来年度より良いものにするべく話し合いの場を持っている。



#### (イ) 公民館まつり

住民総参加の「公民館まつり」として実施し、特設ステージを野外に設け、公民館利用サークル・団体の発表や参加体験型のコーナーを設けている。また、校区内の保育園、小中学生、諸団体、地域住民からの作品展示等もありPTAや連合自治会による屋台などがあり、一日を通してにぎわいを見せている。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) まちづくり理念の浸透と醸成
- (イ) 先進地研修後の検証

# 中萩公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域力の向上による住民主役の開かれた民主的な公民館運営を目指す ～  
「目指せ!!住み良い町・住みたい町・行ってみたい町日本一の中萩」

- 1 生涯学習・生涯スポーツ活動の推進
- 2 青少年健全育成の推進
- 3 社会福祉活動の推進
- 4 人権・同和教育の推進
- 5 安心・安全な地域づくりの推進

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	学ぶ	中萩・女性セミナー	校区住民	H26. 5.13～H27. 3. 5	29	29   372 (子ども 160)	561
		高齢者セミナー	高齢者	H26. 6. 9～H27. 2. 9	17	224   284 (子ども 81)	589
		伝統文化講座	校区住民	H26. 4. 9～H27. 3.11	26	34   83 (子ども 23)	140
		スポーツ健康教室	校区住民	H26. 7.23～H26. 8. 8	6	54   51 (子ども 6)	111
		食育と子どもの健康	校区住民	H26. 7.26～H26. 8.23	6	4   27 (子ども 31)	62
	活かす	萩っ子生き生き活動	校区住民	H26.11.29	3	30   20 (子ども 116)	166
		十河信二を知り学ぶ活動	校区住民	H26.10. 4～H27. 2.14	4	46   33 (子ども 3)	82
		中萩三世代交流事業	校区住民	H27. 3. 7	2	17   22 (子ども 35)	74
	創る	環境改善事業	校区住民	H26. 5.19～H27. 3.23	10	10   30	40
		コミュニティー再生座談会	校区住民	H26. 9. 8～H27. 2. 3	4	33   22	55
放課後子ども教室推進事業		校区住民	H26. 4～H27. 3	48	51   69 (子ども 689)	809	
校区行事	校区運動会	校区住民	H26. 5.18	7	1,600   900 (子ども 400)	2,900	
	校区文化祭	校区住民	H26.11.16	8	2,400   2,500 (子ども 1,100)	6,000	
	校区芸能祭	校区住民	H26.11. 8	4	30   90 (子ども 3)	123	
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 中萩三世代交流事業

昨年度に引き続き、「中萩三世代交流事業 ～昔の遊び やっちゃお～」を開催しました。紙飛行機づくりや折り紙、お手玉やおはじき、竹馬やけん玉など、昔懐かしい遊びを校区の人たちと一緒に体験しました。また、今年度は三味線体験なども行い、初めて触れる音色に感動していました。



三味線体験



紙飛行機づくり

#### (イ) コミュニティー再生座談会

様々な地域課題を話し合い、解決策を模索する会として実施しました。今年度も、防災について話し合い、災害に備えて私たちができること、しないといけないことを考えました。その中で、先進地研修として、最先端の設備が整っている『姫路防災センター』で3D体験や消火体験、煙体験などを通して防災について学びました。また、最新の無線設備も見学しました。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館の各種事業が、各種団体の積極的な支援と協力により有効に実施することができた。
- (イ) はぎっ子の健全育成について、地域の各種団体との連携を取りながら、なお一層の充実を図りたい。
- (ウ) 地域の人々のニーズや実態を把握し、地域力の向上を図り、より多くの人々の参加を目指して、魅力ある事業を展開する。
- (エ) 開かれた公民館として、地域の人々の誰もが活動し、また誰もがつながっている公民館にしていくことを目指す。

# 船木公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～安全で安心して快適に暮らせるまちづくり～

- 1 学校・家庭・地域の連携強化による青少年の健全育成
- 2 心豊かな福祉のまちづくりの推進
- 3 一人ひとりの学ぶ心を大切にする生涯学習の推進
- 4 人権・同和学习の推進
- 5 地域に根ざした親しまれる公民館づくり

## (2) 実施事業一覧表

	事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数
					男	女	
地域教育力向上プロジェクト推進事業	人権講座	地域住民	H26. 7. 8	2	30	15	45
	健康講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	10	15	47	62
	環境講座	地域住民	H26. 4.21～H26.12.28	10	53	44	97
	伝統文化講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	25	509	780	1,289
	こども講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	17	88	119	207
	趣味講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	23	7	86	93
	池田池ラジオ体操とお池をかこむ会	地域住民	H26. 8. 3 中止	0	0	0	0
	池田池をわたる風とマンドリン	地域住民	H26. 7.19	3	325	425	750
	地域づくり講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	31	347	187	534
	HAPPYクッキング講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	12	6	58	64
ふるさと探訪講座	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.31	20	26	51	77	
公民館GP(防災)	地域住民	H26. 4. 1～H27. 3.16	5	213	72	285	
校区行事	校区住民大運動会	地域住民	H26. 5.19	6	500	500	1,000
	池田池菖蒲まつり	一般	H26. 6. 9	4	1,225	1,425	2,650
	校区夏まつり	地域住民	H26. 8.15	4.5	1,180	1,320	2,500
	長寿大運動会	高齢者	H26	6	253	202	455
	校区文化祭	地域住民	H26.11. 3	6	1,500	1,150	2,650
	公民館大掃除	地域住民	H26.12.21	2.5	92	121	213
	校区成人式	成人者等	H27. 1. 3	4	50	30	80
	校区マラソン駅伝大会	小・中学生	H27. 2. 7	3	100	100	200
	校区徒歩探訪会	小・中学生	H27. 2. 8	4	70	70	140

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 池田池をわたる風とマンドリン



7月19日(土)に3年ぶりに開催された。雨天のため2回連続で中止になっていたのに、出演者も来場者も、とても楽しみにしていた行事だ。

池田池をバックに、オープニングは船木小学校の金管バンド部の元気な演奏会から始まった。この日のために朝練、お昼休み、放課後と熱心に練習をしてきた成果を十分に発揮してくれた。続いて船木中学校音楽部、和太鼓クラブ、大正琴と演奏し、初出場によさこい踊り。南国土佐の情熱を熱く舞い、会場が大いに盛り上がった。最後にメインイベントの新居浜マンドリンクラブの演奏。その頃には会場も暗くなり、会場全体が楽しくもはかなげな独特の音色に聴き入り、マンドリンの音色に酔いしれた。

外の会場では青少年健全育成部のみなさんが、バザーを開設してくれ、うどんやかき氷、フランクフルト等でみんなのおなかを満たしてくれた。

船木の自慢のお池で開催される、自慢の行事である。

#### (イ) 徒歩探訪



～小さな探訪の旅に出かけよう～

公民館を出発し、総勢200人で市民の森へ歩いて行った。みんなでワイワイ楽しくウォーキング。途中、船木の史跡巡りもしながら歩く、毎年開催する人気の行事の一つである。

公民館に帰れば、温かいカレーライスと豪華景品が当たるガラポンお楽しみ抽選会が待っている。

歩きを楽しみにするもよし、食事を楽しみにするもよし、抽選会を楽しみにするもよし。子どもの参加も多く、三世代交流の場でもある。継続的に取り組んでいきたい行事である。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) ふるさとの歴史や文化に触れる機会を設け、愛郷心を育んでいく。
- (イ) 参加者の固定化を解消するためにも、団塊の世代の参加者の推進を図る。
- (ウ) 住民のニーズに合わせ、新しい事業の展開や内容の再検討をしていく。



# 大生院公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域住民が集まり、共に進む公民館 ～

- 1 事業の企画・運営の住民参画を通して、人材の育成・発掘を図る
- 2 自然という地域資源を活かした特色ある事業の推進
- 3 放課後子ども教室推進事業への取組
- 4 自治会各種団体等と連携した安心・安全の地域づくりの推進

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	高齢者いきいきセミナー	高齢者	H26. 6.25～H27. 3.11	12	131	118	249
	くらしのセミナー	校区住民	H26. 3.30～H27. 3. 9	20	16	111	127
	子育て支援セミナー	乳幼児及び保護者	H26. 5.13～H27. 2.10	12	0	42 (子ども31)	73
	スポーツ健康教室	校区住民	H26. 6. 8～H26. 7. 6	6	65	15 (子ども8)	88
	三世代交流事業	校区住民	H26.10.10～H27. 1.17	11	105	120 (子ども174)	399
	うずい教室	小学校児童・保護者	H26.10.11～H27. 3.28	17	8	37 (子ども97)	142
	大野山プロジェクト	校区住民	H26. 5. 5～H26.12. 7	11	405	375 (子ども548)	1,328
	郷土の歴史と文化	校区住民	H26. 4.12～H26.11.29	11	26	48 (子ども36)	110
	自主防災組織の強化	校区住民	H27. 1.28～H27. 3.12	8	96	83 (子ども640)	819
放課後子ども教室推進事業	希望者一般児童・保護者	H26.4～H27.3	27日	68	127 (子ども470)	665	
みどりの少年団	希望者一般児童・保護者	H26.4～H27.3	—	100	100 (子ども500)	700	
公民館GP(小・中学校合同防災訓練など)	校区住民	H26. 4. 1～H27. 3.16	6	164	152 (子ども500)	816	
校区行事	校区文化祭	校区住民	H26.11. 2	—	450	450 (子ども300)	1,200
	町民運動会	校区住民	H26. 5.18	—	300	150 (子ども80)	530
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 東日本大震災のその後を語る（地域自主防災会の強化）



未曾有の大震災から4年という月日  
が経ち、復興に向け日々努力されてい  
る遠藤水華里さんを講師に迎え講演会  
を開催した。

復興の現実や癒されることのない思  
い・多くの人に支えられ生きているこ  
とへの感謝・息の長い復興支援の呼び  
かけ等語っていただいた。

#### (イ) 近藤篤山の孝道を訪ねて（郷土の歴史と文化）



伊予の聖人と尊称される近藤篤山先  
生の足跡を訪ねて、伊予小松の近藤篤  
山邸から大生院公民館までの道程(15  
km)を歩いた。

小松公民館の館長による近藤篤山先  
生について講話を拝聴し、深く学ぶこ  
とができ有意義な日となった。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 公民館活動への住民の参画の促進
- (イ) 次世代を担う人材の発掘と育成
- (ウ) 地域全体で、子どもや青少年の健全育成の充実
- (エ) 自主防災組織の充実と意識の向上

# 角野公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 共に学び・話し・喜び合える地域づくりを目指して～

- 1 思いやる心を育てる生涯学習を推進する地域づくり
- 2 伝統文化の継承と郷土愛を育てる地域づくり
- 3 学社融合で青少年健全育成、安全で安心の地域づくり
- 4 自分達で命を守る防災組織の確立を図る地域づくり
- 5 三世代交流や人と自然の調和、健康で笑顔あふれる地域づくり

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	合同セミナー (三世代交流)	子ども～高齢者	H26. 5.20～H27. 2.13	20	879	950	1,829
	手作りセミナー	一般・女性	H26. 7. 7～H27. 1.27	20	5	136	141
	いき生き生活セミナー	一般・高齢者	H26. 7.30～H27. 2. 6	25	75	98	173
	家庭教育セミナー	一般・児童・生徒・保護者	H26. 8.18～H26.12. 6	18	34	55	89
	伝統文化プラン	一般	H26. 7.20～H26.12.18	5	317	345	662
	未来まちづくりプラン	一般	H26. 5. 1～H27. 2. 3	18	46	127	173
	スポーツ健康教室	一般	H26.11.23	3	25	19	44
公民館 G P (防災マップ作りなど)	一般	H26. 4. 1～H27. 3.16	21	49	42	91	
校区行事	町民大運動会	校区住民	H26. 5. 18	6	875	853	1,728
	すみの夏まつり	校区住民	H26. 7. 20	5	1,101	1,106	2,207
	文化祭	校区住民	H26.11. 9	8	2,000	2,090	4,090
	芸能祭	校区住民	H26.11.22	8	178	208	386
	とうどおくり	校区住民	H27. 1. 18	3	155	145	300
その他	地域清掃	校区住民 一般	H26. 6.29	3	70	78	148

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) 未来まちづくりプラン すみの郷土館

角野公民館では、地域において未来を担う子どもたちのために、郷土の伝統と文化を伝えることを目的として、小学校の教室に昔の生活用具の展示室(生活指導館)を再オープンした。

すみの郷土館実行委員会のメンバーが2人一組で開館日には説明をしている。開館は、毎週金曜日13:00~14:30まで、対象は小学校児童、校区の方々。子どもは珍しい昔の器具、道具に触れ、昔を知り、地域のみなさんは昔懐かしい道具類に触れる事で、昔の生活に思いを馳せ、歴史の勉強を兼ねた活動及び交流を深めている。校区の歴史を知り、自分が住んでいる地域の理解を深め、郷土を愛する心を育むことにつながっている。



#### (イ) 角野ウォークラリー

参加者が、校区の人々と一緒に楽しく産業遺産を巡りながら、ゲームやクイズに挑戦することで、地域社会との交流を深め、歴史を知る事を目的とする。自治会、各種団体との連携で事業を進めている。コースを、毎年変えることで、コース上の地域を知る事につながり、単位自治会との連携やつながりが深まる。総勢300名余りの人気事業の一つ。



### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 地域住民が中心となって活動できるような魅力のある学習内容を取り入れ、意欲を高める。
- (イ) 次世代を担う人材の発掘と育成に努める。
- (ウ) 各種団体等を中心に地域の連携をより一層深め、防災意識を高める。
- (エ) 地域課題を解決し、今後の地域づくりにつなげる。

# 別子山公民館

## (1) 平成26年度の公民館活動の概要（重点事業）

～ 地域づくりの拠点として、暖かく温もりのある公民館を目指して～

- 1 学校・地域との連携を図り、地域活性化につなげる
- 2 伝統文化の継承と郷土愛の醸成を図る
- 3 人権・同和教育の推進
- 4 青少年の健全育成を図る
- 5 世代間交流の充実強化

## (2) 実施事業一覧表

事業名	対象	実施期間(実施年月日)	時間数	学級生数		延べ参加者数	
				男	女		
地域教育力向上プロジェクト推進事業	まちづくり支援事業	校区住民	H26. 4. 6～H27. 1. 24	15	44	5	49
	ふれあい体験学習	校区住民	H26.12.21	6	12	12	24
	いきいきまちづくり	校区住民	H26. 9. 7	15	65	41	106
校区行事	産業文化祭	校区住民	H26.11. 9	9	200	200	400
その他							

### (3) 特色ある事業紹介

#### (ア) まちづくり支援（国際雪合戦四国大会参戦）



地域内で実施予定の雪合戦大会開催に向けて、地元の対応や競技の運営、さらに審判力の向上をめざし大会に参加した。

本大会への参加によって、地元の皆さんの大会にかける熱い思いを知ることで、地元での開催に向けて意識の向上を図ることにつながった。

#### (イ) いきいきまちづくり・ふれあい体験学習



校区秋季大運動会



独居高齢者配付用餅つき

別子校区では、以前から学校の児童生徒数の減少により、地域自治会と学校が協働し校区運動会として開催している。

住民総ぐるみでの開催によって、競技を通し地域の和を形成することにつながっている。

また、地域内の独居高齢者を対象に、少しでも豊かで、思いのこもった日々を過ごしていただくためお餅つきを行い、配布した。

お餅つきでは、地域の皆さんに、子供たちも加わり目的達成におおいに貢献してくれている。

### (4) 平成26年度事業の反省及び今後の課題

- (ア) 溢れる自然という地域素材を利活用した、体験型学習の推進を図る。
- (イ) 地域住民の生涯学習の推進を図り、人材育成につなげる。
- (ウ) 地域づくりの拠点として、地域課題を検討し、今後の地域発展につなげる。
- (エ) 地域の連携を一層深める。

# 青少年センターの主な施策と実績

## 1 運営協議会

青少年センターの運営に必要な運営方針、重点目標、業務計画、少年補導委員の推薦、青少年の善行表彰の審議等について協議している。

協議会の開催状況（平成26年度）

第1回 平成26年5月22日(木)

第2回 平成26年7月22日(火)

第3回 平成27年2月13日(金)

## 2 街頭補導

街頭補導は、少年補導委員を中心に活動場所を選んで効果をねらうとともに、計画的・組織的に問題少年、非行少年の早期発見、早期補導を基本に取り組んでいる。

### (1) 実施の状況（平成26年度）

街頭補導回数	従事補導委員延人数	補導した少年延人数
611回	2,825人	200人

### (2) 行為別内容（指導・声かけ）（平成26年度）

（単位：人）

区分	児童生徒	その他	計
飲 酒 喫 煙 怠 学 ・ 怠 業 盛 り 場 徘徊 夜 遊 び 暴 走 行 為 ゲ ー ム セ ン タ ー 無 灯 火 ・ 重 乗 等 声 かけ（帰 宅 指 導 等） そ の 他	7     20 37 116 9	1       10	8     20 37 126 9
計	189	11	200

## 3 相談活動

国際化、少子化、高齢化、情報化などが進む今日、青少年を取り巻く社会環境も変化し、また、青少年自身の価値観、意識、行動も変容している。

このような社会の中で、保護者をはじめ、学校関係者、地域住民、関係機関等が連携を密にし青少年の健全育成に取り組んでいるが、いじめや非行などが減少しない傾向にある。

この問題解決には、子どもたちの人間性を豊かにし、たくましく生きる力を育成することが必要である。

子どもの非行、いじめなどで悩みをもっている家庭、関係者、青少年自身からも相談を受け、問題の早期解決、予防、生活習慣の改善策等について話し合っ支援をし、必要な場合は関係諸機関に連絡し、相談、助言、指導を行っている。

ア 相談の日 毎週月曜日～金曜日 8:30～17:15（祝日・年末年始の休日を除く）

イ 相談の方法 来所相談・電話相談・招致相談

ウ 平成26年度少年相談の状況

項目	来所相談	電話相談	招致相談	合計
相談件数	2	16	0	18

○相談対象者

学 識	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	合 計
相談件数	2	4	10	2	18

○相談内容

相談内容	ぐ 犯 ・ 不 良 行 為	触 刑 罰 法 令 に	そ の 他	合 計
相談件数	1	0	17	18

4 関係機関・団体との連絡連携

家庭、学校、警察、大型店、関係機関、団体等との連携により問題少年、非行集団少年等の早期発見、早期補導に努めた。

関係機関や団体が催す青少年健全育成、非行防止等の研修会、連絡会等に積極的に参加し、情報の収集、情報交換等に努めた。

5 青少年善行表彰

青少年の資質の向上を目的に日常生活や行動において善行著しい者について、運営協議会の決定に基づいて学校に出向いて表彰を伝達した。

【善行表彰受賞者（平成26年度）】

中学生 9名 高校生 5名 高校 1団体

6 青少年健全育成の活動状況

新居浜市では、7月1日～7月31日の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月1日～11月30日の「子ども・若者育成支援強調月間」を重点に、青少年健全育成のための活動を展開している。

ア 青少年健全育成に関する啓発資料の作成と配布

広報紙による啓発と未成年者の飲酒・喫煙防止、不健全図書等販売店への協力依頼のための啓発。

イ 青少年健全育成に関する標語

各小・中・高校へ標語を募集し、審査の後、表彰した。

最優秀（3点）、優秀（5点）、佳作（12点）作品は、広報誌に掲載及び強調月間中、ポスターを作成し、小・中・高校、公民館、市役所等に掲示し、啓発に努めた。

〈最優秀作品〉

いえるかな あいさつ ごめんね ありがとう	金子小 1年	高岡 咲良
「いけない」と 自分の心の 声聞いて	西中 3年	橋川 ナイル
いつ変わる？ 最初の一歩は 自分から	東高 3年	加藤 あゆみ

〈優秀作品〉

心から 心へつなぐ やさしい気もち	高津小 3年	山中 望歩
あいさつで つながる広がる 笑顔の輪	神郷小 4年	石川 瀬奈
明日また 笑顔でおはよう 言える町	高津小 6年	田鍋 春花
その行動 誰かがどこかで 見ているよ	川東中 2年	廣瀬 礼加
引きとめる 最後はやっぱり 友の声	西高 3年	青木 一希



# 生涯学習センターの主な施策と実績

## 1 生涯学習センター事業報告

生涯学習センターでは、従来の社会教育事業を継続するとともに、市民の高度化、多様化した学習ニーズに対応した生涯学習大学を開設し、学習機会の提供の充実を図った。また、生涯学習情報の提供、市民の生涯学習への自主的な参画(生涯学習推進員・大学運営スタッフ)に努めた。

## 2 生涯学習大学の開設

市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設している。

### (ア) 生涯学習大学講座内容

(平成26年度)

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H26. 5.10～H26.11.22	8	16	22	60	481
松山大学公開講座	市民	H26. 5.17～H26.12. 9	8	16	27	23	243
新居浜高専市民講座	市民	H26. 5.24～H26.11.22	8	16	47	13	369
科学博物館講座	市民	H26. 5.14～H26.11.19	8	16	33	17	342
遍路学事始め	市民	H26. 5.27～H26.10.28	5	10	49	24	303
ふるさと学	市民	H26. 6.11～H26.11.12	4	8	23	11	107
住友の始まりと別子銅山	市民	H26. 6.27～H26.10.24	4	8	52	26	256
新居浜おとな塾	市民	H26.10. 3～H26.11.20	5	10	9	4	47
自然探訪	市民	H26. 5.13～H26.11. 4	5	10	21	22	176
地域参加で健康づくり	市民	H26. 5.26～H26.11. 8	17	34	5	16	702
十代が語ります！	市民	H26. 7.28～H26. 8.29	5	10	7	7	51
わくわくシニアライフ	市民	H26. 5.23～H26.11.28	8	16	16	34	295
新居浜環境講座	市民	H26. 5.17～H26.10.11	4	8	10	5	45
食が育てる心とからだ	市民	H26. 6.17～H26.11.18	4	8	5	20	93
四季の草木染	市民	H26. 5. 9～H26.11.21	5	10	0	20	91
身近な国際交流	市民	H26. 5.15～H26.11. 8	5	10	10	24	125
楽しく始める英会話	市民	H26. 5.15～H26. 7. 3	8	12	10	19	205
懐かしの心の唄講座	市民	H26. 6. 4～H26.10.22	8	16	28	149	1,156
健康アラカルト	市民	H26. 5.15～H26.11.13	7	14	7	41	259
悠遊ワーカー講座	市民	H26. 7. 7～H26. 9.11	2	5	5	1	12
にいはま若者塾	市民	H26. 8. 1～H26. 8. 8	4	8	9	26	140
出前講座・こども広場	市民	H26. 7. 2～H26. 7.29	3	6	9	16	74
雑談しま専科	市民	H26. 6. 4～H27. 3. 4	10	20	13	23	260
チケット受講生	市民				延べ(192)	延べ(181)	373
修業のつどい	市民	H27. 1.24	1	3			534
計			146	290	417	601	6,739

### (イ) 講演会

行事名	実施年月日	事業の内容	参加者数
平成26年度 「修業のつどい」講演会	平成27年1月24日(土)	講師 浅野幸江 (ギャラリーしろかわ前館長) 演題 人生おもしろうてやめられん (ウイメンズプラザ3階多目的ホール)	324人

# 高齢者生きがい創造学園の主な施策と実績

## 高齢者生きがい創造学園事業報告

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進をした。

(ア) 生きがい創造学園講座内容

(平成26年度)

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
1 高齢者社会を賢く生きる	H26. 6. 3～H26.11.18	8	16	26	60	532
2 郷土を歩く	H26. 5.15～H26.11. 6	6	36	21	21	201
3 男の料理教室	H26. 5.14～H27. 2.18	8	24	25	0	166
4 趣味の料理教室	H26. 5. 9～H27. 2.13	8	24	9	14	177
5 家庭菜園教室	H26. 5.20～H26.12.16	8	16	16	15	221
6 川柳教室	H26. 5. 9～H27. 2.13	10	20	8	7	123
7 生け花教室	H26. 5.23～H27. 2.27	8	16	1	18	116
8 書道教室	H26. 5. 7～H27. 2.18	16	32	7	23	387
9 絵手紙教室	H26. 5.13～H27. 3. 3	16	32	4	23	353
10 写真教室	H26. 5. 8～H27. 2.12	9	18	11	12	155
11 陶芸教室	H26. 5.14～H27. 2.18	8	16	8	12	157
12 コーラス教室	H26. 5.12～H27. 3. 9	16	32	8	30	468
13 四季の組み木教室	H26. 5. 8～H27. 2.12	10	20	6	9	127
14 ピアノ教室	H26. 5.14～H27. 3.11	16	32	2	11	180
15 グラウンドゴルフ教室	H26. 5.19～H26.11.10	10	20	15	20	302
16 ラージボール卓球教室	H26. 5.12～H26.12. 8	10	20	7	20	239
17 3B体操教室	H26. 5. 9～H27. 2.13	10	20	7	33	294
計		177	394	181	328	4,198

(イ) サークル活動等

### 【サークル活動】

講座終了者が、グラウンドゴルフサークルをはじめとする53サークルで自主的で幅広い活動をしている。

年間延回数 1,383回 男 10,928人 女 21,714人 計 32,642人

### 【代表者会】

- 目的 学園の事業に積極的に参加し、その健全な発展を図ることを目的とする。
- 構成 学園の各講座、サークルの受講者の互選により選出された代表者で構成される。
- 組織 総務委員会・広報委員会・体育委員会・図書委員会で構成される。
- 行事 学園祭・グラウンドゴルフ大会・研修会等

## 学校教育課の主な施策と実績

平成26年度の重点目標を「基礎的・基本的な事項の確実な定着を図り、「生きる力」の基となる、確かな学力と豊かな心、健やかな体の育成を目指し、家庭や地域社会との連携を深めながら、個性を生かす特色ある学校教育の充実に努める。また、安全管理の徹底を図り、健やかな学習環境の整備に努める。」として、前年度の反省を活かし、調和のとれた教育課程の編成と実施に努めた。また、地域に根ざした開かれた学校経営に努めるとともに、創意を生かした特色ある学校づくりを目指し、その改善・充実に努めた。

### 特色ある学校づくり

学校は地域の誇りであり、選ばれる立場にあるということを認識し、学校教育の画一性・受け身体質を克服し、各学校がそれぞれの実情に応じ、自主的・自律的に創意・工夫を凝らした教育の展開を図る。

〈重点実施項目・内容〉

◎「持続発展教育(E S D)支援事業」を推進する。

小学校

学校名	事業名
新居浜小学校	ビオトープを通して地球環境を考えよう
宮西小学校	地域とつながり 未来へはばたく みやにし(人・自然・文化)
金子小学校	人とつながり自然と触れ合う魅力ある学校づくり
金栄小学校	金栄いきいきつながりプロジェクト ～地域の方との交流活動を通して～
高津小学校	ふるさと発見
浮島小学校	共に生きる
惣開小学校	日本再発見 ～惣開大好き・新居浜大好き・日本大好き～
若宮小学校	自己を拓き 広げよう ともに生きる力
垣生小学校	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれあいを通して ～命の尊さとともに生きることの素晴らしさを感じられる子～
神郷小学校	めざそう 神郷 E環境
多喜浜小学校	多喜浜塩田を未来に伝えよう
泉川小学校	進めよう！エコ・アクション ～地球環境を守るために、明るい展望をもって気づき、考え、実行する児童の育成～
船木小学校	「ふれあい ～ふるさと船木の森・自然・人～」
中萩小学校	伝えよう！地域のよさを
大生院小学校	「つながり」を大切にする子どもの育成 ～人・地域社会・自然とのかかわりを通して～
角野小学校	角野小学校タイムトラベル

## 中学校

学校名	事業名
東中学校	「うぐいす運動」
西中学校	「私たちと別子銅山」 ～地域を知り、人とつながり、未来を拓こう～
南中学校	地域と連携した環境美化活動
北中学校	『地域を知り、地域に学び、地域に発信する』
泉川中学校	アイロードを美しく！
船木中学校	環境・経済・人権の視点から、持続可能な発展を目指し、私たちはどのように生き抜けばよいのか考えよう。
中萩中学校	「自立・共存・交流」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
大生院中学校	伝え合い学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然とのかかわりを通して～
角野中学校	おとなになっても語ろう！角野の誇り
川東中学校	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる

## 生徒指導

不登校対策に校長を中心に全教職員が一致協力して取り組み、全力を尽してその防止・解決に努めた。不登校対策検討委員会や関係機関との連携を図り、実態に即した活動を実施した。

昨年度に引き続き本年度も、教育委員会、各学校及び青少年の健全育成団体との連携を図るため、「児童生徒をまもり育てる協議会」を中学校区別に実施した。

各学校と「あすなろ教室」との連携を深め、進路相談会や研修会を実施した。

## 人権・同和教育

校区別人権・同和教育懇談会開催事業として、基礎研修、学級・学年別研修及び地区別懇談会の三本立で実施した。地区別懇談会は、中学校区ごとに運営委員会を開催して取り組み、小・中学校、保護者、行政、地域住民が協力する取組が定着してきた。

## 国際・情報化

3名のALTと英語指導員(3名)を小・中学校に派遣することにより、生きた英語教育の充実を図ることができた。また、市内全小・中学校がホームページを開設し、広く情報公開に努めている。

## 1 教職員研修の推進

研修内容の3本柱として、「特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実」「人権・同和教育の充実」「生徒指導の徹底」を挙げ、次のとおり研修に努めた。

### (1) 重点目標

豊かな人間性や生きる力の育成

### (2) 最重要課題

E S Dの推進による楽しい学校づくり

### (3) 研修の内容

#### ① 特色ある学校づくりの推進と学習指導の充実

ア 基礎的・基本的事項を確実に身につけ、個性を生かす学習指導の充実と評価方法の確立に努める。

イ 児童生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。

ウ 豊かな体験を通して、道徳的実践力の育成と情操教育の充実を図る。

エ 学校図書館や教育機器(コンピュータ等)の活用による指導法の改善に努める。

オ 体験的・問題解決的な学習を重視し、チームティーチングや少人数による授業の実施等、多様な学習指導の工夫に努める。

カ 授業研究、事例研究等の研究を通して、「生きる力」を育てる実践的指導力の向上を図る。

#### ② 人権・同和教育の充実

ア 相互に認め合い、戒め合い、支え合う仲間意識を育て、いじめ等を生まない集団づくりに努める。

イ 家庭・地域・学校の連携をより深め、人権思想の啓発と高揚を図る。

ウ 困難な条件のもとにある児童生徒の教育条件を整備し、学力の向上と進路保障の体制を整える。

エ 差別の現実を正しくとらえ、差別を解消する視点を明確にし、問題解決への実践力を身につける  
同和问题学習の推進に努める。

オ 小・中学校の連携を図りながら、教職員一人一人の同和教育観の確立と同和问题解決の力量を高める。

#### ③ 生徒指導の徹底

ア いじめ・不登校・非行の問題について、校長を中心に全教職員が一致協力し、全力を尽くしてその防止・解決に努める。

イ 学習指導と生徒指導の一体化を図り、一人一人のよさを認め、可能性を伸ばすよう指導の改善に努める。

ウ 教職員と児童生徒、保護者との信頼関係を確立し、積極的な生徒指導に努める。

エ 児童生徒や保護者に対する教育相談を充実し、温かい人間関係のなかで、児童生徒理解に努める。

オ 学校と家庭・地域社会・関係諸機関等との連携を密にし、協力体制の一層の充実を図る。

### (4) 研修の日程と協議内容

#### ア 小・中学校長研修会

4月10日 新居浜市教育委員会 平成26年度基本方針の説明

平成26年度 校長研修会計画

11月17日「人権・同和教育の推進者として、どのようにリーダーシップを発揮すればよいか」

講師 瀬戸会館館長 高津 章人 氏

演題 愛媛県人権・同和教育研究大会の事前報告とまちづくりについて

2月25日「学校経営の反省と今後の教育に望むこと」

#### イ 小・中学校教頭研修会

5月26日 「持続発展教育(ESD)の推進による楽しい学校づくり」の推進のために、教頭としてどのようにとらえ、どのように取り組んでいくか。

8月28日 「持続発展教育(ESD)の推進による楽しい学校づくり」を進めるなか、自己の取組をどう分析・評価し、どのように改善しようとしているか。

#### ウ 小・中学校教務主任研修会

5月16日 「E S Dの推進を通して、生きる力を育むために、教務主任として教育活動の工夫にどう取り組んでいくか」

8月21日 「新居浜市標準学力調査や全国学力学習状況等の結果を活用し、自校の学力向上に向けて教務主任としてどのように取り組んでいるか」

- エ 小・中学校生徒指導主事研修会（連絡協議会）  
 4月23日「いじめ・不登校の未然防止のために、各校においてどのような工夫、努力をしようとしているか」  
 8月26日「いじめへの対応について」  
 2月5日「インターネットの安心・安全な利用のために」
- オ 交通安全指導担当者研修会  
 4月15日「小・中学生の交通事故の実態とその対策について」
- カ 人権・同和教育主任研修会  
 4月28日 5月23日 7月28日 8月20日 1月19日 2月17日  
 平成26年度人権・同和教育の推進について  
 ・校区別人権・同和教育懇談会の取組について  
 ・地区別人権・同和教育研究協議会の取組について  
 ・新居浜市小中学校人権・同和教育研究大会の取組について  
 ・人権作文の取組について  
 ・共通教材について  
 ・平成26年度の人権・同和教育の推進の反省と今後の課題について
- キ 教科研研修会・中学校区別研修会  
 6月13日(金) 小学校教科研研修会において授業研究を行った。  
 6月17日(火) 中学校教科研研修会において授業研究を行った。  
 2学期 各中学校区別に小中の連携・小小の連携に重点をおき教科外の授業研究を行った。
- ク 新居浜市小・中学校人権・同和教育研究大会の開催  
 平成26年11月20日(木)  
 小・中学校同日開催とし、小・中の交流を深めた。  
**【研究主題】** 「差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか」
- |     |      |    |        |        |
|-----|------|----|--------|--------|
| 小学校 | 〔会場〕 | A群 | 若宮小学校  | 金栄小学校  |
|     |      | B群 | 船木小学校  |        |
|     |      | C群 | 多喜浜小学校 | 新居浜小学校 |
| 中学校 | 〔会場〕 | A群 | 東中学校   |        |
|     |      | B群 | 泉川中学校  | 大生院中学校 |

## 2 教育研究所の歩み

20期の2年次として、確かな学力を育むための実践とふるさと学習の研究に努めた。基礎・基本の定着を図り、わかる授業の徹底と家庭学習の充実により、学力の向上を図る実践研究とふるさと学習の調査研究を行った。

教育研究所員については、20期において次の体制のもとに実践研究を行った。

- ① 新居浜市学力向上推進委員と研修主任とする。
- ② 原則1年とし再任を妨げない。
- ③ 20期教育研究所の期間は、平成25年4月～27年3月(2年間)とする。

研究成果を、冊子にまとめ、研究成果の共有を図った。

### 【主な活動】

- 4/18 (金) 第1回 新居浜市学力向上推進委員会
- 5/13 (火) 第1回 新居浜市学力向上推進委員会実践活動部会
- 5/22 (木) 第1回 社会科副読本編集委員会
- 8/ 4 (月) 第2回 社会科副読本編集委員会
- 1/27 (火) 第3回 社会科副読本編集委員会
- 2/23 (月) 第2回 新居浜市学力向上推進委員会

## 3 適応指導教室(あすなる教室)の歩み

不登校児童・生徒の数が全国的にも、また新居浜市においても増加の傾向にあることから、平成5年9

月に青少年センターが旧図書館の一階に移転したのを機会に、同年10月から青少年センター内に「適応指導教室」を設置した。当初は、中学校生徒の受入れのみで始まったが、学校教育課所管になった平成10年度から、児童の受入れも開始した。

〔入級児童・生徒数〕

年 度	人 数 (名)	備 考
平成 17 年度	23	うち 児童 3 名
平成 18 年度	23	うち 児童 0 名
平成 19 年度	34	うち 児童 4 名
平成 20 年度	16	うち 児童 2 名
平成 21 年度	23	うち 児童 4 名
平成 22 年度	20	うち 児童 5 名
平成 23 年度	19	うち 児童 2 名
平成 24 年度	15	うち 児童 2 名
平成 25 年度	19	うち 児童 5 名
平成 26 年度	22	うち 児童 2 名

#### 4 教育における国際化への対応

##### (1) ALT(外国語指導助手)による訪問指導

新居浜市では、総務省・文部科学省及び外務省の協力で行っている「JETプログラム」(語学指導を行う外国青年招致事業)の事業目的に則りALT(外国語指導助手)として、3名を招致した。

##### ア 趣 旨

各中学校の英語担当教員及び生徒に、ALTによる生きた英語に接する機会を提供し、本市の英語教育の充実発展を図り、合わせて国際理解教育推進の一助とする。

##### イ 訪問期間

平成26年4月(1学期初め)～平成27年3月(3学期末)

##### ウ 訪問(派遣)方法

訪問日は、月曜日から金曜日までとする。中学校への訪問期間は原則として、1週間を単位とし、市内12中学校を2名が順次指導訪問する。また、市内17小学校を1名が順次指導訪問する。

##### エ ALTの職務

- (ア) 英語教師の授業補助(チームティーチング)
- (イ) 英語担当の教員の研修(現職教育)
- (ウ) 教材作成の援助
- (エ) その他、学校長に指示された職務

##### オ 成 果

「ALTとのふれあいや授業を通して、発音やスピーチ能力が高まり、英語に関心をもつ児童生徒が増えた。」あるいは、「自分の英語力を試そうとする生徒が増え、コミュニケーション能力が育ってきている。」等の学校からの報告がある。このようなALTとのチームティーチングによる授業を通して生きた本場の英語を体験させ、学ぶ楽しさと国際理解を深めることができた。

##### (2) 第25回新居浜市中学生英語スピーチコンテストの開催

英語によるコミュニケーションや表現に興味を持たせ、国際化社会に対応できる生徒を育成することをねらいに、新居浜市中学生英語スピーチコンテストが、市内英語教科会の協力のもとで開催された。

ア 主 催 新居浜市教育委員会 新居浜ライオンズクラブ

イ 日 時 平成26年9月22日(月) 14:00～16:20

ウ 会 場 新居浜市市民文化センター 中ホール

エ 弁 士 10名

オ 題 材 自由(5分以内)

##### (3) 小学校英語指導員による訪問指導

英語指導員が市内の全小学校を訪問指導し、外国語活動や総合的な学習の時間などを活用して、小学生の英語活動や英会話学習、国際理解教育の指導に当たっている。

## 5 中学生による国際交流事業

### (1) 趣 旨

21世紀を担う中学生が国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解して、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的視野の拡大を図り、国際感覚を磨き、さらには本市の活性化に通じる諸活動を推進するため、昭和61年度から中高生を中心に海外派遣研修事業を実施している。なお、新居浜市国際交流推進委員会の審議を経て、平成19年度からは中学生海外派遣事業としてアメリカ合衆国フランクリン市へ中学生を派遣することになった。

### (2) 実施状況

年度	区分	訪問国(都市)	名 称	日 程	訪 問 者
61		中国 (泰安・済南・ 德州)	日中友好の翼 ニイハマ訪中団	7/23～7/31	市長、教育委員、 市議会議員、教師等 11人 中高生 20人
62		東南アジア (シンガポール・ バンコク)	東南アジア 友好のかけ橋 '87団	7/23～7/29	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 25人
63		韓国	'88日韓友好団	8/1～8/8	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 30人
元		アメリカ (ロサンゼルス)	太平洋横断 夢の使節 '89団	7/30～8/8	団長(助役) 教師等 6人 中高生 30人
2		オーストラリア (シドニー・ メルボルン)	Hello, Australia 希望とふれあい '90	7/26～8/3	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 30人
3		オーストラリア (シドニー・ メルボルン)	Friendship with Australians 青春・発見・感動 '91	7/25～8/1	団長(教育委員長) 教師等 8人 中高生 30人
4		オーストラリア (シドニー・ メルボルン)	Good day with Aussie '92	7/27～8/3	団長(収入役) 教師等 8人 中高生 30人
5		オーストラリア (シドニー・ メルボルン)	A good will mission to Australia '93	7/29～8/5	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
6		オーストラリア (シドニー・ メルボルン)	Jump into the life of Australia '94	7/28～8/4	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
7		オーストラリア (シドニー・ メルボルン)	Let's make wonderful friendships in Australia '95	7/26～8/3	団長(助役) 教師等 6人 中高生 25人
8		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Let's go to Australia to find the same smiles! '96 — 同じ笑顔を探して —	7/29～8/6	団長(教育委員長) 教師等 7人 中高生 25人
9		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Making new friends in the land of the Southern Cross — 南十字星の下で 友情を誓って —	7/28～8/5	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
10		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Put our Hearts Together into One — 深いきずなをこの一時で —	7/27～8/4	団長(市長) 教師等 6人 中高生 25人
11		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	In Australia, Let's Shine Together! 1999 ☆ — みんな輝いて —	7/26～8/3	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人



年度	区分	訪問国(都市)	名 称	日 程	訪 問 者
12		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Spread Your Wings. Let's Go To A New Age — 翔け 未来へ —	7/26 ~ 8/3	団長(教育委員長) 教師等 5人 中高生 25人
13		オーストラリア (シドニー・ キャンベラ)	Building Bridges. Let's Make Borderless Countres. — 国境をこえて… —	7/26 ~ 8/3	団長(教育委員) 教師等 5人 中高生 25人
14		韓国(ソウル)	韓国訪問団友好新風	8/21 ~ 8/25	団長(教育長) 教師等 6人 中高生 45人
15		中 止			
16		韓国(ソウル)	「日韓友好輝団'04」 — 輝く自分を見つけて —	8/9 ~ 8/13	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 45人
17		韓国(ソウル)	「日韓栄光親善団'05」 — 全ての隔たりを越えて —	8/8 ~ 8/12	団長(教育委員長) 教師等 6人 中高生 45人
18		韓国(ソウル)	「日韓新世代交流団'06」 — 未来へ生かすこの時を —	8/1 ~ 8/6	団長(中学校長会長) 教師等 6人 中高生 41人
19		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Dream Chaser 2007 — 笑顔は世界の共通語 —	10/31 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 20人
20		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Let's Make Friends 2008 — 国境を越えた仲間づくり —	10/28 ~ 11/7	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 20人
21		中 止			
22		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendship Link 2010 — 世界はひとつ 友情の輪 —	10/30 ~ 11/9	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 19人
23		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Imagine What We Can Do Together — みんな友達 —	10/29 ~ 11/8	団長 教育長 教師等 2人 中学生 19人
24		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	The Bonds of Friendship Link the World — 絆が世界を結ぶ —	10/27 ~ 11/6	代表 指導主幹 教師等 2人 中学生 21人
25		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Friendships Without Borders — 国境のない友情 —	10/26 ~ 11/5	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 18人
26		アメリカ合衆国 ウィスコンシン州 (フランクリン市)	Smile Link connect the world 2014 — 世界を繋ぐ愛顔の輪 —	10/25 ~ 11/4	団長 教育委員 指導主幹 教師 中学生 20人

## 6 奨学金等

### (1) 新居浜市入学準備金貸付制度

#### 【貸付け対象及び資格】

高等学校又は高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 本市に住所を有し、引き続き2年以上居住している者
- イ 高等学校又は高等専門学校への入学が確実である者の保護者

【基金の額】

350万円

【貸付け金額】

50,000円

【返還方法】

貸付金を貸し付けた月から起算して5月据え置き31月以内に無利子で月賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年 度	貸付者(人)	貸 付 額	年 度	貸付者(人)	貸 付 額
17	0	0	22	1	50,000
18	0	0	23	1	50,000
19	1	50,000	24	3	150,000
20	1	50,000	25	4	200,000
21	2	100,000	26	2	100,000

(2) 新居浜市奨学資金貸付制度

【貸付け対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学又は専修学校(専門課程)に在学し、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で性行の善良な者
- イ 身体が健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

1億3,400万円

【貸付け金額】

- ア 高等学校の生徒 …………… 卒業まで毎月8,000円
- イ 高等専門学校の学生 …………… 1年から3年まで毎月10,000円  
4年から5年まで毎月18,000円
- ウ 大学(短期大学を含む。)の学生  
又は専修学校(専門課程)の生徒 …… 毎月26,000円

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け状況】

(単位：円)

年度	高 等 学 校		高 等 専 門 学 校		大 学		計	
	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額	貸付者(人)	貸付額
17	1	96,000	0	0	25	7,800,000	26	7,896,000
18	1	96,000	0	0	20	6,240,000	21	6,336,000
19	2	192,000	0	0	17	5,304,000	19	5,496,000
20	1	96,000	0	0	11	3,432,000	12	3,528,000
21	4	384,000	1	216,000	11	3,432,000	16	4,032,000
22	4	384,000	1	120,000	10	3,120,000	15	3,624,000
23	5	480,000	1	120,000	12	3,744,000	18	4,344,000
24	5	480,000	1	216,000	15	4,914,000	21	5,610,000
25	5	480,000	2	336,000	11	3,432,000	18	4,248,000
26	3	216,000	1	120,000	18	5,616,000	22	5,952,000

(3) 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学(修業年限4年以上)へ入学した者で、その学資の支弁が困難であり、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で性行が善良な者
- イ 身体が健康な者
- ウ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【基金の額】

7,000万円

【貸付け・給付金額】

4年間で限度として毎月32,000円(うち16,000円は貸付金、16,000円は給付金とする。)

※平成5年度以前決定した者については、毎月20,000円(うち10,000円は貸付金、10,000円は給付金)

【返還方法】

卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦による返還

【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大 学		備 考	
		貸付者(人)	貸付額		
17		4	1,536,000	うち給付金	768,000
18		4	1,536,000	うち給付金	768,000
19		4	1,536,000	うち給付金	768,000
20		4	1,536,000	うち給付金	768,000
21		4	1,536,000	うち給付金	768,000
22		4	1,536,000	うち給付金	768,000
23		4	1,536,000	うち給付金	768,000
24		4	1,536,000	うち給付金	768,000
25		4	1,536,000	うち給付金	768,000
26		4	1,536,000	うち給付金	768,000

(4) 新居浜市特別奨学資金貸付制度

【貸付け・給付対象及び資格】

3年以上本市に在住する者の子弟であって、大学院(修士課程・博士課程)に在学するもの又は海外の大学に在学するもので、次の各号に該当するもの

- ア 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者
- イ 留学生は、高等学校卒業者で30歳未満の者
- ウ 学資が乏しく修学困難な者
- エ 身体が健康な者
- オ 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付又は貸与を受けていない者

【貸付け・給付金額】

修士課程及び留学生は2年間、それ以外は5年間で限度として毎月30,000円(うち20,000円は貸付金、10,000円は給付金とする。)

【返還方法】

卒業後満1年後から10年間以内に無利子で半年賦又は年賦による返還

## 【貸付け・給付状況】

(単位：円)

年度	区分	大学院・留学生		備 考
		貸付者(人)	貸付額	
17		1	360,000	うち給付金 120,000
18		3	1,080,000	うち給付金 360,000
19		1	360,000	うち給付金 120,000
20		0	0	うち給付金 0
21		2	720,000	うち給付金 240,000
22		3	1,080,000	うち給付金 360,000
23		1	360,000	うち給付金 120,000
24		2	660,000	うち給付金 220,000
25		4	1,320,000	うち給付金 440,000
26		3	1,080,000	うち給付金 360,000

## 7 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

## 【設 置】

故 寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業の経費に充てるため、平成元年度に設置した。

## 【基金の額】

現金 1,000万円

## 【学校音楽教育振興資金】

学校音楽教育振興資金は、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽振興会に補助する。

ア 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業

イ 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰

ウ その他新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業で教育委員会が承認する事業

## 【運用収益の処理】

基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上して、学校音楽教育振興資金に充てるものとする。

教職員の研修に関する事業

音楽指導者講習会 平成26年8月12日(火) ウイメンズプラザ

## 8 新居浜市工藤交通災害遺児修学基金

## 【設 置】

故 工藤圓治氏の寄附金により、交通災害遺児に対する修学援助を図ることを目的として平成5年度に設置した。

## 【基金の額】

1,000万円

## 【修学援助】

交通災害遺児（義務教育就学中の児童及び生徒）に対し、図書券又は文具券を支給

## 【支給状況】

(単位：人)

区分 年度	小 学 校			中 学 校			計
	対 象 者	図 書 券	文 具 券	対 象 者	図 書 券	文 具 券	
22	1	1	0	5	4	1	6人 18,000円
23	0	0	0	6	6	0	6人 18,000円
24	1	1	0	4	4	0	5人 15,000円
25	1	1	0	2	2	0	3人 9,000円
26	1	1	0	1	1	0	2人 6,000円

## 9 就学援助制度

## 【趣 旨】

学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助を行う。

## 【援助の対象】

新居浜市に住所を有し、小学校又は中学校に在学する児童生徒の保護者で生活保護法第6条第2項に規定する要保護者及び要保護者に準ずる程度に困窮している者

## 【就学援助の種類】

学校給食費、通学費、修学旅行費、校外活動費(宿泊を伴わないもの)、校外活動費(宿泊を伴うもの)、学用品購入費、新入学児童・生徒学用品費等、通学用品購入費

## 【就学援助の状況】

(単位：円)

区分 年度	小 学 校		中 学 校		計	
	対 象 者	援 助 金	対 象 者	援 助 金	対 象 者	援 助 金
17	476	27,028,561	219	17,453,354	695	44,481,915
18	541	30,263,504	236	20,125,180	777	50,388,684
19	528	29,736,266	272	21,867,494	800	51,603,760
20	550	31,268,587	284	23,944,412	834	55,212,999
21	568	32,112,257	297	23,958,257	865	56,070,514
22	549	32,913,315	320	27,268,325	869	60,181,640
23	552	32,533,592	356	30,983,202	908	63,516,794
24	546	32,731,536	370	32,756,047	916	65,487,583
25	524	31,265,030	324	28,449,877	848	59,714,907
26	535	31,849,307	335	27,786,536	870	59,635,843

## 10 幼稚園就園奨励事業

## 【目 的】

幼稚園教育の振興に資するため、国の補助を受け、幼稚園に就園する満3歳児から5歳児の保護者の所得に応じた経済的負担の軽減と公私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【補助金の交付状況】

区分		年度						
		20	21	22	23	24	25	26
対象園児 (人)	市立	7	5	12	9	6	9	6
	私立	851	852	860	841	901	906	990
	(計)	858	857	872	850	907	915	996
補助金額 (減免額) (千円)	市立	134	98	240	180	120	180	117
	私立	29,479	29,795	30,359	30,117	30,902	31,240	45,623
	(計)	29,613	29,893	30,599	30,297	31,022	31,420	45,740

【平成26年度所得階層別内訳】

(単位：円)

区分	所得階層区分	第1子			第2子			第3子		
		補助 単価	対象 園児	補助金額 (減免額)	補助 単価	対象 園児	補助金額 (減免額)	補助 単価	対象 園児	補助金額 (減免額)
市立	市民税所得割非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	20,000	6	117,000	—	—	—	—	—	—
	市立計		6	117,000						
私立	市民税非課税世帯 (生活保護世帯を含む)	99,600	40	3,826,300	102,000	2	204,000	122,400	0	0
	市民税所得割非課税世帯	99,600	22	2,116,500	102,000	2	204,000	122,400	1	122,400
	市民税の所得割課税額が34,500円に「16歳未満の扶養親族の数×21,300円」及び「16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円」を加えた額以下となる世帯	50,400	142	6,955,200	84,000	18	1,323,000	122,400	1	122,400
	市民税の所得割課税額が171,600円に「16歳未満の扶養親族の数×19,800円」及び「16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円」を加えた額以下となる世帯	39,600	669	25,472,700	73,200	69	4,465,200	122,400	0	0
	上記区分以外の世帯	—	—	—	39,600	24	811,800	122,400	0	0
	私立計		873	38,370,700		115	7,008,000		2	244,800

11 私学助成

就学前教育の充実を図るため、私立幼稚園の運営に対し助成を行っている。

9園 4,664,640円

12 学校保健

(1) 学校職員・児童生徒の健康診断の拡充

近年、飽食の時代になり成人に多く見られている病気(生活習慣病)が児童生徒にも多く発生している。そこで、検診機会の少ない児童生徒に対し、集団検診を実施することで早期発見・早期治療に努める。また、教職員においても各種検診を実施している。

(2) 学校保健委員会の推進

心身共に健康でたくましく生きる児童生徒の育成に向け、学校・地域社会・家庭との連携を深め、自ら積極的に健康づくりに取り組む。

昭和60年度から市内小・中1校ずつ指定校を置き、学校保健委員会を設立し、学校保健委員会の充実と有効活用に努めている。

(3) 健康・安全教育の推進

児童生徒が健康でなければ楽しい学校生活は送れない。そこで疾病の早期発見・早期治療に努めるとともに、交通安全、学校内の災害発生防止に向け、健康・安全教育を推進している。

(4) 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度の加入促進

日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へは、原則全員加入している。

体位測定表

(平成26年度)

		人数(人)	身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)	
			平均	平均	平均	
幼稚園	4歳	男	30	104.4	17.2	58.5
		女	41	102.9	16.6	57.8
	5歳	男	55	110.5	19.4	62.1
		女	64	109.2	18.5	61.7
小学生	6歳	男	603	116.4	21.5	64.8
		女	511	115.6	21.1	64.5
	7歳	男	529	121.9	23.9	68.6
		女	483	121.1	23.3	67.1
	8歳	男	528	127.5	27.0	69.9
		女	514	126.9	26.4	69.7
	9歳	男	525	133.0	30.4	72.2
		女	537	132.8	29.9	72.3
	10歳	男	590	138.9	34.6	74.7
		女	536	140.1	34.6	75.5
11歳	男	556	144.6	37.9	77.1	
	女	518	146.0	39.2	78.5	
中学生	12歳	男	582	151.6	43.9	80.9
		女	576	151.2	43.4	81.3
	13歳	男	578	158.5	47.8	84.1
		女	555	154.1	46.7	83.2
	14歳	男	556	164.7	54.1	87.5
		女	589	155.8	49.6	84.1

歯科検診成績

(平成26年度)

区分	検査人員	むし歯		その他歯・口腔疾患異常者数
		処置完了者	未処置ある者	
幼稚園	183人	7人	57人	0人
小学校	6,391	1,818	2,225	301
中学校	3,379	1,334	725	441
計	9,953	3,159	3,007	742

脊柱側弯症検診

(平成26年度)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小 学 校	1,109 人	36 人
中 学 校	1,116	52
計	2,225	88

- 検査対象者は小学校5年生、中学校1年生全員  
モアレ写真撮影による（一次検診）

血液検査結果

(平成26年度)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数	二次検診異常者数
小 学 校	1,210 人	396 人	56 人
中 学 校	1,238	339	33
計	2,448	735	89

- 検査対象者は小学校4年生、中学校1年生全員  
(小学校5年生、中学校2年生で昨年異常だった者の再検査を含む。)

13 学校体育活動の推進

学校体育団体育成と体育行事の充実推進

学校体育の推進を図る新居浜市小学校体育連盟及び新居浜市中学校体育連盟においては、充実した事業計画のもとに的確な運営を行い、多くの実績をあげた。

【新居浜市小学校体育連盟】

体育活動を通しての児童の健全育成については、新居浜市水泳記録会・新居浜市陸上記録会・親善球技大会を中心として実施した。記録会においては、多くの児童が自己記録を更新するための継続した練習を行い、能力及び体力の向上に大きく貢献した。また、親善球技大会では、サッカーの技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや学級のチームワークを育成することにも大きく役立った。

【新居浜市中学校体育連盟】

各部各種目ともに活発な推進活動が行われ全体的に成果が上がっている。

公式大会として市長旗・杯争奪新居浜市中学校選手権大会・新居浜市中学校総合体育大会・新居浜市中学校新人体育大会を開催し、活動及び指導内容が向上し対外的にも力を発揮している。中学校駅伝大会においては、県駅伝が平成25年度に引き続き、国領川河川敷コースで開催され、女子の部で優勝した東中学校女子が通算11度目の全国大会に出場し、4年連続の入賞となる6位入賞を果たした。

行事实績

新居浜市小学校体育連盟

小学校教職員ソフトボール大会	5/10	河川敷ソフトボール場	150 人
小学校教職員バレーボール大会	6/14	市民体育館他	250 人
小学校体育実技講習会	6/2・8/18・11/14	山根公園屋内プール他	100 人
小学校水泳記録会	7/23	垣生小・中萩小	430 人
小学校陸上記録会	10/21	河川敷陸上競技場	350 人
小学校親善球技大会	2/4	各小学校（会場）	600 人

新居浜市中学校体育連盟

市長旗・杯争奪中学校選手権大会	4/19・26・27・29	市営野球場他	1,400 人
中学校教職員ソフトボール大会	6/21	河川敷ソフトボール場	120 人
中学校総合体育大会	6/3・4・7	市営野球場他	2,000 人
中学校新人体育大会	9/30・10/1	市営野球場他	1,700 人
中学校駅伝競走大会	11/3	河川敷陸上競技場周辺	400 人



14 人権・同和教育実践の状況

(1) 新居浜市小学校人権・同和教育研究大会

- ア 期 日 平成26年11月20日(木)  
 イ 会 場 A群 若宮小学校・金栄小学校  
 B群 船木小学校  
 C群 多喜浜小学校・新居浜小学校

ウ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

エ 研究授業

群	会 場	分科会	教科等	題 材 名
A	若宮小学校	低	2年	道徳 助け合う友達 「森のともだち」
	金栄小学校	中	4年	道徳 勇気をもって 「勇気を出して」
	金栄小学校	高	5年	道徳 ほんとうの思いやり 「オトちゃんルール」は「あたりまえ」のルール
B	船木小学校	低	2年	道徳 助け合う友達 「森のともだち」
	船木小学校	中	4年	道徳 みんなの力で 「このままではいけない…」
	船木小学校	高	6年	道徳 人間らしく生きる(差別を許さない自分へ) 解放令反対一揆(改作資料)
C	多喜浜小学校	低	2年	道徳 勇気をもって 「たかしくんの黄色いズボン」
	新居浜小学校	中	3年	道徳 励まし合う言葉 「いいち、にいつ、いいち、にいつ」
	新居浜小学校	高	5年	道徳 自分たちの心を見つめよう 「変わっていくぼくの心」

(2) 新居浜市中学校人権・同和教育研究大会

- ア 期 日 平成26年11月20日(木)  
 イ 会 場 A群 東中学校  
 B群 大生院中学校・泉川中学校

ウ 研究主題

差別の現実から深く学び、同和問題をはじめとする様々な人権問題について正しく認識し、明るい展望をもち、その問題の解決に取り組む児童生徒を育てる教育実践はどうあればよいか。

エ 研究授業

群	会 場	分科会	教科等	題 材 名
A	東中学校	1年	道徳	差別や偏見のない社会の実現 「汚染一揆」
		2年	道徳	差別や偏見のない社会の実現 「三月三日の風 ― 水平社誕生物語 ―」
		3年	道徳	差別や偏見のない社会の実現 「娘からの手紙」
B	大生院中学校	1年	道徳	差別や偏見のない社会の実現 「汚染一揆」
	泉川中学校	2年	道徳	自分の生き方について考える 「台所で」
		3年	道徳	正しい生き方を目指して 「『統一応募用紙』はこうして生まれた」

## 発達支援課の主な施策と実績

地域における発達支援の中核的機関として設立した「こども発達支援センター」を中心に、総合相談、臨床心理士等による幼稚園、保育所、小、中学校への巡回相談や発達検査の継続実施、個別の支援計画の作成運用など関連施設や機関とのネットワークの強化を図りながら発達支援の諸事業を展開した。関係諸機関を包括した新居浜市地域発達支援協議会において、労働・福祉分野の取組について、情報共有を行い検討を進めた。また、個別療育、小集団療育、構音訓練、個別SST等を内容とする早期療育通園事業の運営を実施し、心身の発達に課題のある未就学児に日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の指導・療育を行い、早期療育体制の充実強化に取り組んだ。さらに、発達障がい等の特性の理解や効果的な支援のあり方に関する連続講座や発達障がい支援者のための実践セミナー、特別支援教育ハンドブック作成等により、関係職員の専門性、実践力の向上や発達障がい等の理解啓発を図った。

### 1 学校特別支援教育支援員の配置

障がいや発達課題のある児童が在籍する小・中学校において、生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図った。

種 別	目 的	人数	配 置 学 校
特別支援学級等指導員	特別支援学級等において、学級運営上特別な教育的支援が必要な状況が発生したり、生徒指導上困難な状況が続いたりするなど学級運営に支障がある学級に特別支援学級指導員を配置し、児童生徒や教員を支援することにより、学級の運営を円滑にすることを目的とする。	小学校 (5人)	浮島
生活介助員	重度の障がいがある児童生徒、市立幼稚園児が市内の学校・市立幼稚園に在籍し、学校の指導体制の現状では、安全確保や学級運営に重大な困難がある場合、生活介助員を配置し、園児、児童生徒に必要な介助を実施することにより学校生活を円滑にすることを目的とする。	幼稚園 (4人)	神郷・王子
		小学校 (69人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野
		中学校 (20人)	東・西・南・北・泉川・中萩・大生院
学校支援員	発達障がい等のある児童が在籍する通常学級において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校支援員を配置し、児童や教員(担任)を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図ることを目的とする。	小学校 (14人)	新居浜・宮西・金子・金栄・高津・浮島・惣開・若宮・垣生・神郷・多喜浜・泉川・船木・中萩・大生院・角野

## 2 教育支援委員会の開催状況

一貫した教育支援の充実を図るため児童等の心身の障がい及び発達課題の種類及び程度に応じ、適切な就学等の支援について必要な調査及び検討を行った。

開催回数	判断依頼数
6回	267件

## 3 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒にその通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図った。

対象児童生徒数	10人
---------	-----

## 4 新居浜市地域発達支援協議会の開催状況

地域発達支援協議会では、労働分野の取り組みや福祉分野の取り組み状況について共通理解を図るとともに今後の新居浜市の発達支援の諸課題について検討を進めた。

開催日	協議内容
7月15日	平成25年度の発達支援課の主な施策と実績について 平成26年度の協議会等の開催計画について 就学指導委員会の名称変更について
10月7日	新居浜市教育支援委員会設置規則について 労働分野の取り組みについて 平成25年度統計について
2月13日	福祉分野の取り組み状況について 研修報告について

## 5 総合相談の実施状況

障がいや発達課題のある子どもの育児や発達、就学について保護者の方々が抱えている不安や疑問について相談にのり、適切な支援へつなげていった。また、必要に応じて、学校や園や医療機関と調整を行うなど関係機関との連携を図った。

実施件数（延）	相談内容
幼児 242人（288人）	子ども理解、障がい、発達障がい、就学相談、入園相談、不適應、登園しぶり、SF新規作成(61人)、SF見直し(5人)、引継ぎ実施(保育園・幼稚園等へ28人・小学校へ42人)
小学生 201人（528人）	障がい、発達障がい、不登校、その他(担任不信、いじめ等) SF新規作成(26人)、SF見直し(20人)、引継ぎ実施(中学校へ27人)
中学生 74人（331人）	いじめ、障がい、発達障がい、進路相談、不適應 SF新規作成(5人)、SF見直し(5人)、引継ぎ実施(高校へ11人)
高校生 19人（52人）	適應相談、進路相談、障がいの理解と支援、ソーシャルスキル
成人 3人（13人）	人間関係、ソーシャルスキル

## 6 巡回相談の実施状況

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校における障がいや発達課題のある子どもの早期発見、発見後の具体的支援方策の協議、相談を通しての現場の教職員のスキルアップ、保護者や関係機関との情報の共有、信頼関係の構築が図られた。

実施数(延)と内訳	相談内容
保育所：128人 ・ 5歳児 25人 ・ 4歳児 38人 ・ 3歳児 47人 ・ 2歳児 14人 ・ 0～1歳児 4人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 落ち着きがない</li> <li>・ こだわりが強い</li> <li>・ 気持ちのコントロールができない</li> <li>・ 集団行動がとりにくい</li> <li>・ 他児とのかかわりがうまくいかない</li> <li>・ 言葉の遅れ</li> <li>・ 人への関心が薄い</li> <li>・ 全体的な発達の遅れがある</li> <li>・ 切り替えしにくい</li> <li>・ 指示が伝わりにくい</li> <li>・ かんしゃくを起こす</li> </ul>
幼稚園：38人 ・ 5歳児 18人 ・ 4歳児 10人 ・ 3歳児 10人	
小学校：327人 ・ 1年生 77人      ・ 2年生 78人 ・ 3年生 69人      ・ 4年生 57人 ・ 5年生 46人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習面の遅れ</li> <li>・ 集団行動が苦手</li> <li>・ こだわりが強い</li> <li>・ 話がきけない</li> <li>・ 指示理解ができにくい</li> <li>・ 集中力が続かない</li> <li>・ 衝動性がある</li> <li>・ 多動である</li> </ul>
中学校：59人      ・ 1年生 29人 ・ 2年生 16人      ・ 3年生 14人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特性理解について</li> <li>・ 支援方法について</li> </ul>
その他：2人	

## 7 発達検査の実施状況

発達の特徴やバランス・得意・不得意を把握し、具体的ななかかわり方や個々の状態に応じた学習方法を知り、支援へつなげる。

幼児	小学生	中学生	高校生	成人	計
107人	122人	11人	3人	3人	246人

## 8 早期療育通園事業(親子通園事業)の実施状況

心身に障がいのある未就学児及び心身の発達に課題のある未就学児に対して、日常生活における基本的動作及び集団生活への適応訓練等の相談、指導、療育等を行うことによりその発達を支援し、かつ助長するとともに、その保護者に対して家庭における養育上の諸問題についての相談指導を行った。

### (1) 事業の概要

教室名	教室実施曜日	登録者数	主な療育内容
ことばの教室	水・木・金	132人	構音訓練、個別療育、個別SST
育ちの教室	水・木・金	53人	小集団療育、集団SST

### (2) 事業実施状況

(延利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ことばの教室	40	134	156	180	158	175	135	168	159	140	158	57	1,660
育ちの教室	52	97	94	78	86	71	83	93	110	88	72	21	945

## 9 ペアレントトレーニングの実施状況

新居浜市早期療育通園事業を利用する保護者が社会性、コミュニケーションの発達に課題のある子どもの特性を知り、子どもへの関わり方を具体的に学ぶ。

- 日 時 第1回目 5月20日(火) 10:00~12:00  
第2回目 6月3日(火) 10:00~12:00  
第3回目 6月17日(火) 10:00~12:00
- 内 容 第1回目 ペアレントトレーニング基礎編 (全体講習や参加者のグループ討議)  
第2回目 ペアレントトレーニング応用編 ほめる(講習と宿題を基にロールプレイ)  
第3回目 ペアレントトレーニング応用編 無視をする(講習と宿題を基にロールプレイ)
- 講 師 西条中央病院小児科部長 大藤 佳子 理学療法士(OT) 石井 摩耶
- 参加者 第1回目 14名 第2回目 7名 第3回目 6名

## 10 講演会等の開催状況

講演会や連続講座の開催を通して、障がいや発達課題のある子どもの特性理解や実態把握の方法、具体的な支援の在り方の理解を深め、専門性と実践力を高めることができた。また、発達障がいや特別支援教育に関する地域社会の理解の向上を図った。

### (1) 第1回 特別支援教育研修会

- 日 時 平成26年7月12日(土) 9:30~15:30
- 場 所 別子銅山記念図書館 ホール
- 目 的 発達障がいについて理解を深めるとともに、支援を必要とする幼児の気づき、適切な支援へつながることができるようにする。
- 参加者 56名(幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
- 内 容 演題「幼児の困り感に寄り添う支援について ~よりよい支援を目指して~」
  - ◇講演1◇ 発達障がい概論・気づき・アセスメント
    - ・保育カウンセリングの意義と基本姿勢、2つのアプローチ(援助的・治療的アプローチ、教育的・開発的アプローチ)
    - ・アセスメントの重要性  
(自己理解、カウンセリングスキル、家庭環境、子どもの発達理解等)
    - ・家庭との連携  
(人的資源の見極め、人的資源との関係を作る)
    - ・自己理解のチェックリストと発達検査の紹介  
(エゴグラム、遠城寺式発達検査、新版K式発達検査、KIDS)
  - ◇講演2◇ 事例から学ぶ支援の実践
    - ・事例を通して情報の洗い出し、支援について討議(グループワーク)
- 講 師 千葉大学教育学部 教授 富田 久枝

### (2) 第2回特別支援教育研修会

- 日 時 平成26年8月11日(月)  
小学校対象：9:30~12:00 中学校対象：13:30~16:00
- 場 所 新居浜市市民文化センター 中ホール
- 目 的 新居浜市の小・中学校教職員が、インクルーシブ教育の推進に向け、実践的な支援の在り方についてより一層の理解を深め、適切に児童・生徒を支援することができる学習機会とする。
- 参加者 581名 幼稚園教諭：10名 小学校教諭：321名 中学校教諭：211名  
学校支援員：14名 生活介助員：19名 その他：6名
- 内 容 演題「すべては子どもたちのために ~正しい障がい理解と適切な関わり~」
  - ・生徒指導上の課題について(自尊心が低い子どもたち)
  - ・教師の対応について(マイナスにならない対応、教師の位置を変える等)
  - ・安全で秩序のあるクラス作り(20個の取り組み)
  - ・クラス作りのポイント
  - ・静寂の時間について

○講 師 プール学院大学教育学部 准教授 松久 眞実

(3) 発達支援スキルアップ連続講座（前期）

- 日 時 平成26年8月21日(木)・22日(金) 10:00～15:00
- 場 所 新居浜工業高等専門学校 視聴覚室
- 目 的 発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
- 参加者 132名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
- 内 容 演題「特別支援教育と学級経営・学校経営」
- 【講演1】多階層支援モデルと学級づくり、子ども主体の学習・活動について
- ・特別支援教育とは／インクルーシブ教育とは
  - ・合理的配慮について
  - ・指導の評価
  - ・多階層支援モデルRTIとPBIS
  - ・事例や取り組みの紹介
- 【講演2】自閉スペクトラム症・ADHD等の特徴と強み、事例について
- ・ASDの特徴と強さ／ASDを活かす
  - ・ADHDの特徴／特性(弱さ)を伸ばす
  - ・3つのスキルについて  
(アカデミックスキル、ソーシャルスキル、ライフスキル)
  - ・振り返りと自己管理について
- 講 師 愛媛大学教育学部 教授 吉松 靖文

(4) 発達支援スキルアップ連続講座（後期）

- 日 時 平成27年1月5日(月)・6日(火) 10:00～15:00
- 場 所 新居浜市総合福祉センター 2階アリーナ
- 目 的 発達障がいのある子どもを支援する者が、的確な実態把握の方法や、背景にある機序、具体的な支援の在り方の理解を深め、その専門性と実践力を高める。
- 参加者 1日目 58名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)  
2日目 67名(教職員・幼稚園教諭・保育士・関係機関職員)
- 内 容 1日目：『最近の脳科学に学ぶ』  
2日目：『合理的配慮を学校にどう取り入れるか ― 幼稚園から中学校まで ―』
- 講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

(5) 心理アセスメント講座

- 目 的 いろいろな側面から子どもをとらえ支援策を実践するためには、学校教職員の教育的対応の強化が必要となってくる。そのためWISC-ⅢおよびⅣ発達検査の基礎を学習したうえで、事例検討から児童生徒の現状や生育過程や発達検査のプロフィールからわかる認知特性をふまえ、課題や解決策を学ぶことを目的とする。
- 日時及び研修内容及び参加者

月 日	内容	参加者
7月30日(水) 9:30～15:30	【発達検査について】 WISC-Ⅲ発達検査基礎研修	教諭・支援員 51名
7月31日(木) 9:30～15:30	【発達検査について】 WISC-Ⅳ発達検査基礎研修	教諭・支援員 55名
9月27日(土) 11月1日(土) 12月6日(土) 13:30～16:00	【事例検討及び講義】 プロフィール分析及び総合的なアセスメント (事例から読み取り学習)	教諭・支援員 24名

- 場 所 ウイメンズプラザ・新居浜市こども発達支援センター
- 講 師 特別支援教育士スーパーバイザー 渡部 徹

#### 11 発達障がい支援者のための実践セミナー

- 日 時 平成26年7月25日(金) 9:30~17:00 26日(土)・27日(日) 8:30~17:00
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター
- 目 的
  - ・自閉症の本質的な障がい特性について理解する。
  - ・自閉症支援における理念と方法を学ぶ。
  - ・OJTによる学習（講義と実践との組み合わせ）
- トレーナー及びスタッフ
  - 桑原 綾子・黒川 久美……(特非) ライフサポートここはうす
  - 井原 佳代…………… 社会福祉法人澄心
  - 矢野 志穂……………(特非) 今人倶楽部
  - 金子 亮平…………… 社会福祉法人平成会
  - 協力児3名
- 受講者 18名

#### 12 ソーシャルスキル支援事業

- 日 時 年9回 日曜日 (13:30~15:30)
- 場 所 新居浜市総合福祉センター
- 目 的 主に発達障がいの児童生徒を対象に他者との良好な関係を形成し、それを維持していくための知識やスキルを身につけるための指導を行い、社会性や対人関係能力等の向上を図る。
- 講 師 愛媛大学教育学部特別支援教育講座准教授 苅田 知則 研究室  
にはまローズ
- 参加者 45名(延)

#### 13 聴覚障がい児相談事業

- 日 時 月1回 (9:30~16:00)
- 場 所 新居浜市こども発達支援センター
- 目 的 聴覚の障がいや聞こえや言葉の獲得に課題のある子どもたちが、より豊かに自尊心を持って自立した生活ができることを目指す。
- 内 容 聴覚の発達の相談・聴覚の発達に必要な指導療育(手話等)に関すること  
保護者への支援及び通所機関への助言と支援
- 相談員 愛媛県立松山聾学校 教諭 河村 義和
- 相談件数 49名(延)

#### 14 特別支援教育就学奨励費

##### 【目的】

市町村が特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のため必要な援助をし、もって特別支援教育の振興に資することを目的としている。

##### 【対象】

市内の小学校及び中学校の特別支援学級に就学する児童又は生徒の保護者

##### 【就学奨励の種類】

学校給食費、通学費、職場実習交通費、交流及び共同学習交通費、修学旅行費、校外活動参加費(宿泊なし)、校外活動参加費(宿泊あり)、学用品・通学用品購入費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費等

【就学奨励の状況】

年度	区分	小 学 校		中 学 校		計	
		対象者	奨 励 金	対象者	奨 励 金	対象者	奨 励 金
17		37	1,113,729	11	457,135	48	1,570,864
18		40	1,085,946	12	502,556	52	1,588,502
19		38	1,059,076	17	529,097	55	1,588,173
20		37	1,075,878	15	601,833	52	1,677,711
21		37	1,019,641	21	766,194	58	1,785,835
22		50	1,533,286	16	526,473	66	2,059,759
23		51	1,346,323	19	659,141	70	2,005,464
24		58	1,634,988	25	990,264	83	2,625,252
25		67	1,876,018	27	973,808	94	2,849,826
26		82	2,304,020	25	846,979	107	3,150,999



# 学校給食課の主な施策と実績

## 1 学校給食の意義

- (1) 児童生徒に栄養のバランスのとれた食事を提供することにより児童生徒の健康の増進、体位の向上を図り、又、これらを通して日常における正しい食習慣を身につける。
- (2) 事前の準備、後片づけを通して児童生徒は大きな生活体験を持ち、共同生活の基本的態度を身につける。
- (3) 食事を共にすることにより、教師と児童生徒、児童生徒相互の心のふれ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成を図る。

## 2 学校給食の運営等

各調理場の施設・設備の修繕、改善、更新等を適宜に行うとともに、安全で新鮮な物資の納入に努めた。また、学校給食会理事会、学校栄養職員会及び各専門部会を開催し、円滑な学校給食の運営を図った。学校給食センター及び高津共同調理場を対象とした共同調理場運営委員会を開催し、共同調理場の円滑な運営を図った。

## 3 学校給食の充実等

地元の食材を使った郷土料理などの実施やより身近に実感を持って地域の産業、文化等の理解を深めることのできる地元農産物等の利用に努めた。

中学校給食の喫食率は、平成26年度93.15%と前年度に比べ0.77ポイント向上した。

## 4 主な主催行事

- (1) 学校給食研修会  
平成26年7月25日(金) 於) 女性総合センター  
〔内容〕・学校給食衛生管理推進指導者「学校給食衛生管理の改善について」
- (2) 新規給食献立調理実習試食会  
平成26年8月12日(火) 於) 泉川公民館
- (3) 教育委員会調理場訪問衛生研修会  
平成26年11月27日(木) 於) 金栄小学校  
12月2日(火) 於) 浮島小学校  
12月11日(木) 於) 多喜浜小学校
- (4) 学校給食会各専門部会研究発表会  
平成27年2月19日(木) 於) 学校給食センター

## 5 給食の状況

### (1) 実施状況

(平成26年度)

区 分	完 全 給 食		給 食 未 実 施		備 考
小 学 校	17 校	6,435 人	校	人	大島小学校廃校
中 学 校	11	3,464	1	9	ひびき分校未実施
計	28	9,899	1	9	

(ひびき分校は児童自立支援施設につき別途実施)

### (2) 一食当たり単価 (完全給食)

(単位：円)

区 分	平成2年～	平成6年～	平成21年9月～
小 学 校	200	220	240
中 学 校	220	260	280

# スポーツ文化課の主な施策と実績

## 1 市民体育・スポーツの振興

- (1) 新居浜市における生涯スポーツの両輪ともいえる新居浜市体育協会(競技スポーツ)と新居浜市連合体育振興会(社会体育)との連携と協力体制の確立に努め、市民体育の振興を図ってきた。各々の団体においても、組織の充実を図るとともに、連携・協力することによって、社会体育の一大事業である「市民体育祭第45回記念大会」を成功させることができた。
- (2) 新居浜市の少年スポーツ指導者ならびに新居浜市教育委員会が委嘱している新居浜市スポーツ推進委員及び地区体育振興会に配置している新居浜市校区スポーツ普及員に対して、講習会・研修会を実施し、各指導者の資質・指導力の向上と後継者の発掘に努め、社会体育指導者制度の確立と充実を図った。また、各指導者団体独自の研修会を開催し、資質の向上に努めた。
- (3) 重点目標にもある「生涯スポーツ」の普及振興のため、「新居浜市スポーツ推進計画」に基づく、各種目競技大会及び地区における、スポーツ・レクリエーション行事の開催のための企画・プログラムの提供や、運営・指導の促進のための資料提供と広報活動に努めた。
- (4) 少年期のスポーツ活動の推進のため、研修会の開催による指導者の資質の向上を図り、スポーツ大会の開催による競技力の向上に努めた。また、愛媛国体等に向けて高校運動部活動への支援など各種スポーツの競技力の向上を図った。
- (5) 新居浜市(愛媛県・四国四県)の代表として、各種目競技の全国大会等へ選手派遣のために、出場選手派遣費の一部補助を行い、全国的に「新居浜」の名を残すことのできるように努めた。

## 2 市民体育振興事業

4/6	市民歩け歩け大会	山根市民グラウンド	120名
6/2	クロッケー大会	山根市民グラウンド	中止
6/29	スマイルボーリング・シャフルボード大会	山根総合体育館	129名
7/6	ターゲットバードゴルフ大会	国領川緑地	24名
9/18~11/9	市民体育祭	各会場	5,259名

## 3 競技力向上事業

4/27	第43回近県ソフトテニス新居浜大会	市民テニスコート他	一般 400名
5/11	第34回全国招待少年剣道大会	市民体育館	3,000名
7/20~10/19	少年スポーツ大会	各会場	846名
11/3	市内駅伝競走大会	東雲競技場発着	41チーム
3/8~9	第24回近県招待中学生ソフトテニス大会	市民テニスコート他	延 300名
年間	各種目競技大会(各種目協会)		

## 4 講習会・研修会事業

少年スポーツ指導者研修会

4/8、6/5、7/1、7/3、7/15 延 8回 延 537名

体づくり指導者講習会

4/23、5/23、6/24、7/2、9/17、10/23 6回 延 308名

## 5 野外活動施設整備と運営

ハイキングコース等の維持管理

新居浜市指定のハイキングコース及び登山道については、登山者が安全に登山できるよう維持管理を行った。

## 6 芸術文化活動

地域の芸術文化の水準向上と、すそ野の拡大を課題とし、市民の自由な芸術・文化活動の促進を図るため新居浜文化協会を中心にして春の市民文化祭、秋の芸術祭、市美術展を開催するなど、地域住民が積極的に各種の芸術文化活動に参加し、創作や表現の喜びを味わえる機会の拡大を図った。

また、市内の小中学生に学校施設において優れた芸術に触れる機会を提供する「学校出前コンサート」、「芸術文化キャラバン隊」を行うとともに、新居浜の歴史・文化への理解を深め、郷土新居浜を愛する心を育てる「こどもふるさと写生大会」を実施した。

## 7 文化財の保存活用

郷土に残された優れた文化遺産に対する正しい理解と認識を深め、その保存活用を図るための調査、文化財めぐり等を実施した。

- ・市指定天然記念物「アッケシソウ」保存保護事業補助、伝統文化行事「平兵衛祭り」開催場所保全事業補助
- ・文化財めぐりの実施 39名 尾道市（浄土寺、文学のこみち、千光寺）

## 8 体育文化施設の充実

体育文化施設の充実を図るために東雲市民プール、市営サッカー場、市民文化センター等の改修を行った。また、(公財)新居浜市文化体育振興事業団及び別子校区連合自治会を指定管理者とし、体育文化施設の管理運営や文化及び体育に関する事業を行うことによって、施設の利用促進や効率的な管理運営を図り、体育文化の振興に努めた。

## 9 総合文化施設建設計画

総合文化施設建設資金の確保

平成27年3月31日現在の文化振興基金積立金額 1,411,465,655円

## 10 総合体育施設建設計画

体育施設建設資金の確保

平成27年3月31日現在の体育施設建設基金積立金額 692,734,125円

## 11 総合型地域スポーツクラブ設立

総合型地域スポーツクラブとして、平成20年6月に金子地域文化スポーツクラブ、平成26年2月に楽SPO船木の2クラブを設立し、活動を行っている。

## 12 (公財)新居浜市文化体育振興事業団

新居浜市の文化及び体育施設の管理運営を受託するとともに、文化及び体育に関する事業を行なうことによって、施設の利用促進及び効率的な管理運営を図り、もって文化及び体育の振興に寄与することを目的に、昭和61年8月1日に設立され、平成18年4月からは各施設の指定管理者となっている。平成26年1月6日、公益財団法人に認可された。

所在地 繁本町8番65号

T E L 33-2180

組織 理事9人 監事2人 評議員9人

事業内容 (1) 文化体育施設の指定管理

市民文化センター、市民・山根総合・多喜浜体育館、市営野球場、山根市民グラウンド、市民・山根公園テニスコート、東雲市民・山根公園屋内プール、武徳殿、弓道場、重量挙練習場、東雲競技場、市営サッカー場、銅山の里自然の家、文化振興会館、女性総合センター

(2) 文化事業の企画及び実施に関すること

健康食の料理教室、演劇鑑賞教室、市民茶会、市民音楽祭、美術実技講習会、外

(3) 体育事業の企画及び実施に関すること

綱引き大会、市民クロッケー大会、市民軽スポーツ大会、小学生バレーボール講習会

外

### 13 銅山の里自然の家利用状況

月 \ 年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
4	52人	69人	54人	155人	12人
5	708	372	320	306	711
6	153	177	154	42	22
7	464	641	0	350	350
8	1,092	1,240	334	1,255	448
9	138	299	194	17	115
10	138	217	331	41	137
11	109	62	24	54	83
12	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	22	12	20	12	64
合計(延人数)	2,876	3,089	1,431	2,232	1,942

使用料納付者のみの利用者数であり、短時間の見学的利用者は含まない。

利用者の平均形態 1泊2日

### 14 体育施設・文化施設年度別利用状況

施設名 \ 年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
市民体育館	84,312人	93,206人	94,563人
山根総合体育館	56,877	56,399	55,764
多喜浜体育館	19,886	19,726	17,866
東雲市民プール	52,338	54,040	36,974
山根公園屋内プール	26,581	22,873	27,896
別子山市民プール	232	183	170
市営野球場	14,550	16,858	19,234
武徳殿	30,300	28,000	27,900
弓道場	4,620	4,460	4,580
重量拳練習場	10,100	10,300	9,650
文化振興会館	20,411	21,662	22,781
山根市民グラウンド	64,352	81,724	103,671
別子山市民グラウンド	127	305	32
市民テニスコート	43,797	52,117	51,454
山根公園テニスコート	53,314	49,832	39,274
東雲競技場	28,873	23,261	31,746
市営サッカー場	29,721	30,994	31,661
合計	540,391	565,940	575,216

施設名 項目		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		回数	利用者数	回数	利用者数	回数	利用者数
市民文化センター	大ホール	300	80,292人	324	76,185人	210	53,575人
	中ホール	320	47,898	271	38,399	285	40,051
	別館会議室等	3,555	100,945	2,281	59,462	2,828	65,500
小計		4,175	229,135	2,876	174,046	3,323	159,126
ふるさと館			2,532		2,860		1,767
合計		4,175	231,667	2,876	176,906	3,323	160,893

15 平成26年度 体育施設等月別利用状況

施設名 月	市民体育館	東雲市民プール	市民テニスコート	山根公園テニスコート	山根公園屋内プール	山根市民グラウンド	山根総合体育館	市営野球場	東雲競技場
4	8,710	0	4,710	4,430	1,982	4,261	4,448	909	2,515
5	11,243	0	5,472	3,614	2,250	6,554	5,330	3,695	2,691
6	8,410	3,864	4,506	2,915	3,299	3,548	5,165	1,370	2,421
7	7,137	19,417	5,320	3,332	3,690	5,121	5,231	1,390	2,554
8	6,601	13,693	3,699	3,135	3,744	2,843	3,539	4,500	2,409
9	8,401	0	4,700	3,925	1,617	5,256	4,314	2,750	2,056
10	7,574	0	4,232	2,787	2,000	62,448	5,110	1,430	3,000
11	7,705	0	3,023	2,958	2,118	2,574	5,371	1,400	5,633
12	7,148	0	3,548	2,822	1,600	2,990	3,963	280	1,951
1	6,742	0	3,594	3,128	1,859	2,362	3,929	50	1,334
2	7,466	0	3,758	2,961	1,841	3,077	4,195	0	3,177
3	7,426	0	4,892	3,267	1,896	2,637	5,169	1,460	2,005
小計	94,563	36,974	51,454	39,274	27,896	103,671	55,764	19,234	31,746

(山根市民グラウンドは、公式大会参加者のみ)

武徳殿	弓道場	重量挙 練習場	銅山の里 自然の家	市 営 サッカー場	多喜浜 体育館	別子山市民 グラウンド	別子山市民 プール	文 化 振興会館	計
2,300	350	750	12	0	1,458	0	0	2,092	38,927
2,500	380	850	711	0	1,642	0	0	1,508	48,440
2,300	350	750	22	3,307	1,678	0	0	1,441	45,346
2,600	450	850	350	2,519	1,855	20	0	2,248	64,084
2,300	350	800	448	4,796	1,292	12	23	1,048	55,232
2,400	350	850	115	4,722	1,460	0	147	1,494	44,557
2,600	500	850	137	4,963	1,398	0	0	1,384	100,413
2,400	450	750	83	4,365	1,855	0	0	4,134	44,819
2,300	350	850	0	2,365	1,277	0	0	2,416	33,860
2,100	300	750	0	2,676	1,152	0	0	1,590	31,566
2,000	300	800	0	1,348	1,342	0	0	1,453	33,718
2,100	450	800	64	600	1,457	0	0	1,973	36,196
27,900	4,580	9,650	1,942	31,661	17,866	32	170	22,781	577,158

16 平成26年度 月別利用状況（市民文化センター）

施設名 月	大ホール	大・ロビー	中ホール	大会議室	中会議室	小会議室	和室
4	6,218	0	3,645	1,560	2,933	486	198
	( 26)	( 0)	( 27)	( 21)	( 121)	( 51)	( 12)
5	6,349	0	3,033	1,252	2,232	566	35
	( 27)	( 0)	( 23)	( 21)	( 115)	( 64)	( 10)
6	6,302	0	4,598	960	3,533	490	50
	( 25)	( 0)	( 26)	( 16)	( 119)	( 60)	( 10)
7	12,297	0	4,289	1,113	2,643	584	62
	( 36)	( 0)	( 39)	( 25)	( 152)	( 71)	( 22)
8	0	0	6,760	1,140	2,539	445	20
	( 0)	( 0)	( 40)	( 25)	( 132)	( 59)	( 14)
9	0	0	4,762	1,321	2,734	702	47
	( 0)	( 0)	( 43)	( 19)	( 107)	( 76)	( 8)
10	0	0	2,417	1,091	2,318	556	20
	( 0)	( 0)	( 30)	( 17)	( 107)	( 55)	( 4)
11	0	0	7,512	1,502	3,472	600	15
	( 0)	( 0)	( 33)	( 20)	( 147)	( 58)	( 2)
12	0	0	3,035	787	2,563	592	32
	( 0)	( 0)	( 24)	( 14)	( 104)	( 55)	( 8)
1	7,850	0	0	420	1,150	372	15
	( 34)	( 0)	( 0)	( 4)	( 59)	( 43)	( 2)
2	5,187	0	0	251	1,275	343	20
	( 28)	( 0)	( 0)	( 5)	( 63)	( 44)	( 4)
3	9,372	0	0	1,017	2,136	385	35
	( 34)	( 0)	( 0)	( 15)	( 87)	( 42)	( 4)
累計	53,575	0	40,051	12,414	29,528	6,121	549
	( 210)	( 0)	( 285)	( 202)	( 1,313)	( 678)	( 100)

上段：人数  
下段：回数

視聴覚教室	料理教室	茶華教室	展示室	プラネタリウム	ふるさと館	月 計	累 計
930	75	51	175	0	143	16,414	16,414
( 14)	( 4)	( 4)	( 13)	( 0)		( 293)	
1,450	40	11	143	0	279	15,390	31,804
( 20)	( 3)	( 3)	( 12)	( 0)		( 298)	
1,325	108	74	110	233	158	17,941	49,745
( 21)	( 7)	( 6)	( 10)	( 18)		( 318)	
1,331	173	160	152	195	96	23,095	72,840
( 25)	( 15)	( 13)	( 17)	( 19)		( 434)	
1,075	67	86	188	182	128	12,630	85,470
( 23)	( 9)	( 8)	( 15)	( 18)		( 343)	
1,432	135	303	123	0	145	11,704	97,174
( 20)	( 8)	( 11)	( 12)	( 0)		( 304)	
860	83	286	110	0	150	7,891	105,065
( 11)	( 4)	( 9)	( 9)	( 0)		( 246)	
1,120	175	298	125	0	252	15,071	120,136
( 17)	( 11)	( 12)	( 12)	( 0)		( 312)	
560	172	477	129	0	108	8,455	128,591
( 9)	( 11)	( 12)	( 10)	( 0)		( 247)	
455	0	6	126	0	98	10,492	139,083
( 7)	( 0)	( 1)	( 8)	( 0)		( 158)	
340	90	36	121	0	88	7,751	146,834
( 5)	( 5)	( 2)	( 7)	( 0)		( 163)	
700	30	36	226	0	122	14,059	160,893
( 10)	( 2)	( 2)	( 11)	( 0)		( 207)	
11,578	1,148	1,824	1,728	610	1,767	160,893	160,893
( 182)	(79)	( 83)	( 136)	( 55)		( 3,323)	



# 郷土美術館の主な施策と実績

## 1 展示内容

### (1) 常設展示

新居浜の地質、出土品、むかしの暮らし、日本のおもちゃ、太鼓台等の展示

### (2) 企画展

● 館蔵品展「にいほま郷美コレクション 2014 — 資料の宝庫へようこそ —」	8月 1日(金) ～ 8月17日(日)	441人
● 館蔵品展『冬がやってきた — 新居浜の暮らしと民具 —』	12月12日(金) ～ 1月11日(日)	393人
● 文化教室成果発表会	3月12日(木) ～ 3月22日(日)	751人

### (3) 主催展

● 第47回にいほま春の市民文化祭(美術の部)前期	4月10日(木) ～ 4月15日(火)	1,361人
● 第47回にいほま春の市民文化祭(美術の部)後期	4月17日(木) ～ 4月22日(火)	1,245人
● 第1回こどもふるさと写生大会作品展	5月31日(土) ～ 6月 8日(日)	715人
● 第64回新居浜市美術展覧会(市展)前期	10月25日(土) ～ 10月30日(木)	1,368人
● 第64回新居浜市美術展覧会(市展)後期	11月 1日(土) ～ 11月 6日(木)	2,049人
● 第34回新居浜こども美術展	2月 5日(木) ～ 2月13日(金)	2,754人
● 第2回新居浜市小中学校ふるさと学習奨励賞作品展示会	2月21日(土) ～ 3月 3日(火)	267人

### (4) 共催展

● 第13回楽描会展	5月14日(水) ～ 5月18日(日)	514人
● 第23回新居浜南高校美術・書道展	7月25日(金) ～ 7月27日(日)	273人
● 「天空から新居浜発見物語」展 — 新居浜ビューナビゲーション —	8月20日(水) ～ 8月31日(日)	2,871人
● 第63回秋季県展新居浜移動展	11月 9日(日) ～ 11月22日(土)	4,704人
● 第28回高齢者「趣味の作品展」	12月 3日(水) ～ 12月 5日(金)	474人

### (5) 一般展

● 第8回 書楽会合同展	5月21日(水) ～ 5月25日(日)	247人
● 四国一水会出品者 油彩展	6月11日(水) ～ 6月22日(日)	1,145人
● サンシャイン写真展	6月24日(火) ～ 6月29日(日)	677人
● 新居浜駅前人の広場モニュメント模型展示	6月24日(火) ～ 7月10日(木)	105人
● 第56回グループどんぐり絵画展	7月 1日(火) ～ 7月 6日(日)	666人
● (社)二科会写真部愛媛支部展	7月 8日(火) ～ 7月13日(日)	276人
● 第3回 円花展 in 郷土美術館	7月16日(水) ～ 7月20日(日)	564人
● 第24回住友化学愛媛社友会作品展	9月10日(水) ～ 9月14日(日)	1,136人
● 石村嘉成作品展 — 私の生き物図鑑 —	9月17日(水) ～ 9月25日(木)	6,027人
● 第40回みなづき会20周年記念写真展	9月27日(土) ～ 10月 5日(日)	1,025人
● サンシャイン写真展	11月25日(火) ～ 11月30日(日)	721人
● 総合文化施設開館プレ事業「再発見!郷土美術館コレクション」	1月16日(金) ～ 1月25日(日)	603人
● 書と華の世界展	1月30日(金) ～ 2月 1日(日)	1,205人
● 新居浜市高齢者生きがい創造学園書道サークル合同展	2月18日(水) ～ 2月22日(日)	489人
● 墨萩会 水墨画展	2月25日(水) ～ 3月 1日(日)	602人
● 第23回書神会新居浜支部書道展	3月 5日(木) ～ 3月 8日(日)	433人
● シルバー会員作品展	3月25日(水) ～ 3月29日(日)	546人

## 2 年度別・月別入館者数

月別 \ 年度別	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
4 月	2,719 人	2,663 人	3,381 人	3,481 人	3,071 人	2,976 人
5 月	1,733	2,237	2,240	2,104	3,650	1,014
6 月	3,042	1,993	2,770	4,228	2,711	2,701
7 月	2,351	2,346	1,907	3,749	2,765	1,816
8 月	2,100	5,192	2,562	13,483	2,730	3,806
9 月	1,387	2,262	2,821	5,025	3,055	8,782
10 月	3,517	2,894	3,918	4,641	3,279	2,321
11 月	7,452	7,999	8,127	9,053	7,870	8,120
12 月	2,193	2,066	6,113	1,945	1,621	884
1 月	3,780	3,945	2,368	3,026	981	1,411
2 月	6,570	1,931	3,858	3,217	3,417	4,733
3 月	1,872	1,911	2,667	2,512	1,017	1,463
計	38,716	37,439	42,732	56,464	36,167	40,027

## 3 教育普及活動

### (1) 文化教室

書道教室（漢字部門）	4月1日～3月31日	月2回	年24回	講師：越智秀園
書道教室（かな部門）	〃	〃	〃	講師：神野俊山
水墨画教室	〃	〃	〃	講師：白川英男
銅アート教室	〃	〃	〃	講師：井上文子
自然写真教室	〃	〃	〃	講師：北添伸夫

### (2) 野外活動

自然散歩の集い	6月1日	年1回	講師：田尾邦雄
---------	------	-----	---------

# 広瀬歴史記念館の主な施策と実績

## 1 展示内容等

### (1) 展示館の内容

広瀬宰平の一生を、テーマごとに映像や実物資料、パネルを用いて紹介する。別子銅山の経営維持に奔走し、採鉱・精錬・陸運の近代化を推進するなど、わが国の殖産興業に尽力した宰平の姿をみることができる。

### (2) 旧広瀬邸(国指定重要文化財)の内容

母屋は明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と庭園は明治22年に建築・造園された。伝統的な日本建築様式を持ちながらも、開国により西洋から輸入されたマントルピース、洋式便器、板ガラス、避雷針といった新しい文化が取り入れられており、そのふたつが見事に調和している。

## 2 資料の収集状況

広瀬家所蔵品、古文書など約3,740点（平成3年5月7日現調）

## 3 平成26年度事業実績

### (1) 特別企画展

#### ① 特別企画展「広瀬宰平と近代日本」

と き 平成26年11月1日(土)～12月10日(水)

#### ② 記念講演会「広瀬宰平と近代日本」

と き 平成26年11月8日(土)

講 師 末岡照啓（住友史料館副館長・新居浜市広瀬歴史記念館特別顧問）

参加人数 76名

### (2) 第8回 台所喫茶店

と き 平成26年11月8日(土)・9日(日)

## 4 平成26年度月別観覧者内訳

年 月	開館 日数	観 覧 人 数							中学生 以下②	人 数 (①+②)
		一 般					小 計 ①			
		個人	個人減額	団体	観覧料後納	免除				
平成26年 4月	25	459	42	117	0	12	630	269	899	
5月	27	410	22	164	10	349	955	263	1,218	
6月	25	251	23	107	3	2	386	22	408	
7月	26	186	18	20	0	15	239	22	261	
8月	27	323	13	71	0	8	415	115	530	
9月	23	234	11	24	132	10	411	11	422	
10月	26	229	9	44	2	264	548	136	684	
11月	26	438	36	191	0	715	1,380	272	1,652	
12月	23	92	12	20	0	339	463	11	474	
平成27年 1月	23	101	3	43	0	5	152	41	193	
2月	23	120	8	0	0	23	151	186	337	
3月	26	254	13	20	0	35	322	71	393	
計	300	3,097	210	821	147	1,777	6,052	1,419	7,471	

# 図書館の主な施策と実績

## 1 図書館の利用状況

### (1) 貸出図書

(26.4.1～27.3.31)

#### ア 本館

開館日数 294日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	6,330	11,836	25,494	23,081	33,403	51,840	10,997	48,746	4,185	190,372	5,179	92,662	394	33,164	537,683

#### イ 移動図書館

運行日数 157日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	682	994	1,978	676	2,482	3,737	647	6,281	422	16,458	329	10,554	0	255	45,495

#### ウ 角野分館

開館日数 232日

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	668	1,022	2,413	1,640	3,537	4,580	745	4,209	408	20,582	489	11,181	16	2,514	54,004

#### エ 合計

分類 区分	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会	4 自然	5 工学	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	C 紙芝居	E 絵本	その他	雑誌	計
貸出 点数	7,680	13,852	29,885	25,397	39,422	60,157	12,389	59,236	5,015	227,412	5,997	114,397	410	35,933	637,182

#### オ AV資料

	館内	館外	計
C T (カセットテープ)		0	0
V T (ビデオテープ)	730	1,019	1,749
C D	0	12,395	12,395
DVD	1,019	16,766	17,785
計	1,749	30,180	31,929

### (2) 登録者数

(27.3.31現在)

区分	児童 (小学生以下)	一般 (中学生以上)	団体	計
登録者	9,509	45,054	246	54,809

### (3) 団体貸出

市内の幼稚園、学校、福祉施設、読書会等に貸出をしている。

貸出冊数 100冊以内、貸出期間は4週間。

平成26年度貸出冊数 25,929冊

(4) 心身障害者に対する図書貸出

市内に在住する心身障害者（身体障害者の場合は1級～3級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する費用は図書館が負担している。）

貸出冊数5冊以内、貸出期間は30日間。

(5) 開架図書冊数

(27. 3. 31現在)

館別	区分	一 般	児 童	計
本 館		114,391	36,463	150,854
移 動 図 書 館		3,672	7,794	11,466
角 野 分 館		8,783	9,238	18,021
計		126,846	53,495	180,341

(6) リクエスト

(26. 4. 1～27. 3. 31)

館別	区分	窓 口	館内OPAC	Web OPAC	携帯OPAC	リクエスト	合 計
本 館		4,887	2,249	14,056	252	1,882	23,326
移 動 図 書 館		1,086					1,086
角 野 分 館		1,128	292			86	1,506
合 計		7,101	2,541	14,056	252	1,968	25,918

(7) 相互貸借

予約された資料などが自館で手に入らない場合、他館から借用することがある。

(国立国会図書館総合目録ネットワークに参加)

(26. 4. 1～27. 3. 31)

借 受		貸 出	
県内図書館	県外図書館	県内図書館	県外図書館
329	99	60	10

## 2 主な事業

(1) 学校図書館支援推進事業

学校図書館を子どもたちが自主的に利用し、調べ物や読書が活発に行えるよう支援することを目的に、平成20年度から学校図書館支援員4人を市立図書館に配置し、学校図書館に派遣。平成25年度2名増員。小学校を中心に継続的な環境整備、読書指導、計画的な学校図書館活用指導、教職員と連携しながら授業や調べ学習における資料や情報の提供に取り組んでいる。

(2) 移動図書館運営事業

平成21年4月より小学校6校へ昼休みに移動図書館「青い鳥号」を乗り入れ開始。それに伴い、ステーション停車時間の見直しを行い、6ステーション追加。（うち小学校13校、中学校2校）市内33ステーションを運行。

(3) 地域活性化支援・行政支援

ビジネスや住民活動に関する新刊図書、関係機関からの配布資料等を集めた「地域活性化支援(ビジネス支援)コーナー」を設置。図書館入り口に行政の事業等をパネル展示し、関連資料の展示や図書リストの配布等により市民に情報提供。

「宮西校区連合自治会 口屋・宮西小学校ジオラマ展示」  
「愛媛県東予地方局地域政策課 別子銅山展」等 計5回

(4) 健康支援

市民の多様な健康情報へのニーズにこたえるため、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健康関係の図書リストを作成し、配布。(健康支援図書コーナーを設置)

「認知症予防 ～リハレクしましょう～」 平成26年10月23日(木)

「家庭でできる感染予防」 平成27年2月5日(木)

(5) 雑誌スポンサーの募集開始

平成24年7月1日より開始

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているので、高い広告価値がある。(雑誌209タイトル中17タイトル)

(6) 「移動動物園」

こども読書週間イベント。子どもたちに小動物に触れ合い、キーパーさんから動物飼育の体験などを聞くことにより、生命の大切さを感じてもらった。図書館内では関連図書を展示紹介した。

平成26年5月11日(日) 10:00～12:00 図書館南側芝生庭園

参加者(子ども260名 大人240名)

(7) 「人形げきや おたこ組 人形劇」

人形げきや おたこ組による人形劇『オオカミと3D?のコブタ』ほか2編

講師 立田卓也 立田裕美

平成26年7月5日(土) 10:30～11:30

参加者(子ども74名 大人68名)

(8) 夏休みは図書館へいこう！

第1弾「夏休み子ども探検隊&身近な素材でつくって遊ぼう！」 平成26年7月25日(金)

図書館子ども探検隊 10:00～10:30 つくって遊ぼう！ 10:30～12:00

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

身近な素材で創作するリサイクルアート

講師 総合文化施設準備室 野間綾子

参加者(子ども22名、保護者22名)

第2弾「夏休み体験！子ども一日図書館員」 平成26年7月25日(金)

体験一日図書館員 13:00～16:30

図書館見学・ビブリオバトル(書評合戦)

参加者(小学生4～6年生11名 保護者3名)

第3弾「夏の夜のちょっと怖いお話会と夜の図書館探検」平成26年8月8日(金)

子どもと大人対象の怖いお話と語り。19:15～20:00

参加者(子ども70名、大人55名)

夜の図書館探検 20:00～20:30

参加者(子ども24名)

(9) 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

キャラバンカー見学とおはなし会。

平成26年9月6日(土) 14:30～15:35

参加者(子ども43名、大人30名)

(10) 図書館まつり

平成26年11月23日(日) 9:00~17:00

日頃、図書館を支えてくださっている市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催。

「ブックリサイクル」 9:00~

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約11,190冊を市民に無償で提供した。参加者（来場者約415人）

「図書館見学」 13:00~13:30

図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学。

参加者（大人9名）

講演会「世界遺産・シルクロードを平和の道に」 14:00~15:30

新居浜市出身の文化ジャーナリスト白鳥正夫先生を講師に招き講演会を開催。自身のシルクロードの旅の体験談や写真をユーモアを交え話していただいた。

参加者（大人60名）

(11) 別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」

別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」を継続開催。

第1回「白石誉二郎翁傳」

平成26年4月19日(土) 参加者（大人49名）

特別講義(1)「別子銅山の歴史と産業遺産」

平成26年5月24日(土) 参加者（大人73名）

第2回「住友共電のあゆみ ― 特に水力発電について」

平成26年7月19日(土) 参加者（大人52名）

第3回「小倉正恒」

平成26年9月27日(土) 参加者（大人45名）

第4回「源泉」

平成26年11月8日(土) 参加者（大人45名）

第5回「古田俊之助氏追懷録」と特別講義(2)「新居浜市史」

平成27年2月21日(土) 参加者（大人45名）

別子銅山から紐解く地域交流巡回パネル展 in 新居浜・記念講演及び特別講義(3)「日本近代化の起点」別子銅山史の留意点」

平成27年3月15日(日) 参加者（大人45名）

(12) ブックスタート事業

毎月第1・2火曜日、保健センターの5か月児健康相談（対象987名）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。976名 配布率98.9%

(13) 出前講座

学校、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話し会」を行い、本やお話に親しんでもらったり、図書館のPRも行った。

学校図書館支援員、協力（ボランティア）回転木馬 計21回

参加者（子ども780名、大人186名）

(14) おはなし会

本館 毎月第1木曜日（乳幼児0~3歳対象）

毎月第2・4水曜日（幼児対象）

毎月第3土曜日水曜日（小学生対象）

角野分館 毎月第1・3水曜日（幼児対象）

「紙芝居、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング」等を行った。

協力（ボランティア）回転木馬、民話の里すみの

参加者（子ども735名、大人378名）

---

---

# 新居浜市の教育

平成27年度版

平成27年7月発行

編集  
発行 新居浜市教育委員会

〒792-8585

新居浜市一宮町一丁目5番1号

TEL (0897) 65-1300

FAX (0897) 65-1306

---

---